

2020 年度
淑徳大学
授業アンケート全学報告書

淑徳大学 高等教育研究開発センター

目次

2020 年度淑徳大学授業アンケートの概要・集計結果

I 2020 年度授業アンケートの概要・目的

1 淑徳大学授業アンケートの目的	3
2 授業アンケート全学報告書の目的	3
3 2020 度淑徳大学授業アンケートの概要	3

II 授業アンケート集計結果

大学・学部別集計結果	5
------------------	---

III 分析編

20

IV 授業アンケート様式

2020 年度 学生用 授業アンケート調査票 [前学期・後学期]	72
--	----

別紙

V 集計表

I 2020 年度授業アンケートの概要・目的

I 2020 年度授業アンケート及び報告書の概要・目的

1. 淑徳大学授業アンケートの目的

淑徳大学の授業アンケートの目的は、社会から負託された大学の教育・研究の使命を遂行するため、大学として組織的に教育責任の遂行と教育成果の確認を行うとともに、教育活動において大きな比重を占める授業の改革や改善を推進することで、教育の質を高めることです。

そのために、授業アンケートで得た学生の意見や要望をくみ取り、教員一人ひとりが毎年度、担当授業の自己点検・評価を行い、翌年度の授業の改革や改善に反映させていきます。

また、大学及び学部として組織的な授業の改革と改善に向けた取組みとして授業アンケートを活用した研修(FD(Faculty Development))も併せて行い、学生の学修意欲を引出し、学修効果を高めるための教育改革を組織的に推進しています。

2. 授業アンケート全学報告書の目的

本報告書は、組織的な授業の改革と改善に資することを目的として大学全体及び各学部の「調査概要、調査目的、該当者の属性、質問ごとの分析、授業の成果の分析」を大学教育向上委員会、高等教育研究開発センターが集計・分析し、作成したものです。

また本報告書の集計データの図について、例えば総合福祉学部と記載している場合は総合福祉学部在籍する学生が回答した授業アンケートの集計結果となります。

3. 2020 年度淑徳大学授業アンケートの概要

(1) 授業アンケート対象科目

2020 年度に開講した全授業科目(学外の実習科目を除く)を対象に授業アンケートを実施しました。なお、実習科目は、実習目的や実習内容の特性に応じ、独自の様式を用いて履修者に対してアンケートを実施しています。

(2) 学生向けアンケートの実施方法

2020 年度新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う遠隔授業の実施により、大学の教学システム「S-Navi」を活用して WEB 調査を実施しました。

(3) 学生向けアンケートの実施時期

授業アンケートは前学期・後学期各1回(年2回)実施しました。例年であれば、半期15回授業の場合は13回目以降に学生向けアンケートを実施していますが、2020 年度は遠隔授業で実施された科目があること、WEB での授業アンケートの実施となったことから、下記の日程で授業アンケートを実施しました。

キャンパス名	授業アンケート実施期間	
	前期	後期
千葉キャンパス	2020 年 7 月 1 日(火) ～2020 年 8 月 25 日 (火)	2020 年 12 月 8 日(火)～2021 年 1 月 25 日(月)
千葉第二キャンパス		2020 年 12 月 8 日(火)～2021 年 1 月 18 日(月)
埼玉キャンパス		2020 年 12 月 4 日(金)～2021 年 1 月 29 日(金)
東京キャンパス		2020 年 12 月 1 日(火)～2021 年 1 月 31 日(日)

(4)授業アンケート対象科目及び回収枚数

2020 年度淑徳大学授業アンケートは、表1に示したように年間 2,057 科目(大学全体)を対象としています。実施科目総計履修人数を母数とした年間の回答率は 66.06%です。なお、学部共同で開講している科目もある為、対象科目の学部別集計は行っておりません。

表1 2020 年度淑徳大学授業アンケート実施概要

	対象科目	学生アンケート 実施科目	実施科目総計 履修者数①	回答枚数 ②	回答率 (②/①)
前期	986	977	41,464	29,164	70.34%
後期	1,071	1,043	39,378	24,239	61.55%
年間	2,057	2,020	80,842	53,403	66.06%

大学全体及び学部別の学生の回答数は表2となります。在籍学生数、CAP 制(単位の過剰登録を防ぐため、1 年間あるいは1 学期間に履修登録出来る単位の上限を設ける制度)による履修登録数の違いから、回答数は学部によって大きく異なります。また 2020 年度はリカレント生や公開講座での受講生がいなかったこと、WEB アンケートにより回答者の属性が判別できたため、その他や無回答は0 となっています。

表2 2020 年度淑徳大学アンケート学部別回答数

	アンケート回答数		
	前期	後期	合計
大学全体	29,164	24,239	53,403
総合福祉学部	9,855	8,704	18,559
看護栄養学部	5,992	3,277	9,269
コミュニティ政策学部	1,978	1,660	3,638
経営学部	4,753	4,038	8,791
教育学部	2,718	2,521	5,239
人文学部	3,868	4,039	7,907
その他	0	0	0
無回答	0	0	0

(5)アンケートの質問項目について

2020 年度の授業アンケートは、2019 年度までの授業アンケートの質問の見直しを行い、「あなた自身について」「授業について」「授業の成果について」「自由記述」の計 15 の質問を行いました。質問の詳細については巻末「授業アンケート様式」を参照下さい。また WEB アンケートは原則として全ての質問にアンケートシステムで回答することを原則としています。しかし、一部の設問については、遠隔授業の実施方法により回答が難しいものがありました。そこで下記の設問については、回答を必須とする設定は行わず、無回答も選択できるようにしているため、集計結果には無回答が含まれます。

- Ⅱ-3 双方向型の授業は行われたか
- Ⅱ-4 この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか
- Ⅱ-5 受講態度(私語等)に対して、適切な指導がされていたか

Ⅱ 授業アンケート集計結果

Ⅱ. 授業アンケート集計結果(大学・学部別)

(Ⅰ)あなた(学生)自身について

1「あなたはシラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解していましたか」

各授業の初回において、担当教員から授業目的や授業の到達目標が説明され、シラバスから常に確認ができるようになっています。授業アンケートに回答した学生のうち、授業の目的を理解しているは「大いにそう思う」及び「ややそう思う」を合わせると大学全体では前期後期とも90%を超えています。学部間ではあまり回答の分布に大きな違いはありませんが、「あまりそう思わない」や「全くそう思わない」が各学部にいることから、今後のこの層に対してのアプローチが必要と考えられます(図1)。

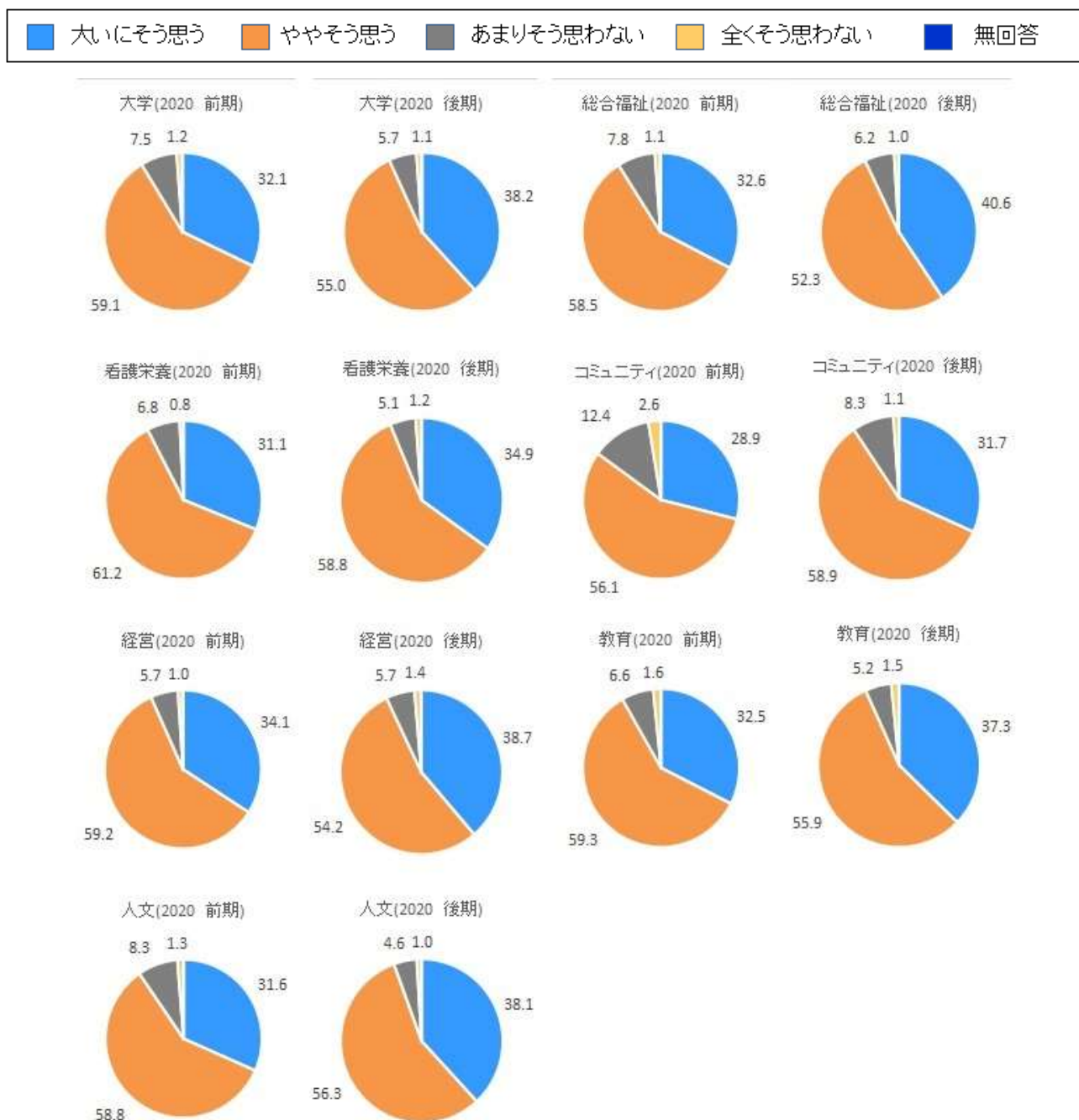


図1 I-1 授業の目的、内容、評価方法等の理解について

2 「あなたは、授業に対して、意欲的に取り組みましたか」

2020 年度の一部の授業は対面授業を実施したものの新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い遠隔授業が実施されました。その中で学生が授業に対して意欲的に取り組んだかどうかを問う本設問は、学部によって「大いにそう思う」は割合は多少差異があります。しかし「大いにそう思う」「ややそう思う」を合わせた回答率については全ての学部で前期後期とも 90%前後でした。学生にとって例年と異なる教育環境でしたが意欲的に取り組んでいたことがうかがえます(図2)。

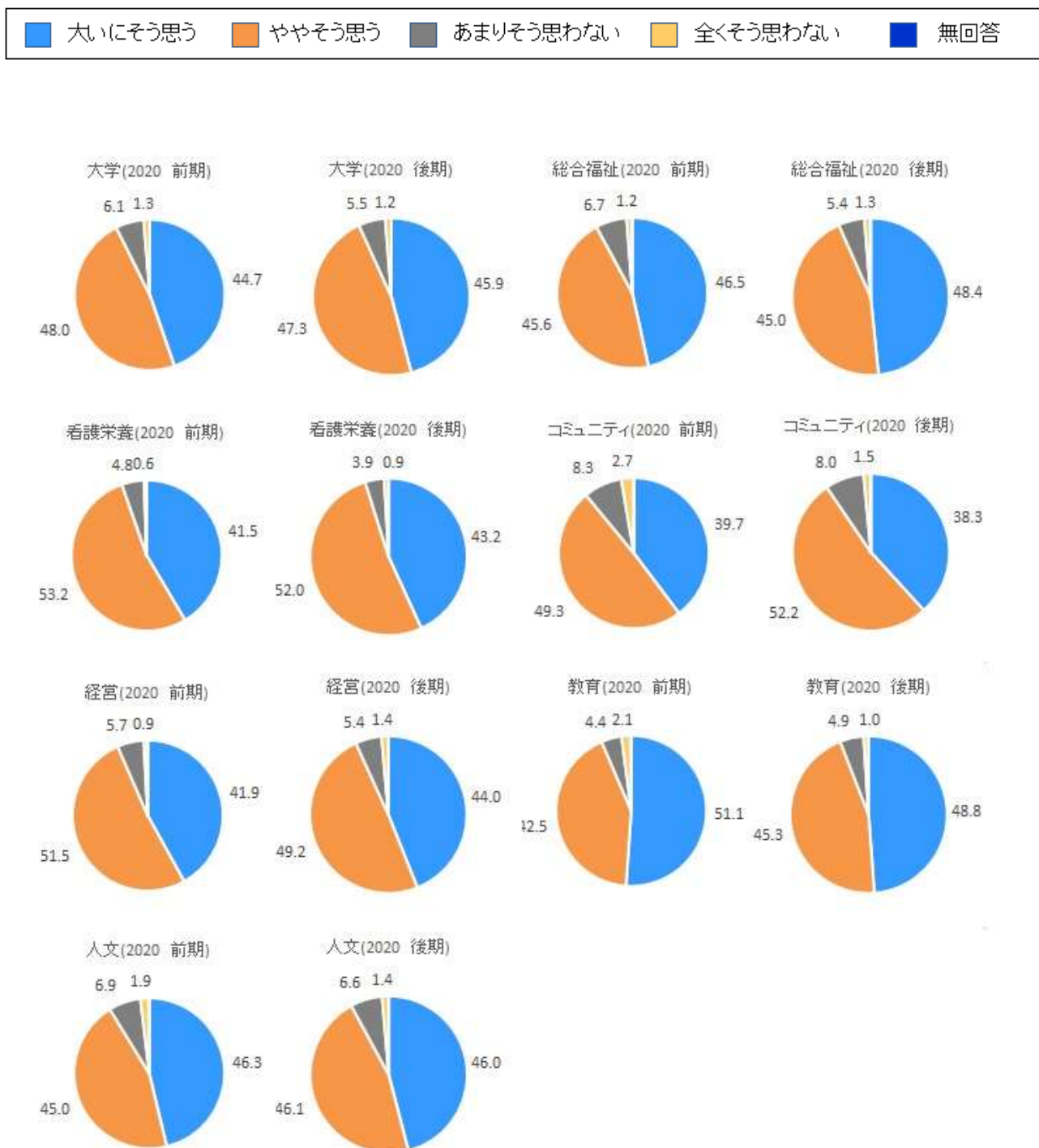


図2 I-2 意欲的に授業に取り組んだか

3 「あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか」

図3によると、主体的に授業の内容について調べた学生は「大いにそう思う」だけで40%以上います。特に総合福祉学部では「大いにそう思う」が他学部と比較して割合が高いことが読み取れます。この結果について課題研究型による遠隔授業の実施の影響もあるかもしれません。しかし本集計上では判断することは難しいため、今後経年比較をしながら見ていく必要があります(図3)。なお、遠隔授業に関する分析はこのあとの分析編に記載しています。

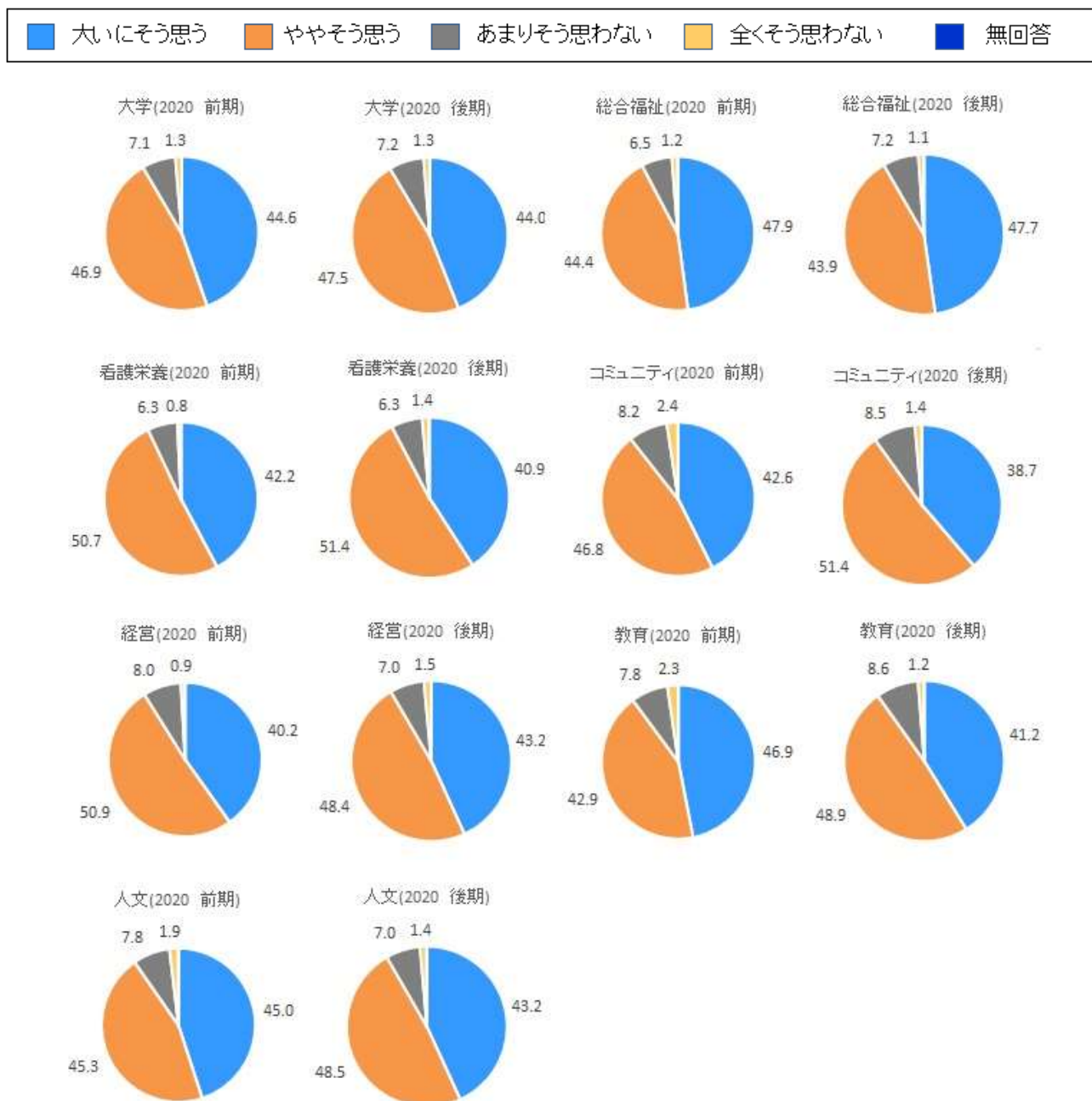


図3 I-3 授業内容について自ら調べたか

4「あなたは、この授業を何回欠席しましたか」

本学では、対面授業の場合は学生証のICチップを読み取り、出欠の管理をしています。遠隔授業の出欠管理はキャンパスによって異なりますが、例えば出席フォームへの記入やレポートの提出などで出席管理を行いました。この点をふまえて、授業を何回欠席したかどうかは0回と回答した学生が大学全体で前期後期とも70%を超えています。一方、コミュニティ政策学科のみ3回以上と回答した割合が若干高くなっています。なお、本設問は他の設問との関係については第2部の分析編でも触れています(図4)。

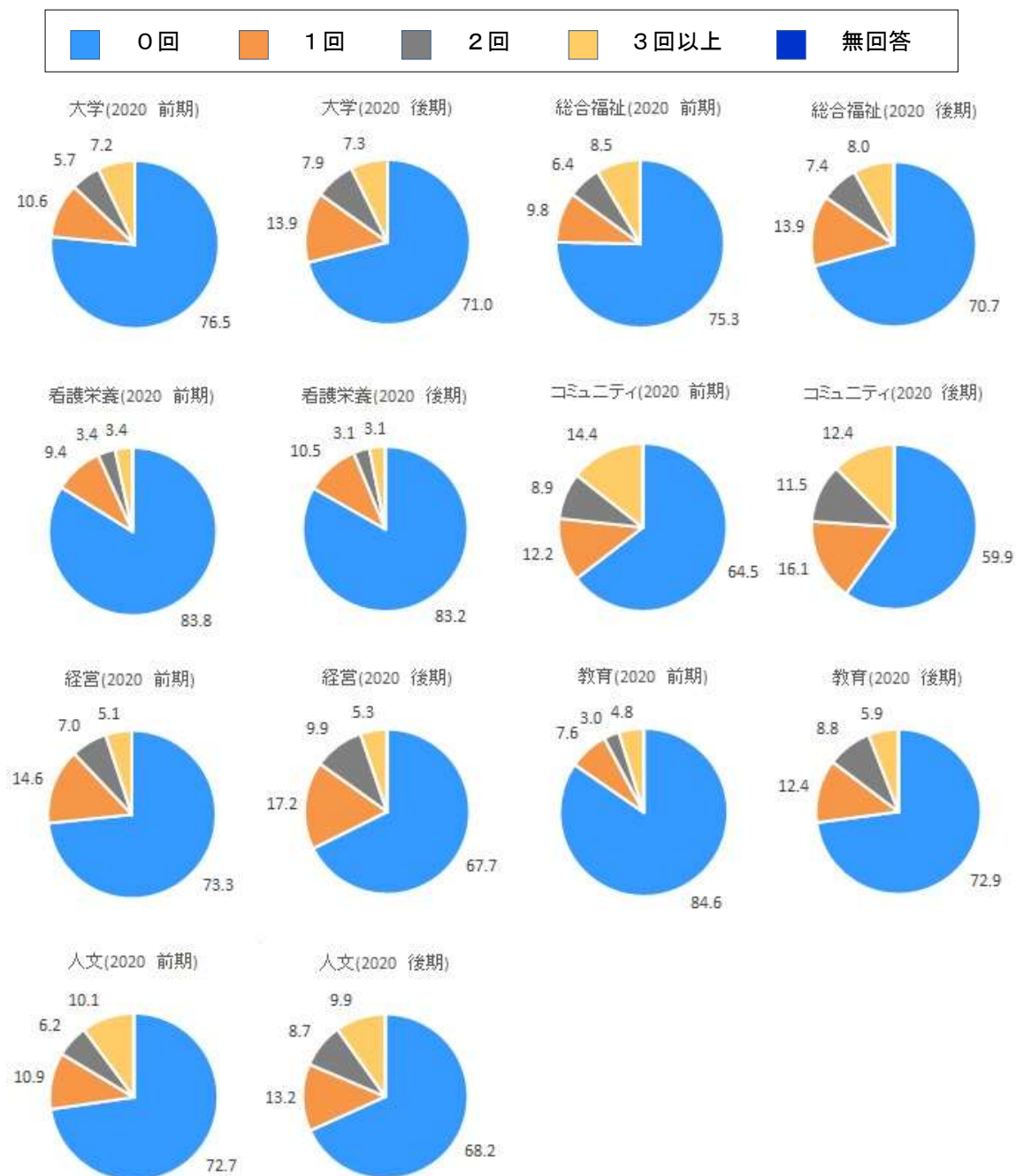


図4 I-4 授業を何回欠席したか

5「あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、授業1回(90分)につき、平均してどの程度ですか」

本学は前期・後期とセメスター制をとっており、講義科目2単位の場合は1回の授業あたりに事前事後学習が4時間必要となります。また本調査結果は大学及び学部全体の結果となりますので、1単位科目の履修者の回答も混在している結果です。

学生の回答結果を見てみると、4時間以上としている学生は大学全体では前期後期とも5%前後です。一方1時間未満やほとんどないと回答した学生は25%前後となっています。単位の実質化の観点として、事前事後学習をしていない学生の1週間の時間の傾向把握を他の調査から行い、どのように大学として単位の実質化を計るかをFDなどで検討していく必要があります。

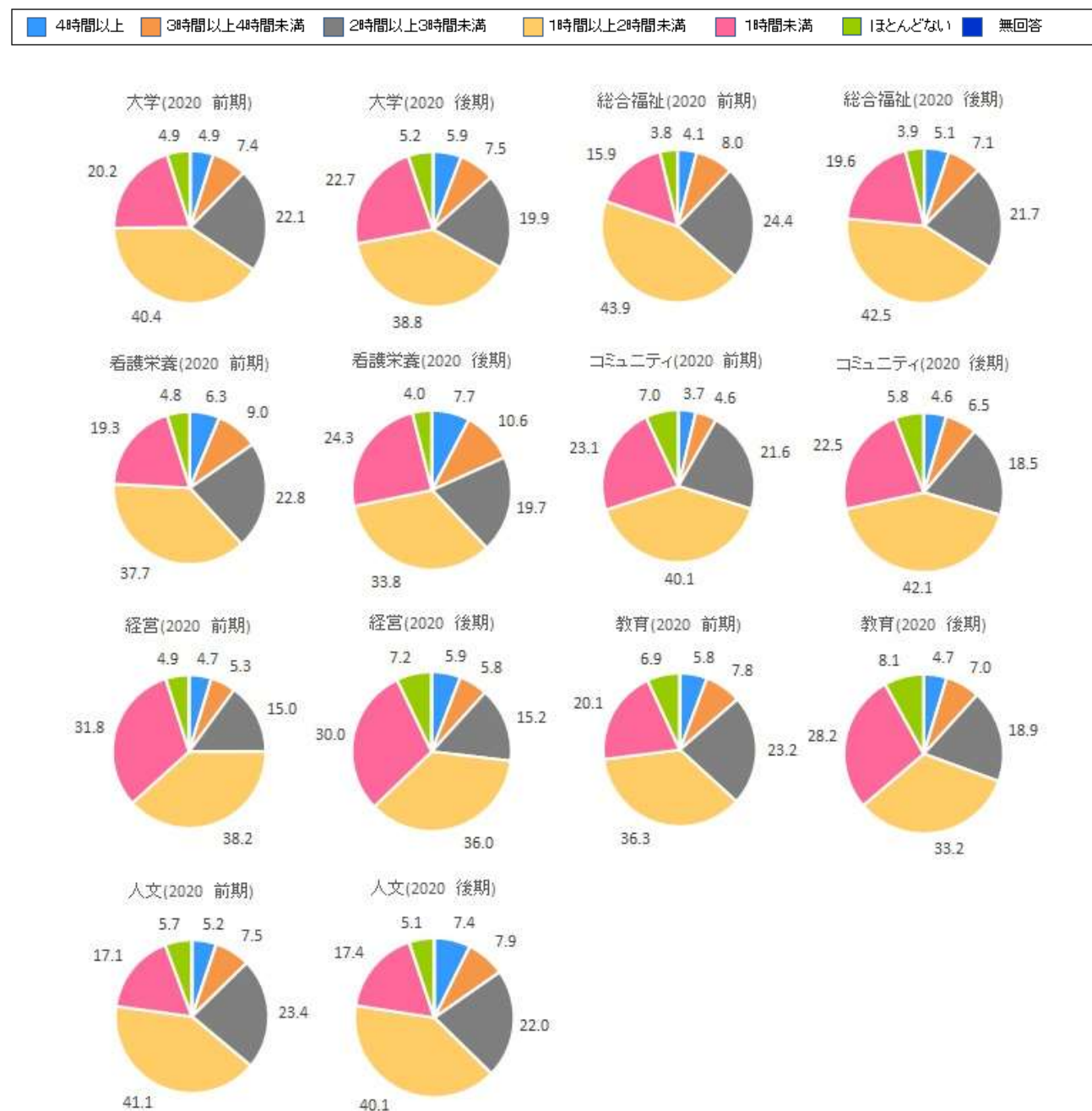


図5 I-5 事前事後学習に取り組んだ時間

(Ⅱ)授業について

1「この授業は、シラバスに沿って行われましたか」

大学は学生に対して授業の方法や内容などの計画をあらかじめ明示する必要があります。シラバスは授業計画であり、本学でもWEBシラバスを公開しています。2020 年度は遠隔授業実施などシラバスの変更があった科目もありますが、全ての学部で「大いにそう思う」「ややそう思う」の合計が 90%を超えており、事前に示しているシラバスに沿って授業が実施されていると言えます。

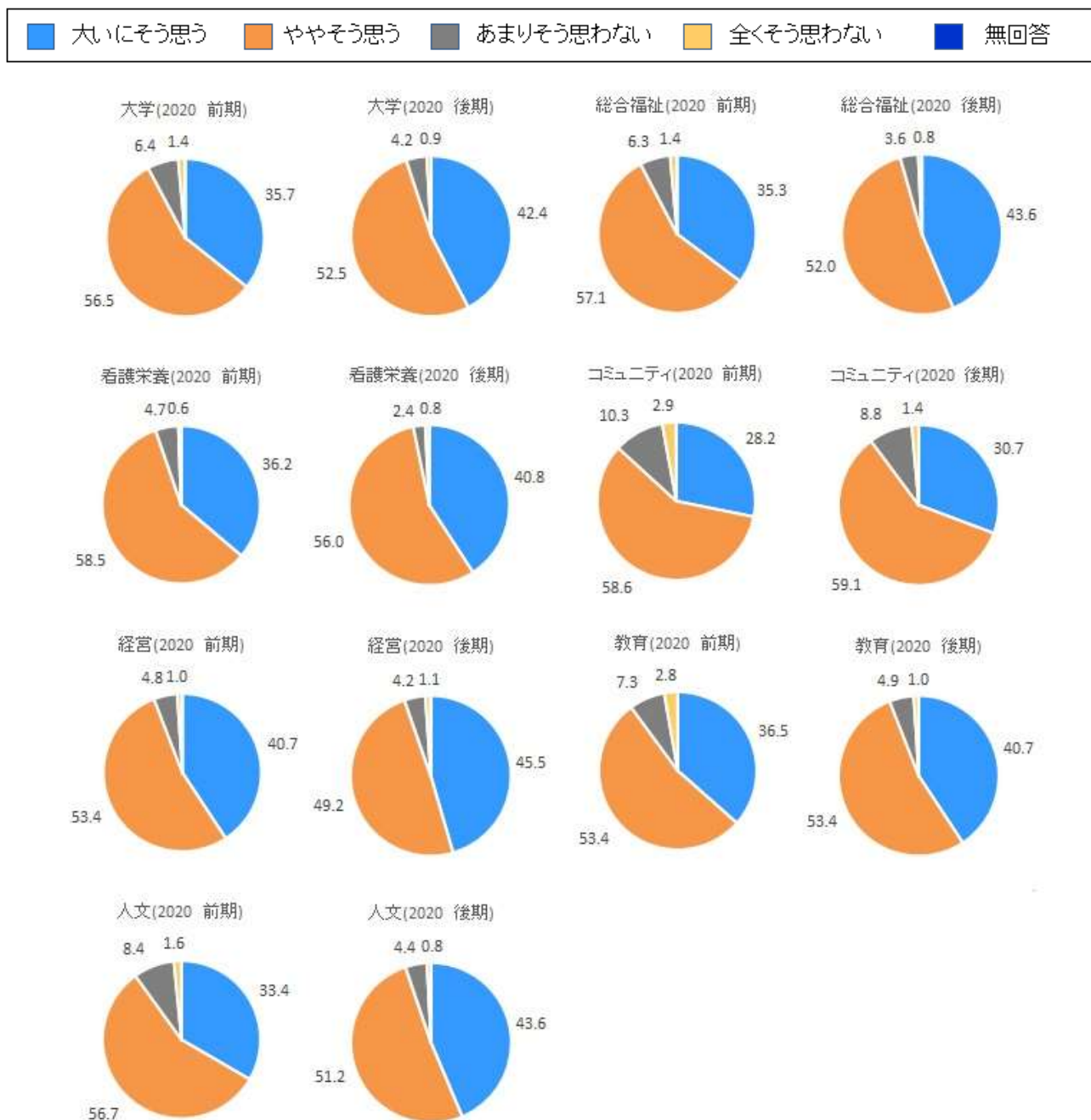


図6 II-1 授業はシラバスに沿って行われたか

2「授業のなかで、授業時間以外に学習内容・方法(事前・事後学習等)について、具体的な指示はありましたか」

大学全体としては「大いにそう思う」「ややそう思う」は前期・後期とも 85%を超えており、事前事後学習の指示は適切にされていると考えることが出来ます。また今後はⅠ－5 の事前事後学習時間との関連性について、分析した結果として一部の条件の授業で学習行動を促進する傾向があります。

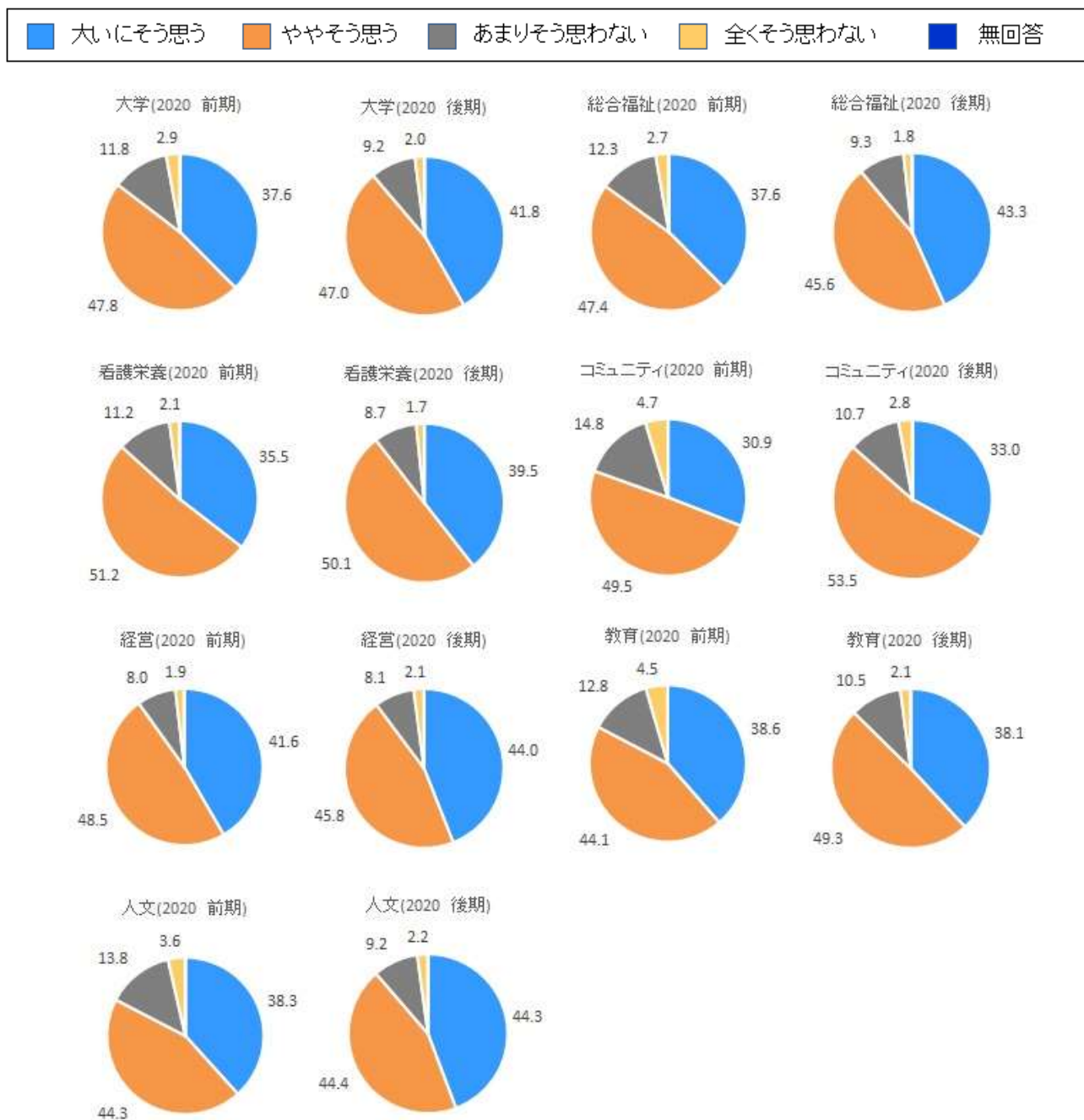


図7 Ⅱ－2 授業時間以外の学習内容・方法の具体的な指示はあったか

3「双方向型の授業(発表、討論、協同学習、調べ学習等)は行われましたか」

一方的な講義ではない、いわゆるアクティブラーニングの実施に関する設問です。2020年度は遠隔授業の課題研究型で実施された科目もあり、全ての科目に該当しないため、本設問は対象外の場合は無回答とされています。

大学全体や各学部においては「大いにそう思う」「ややそう思う」の回答は60%～70%になります。本設問は組織レベルでの大きな把握であるため、今後各科目の結果とシラバスの記載内容を確認するなどして、詳細に分析をしていく必要があります。

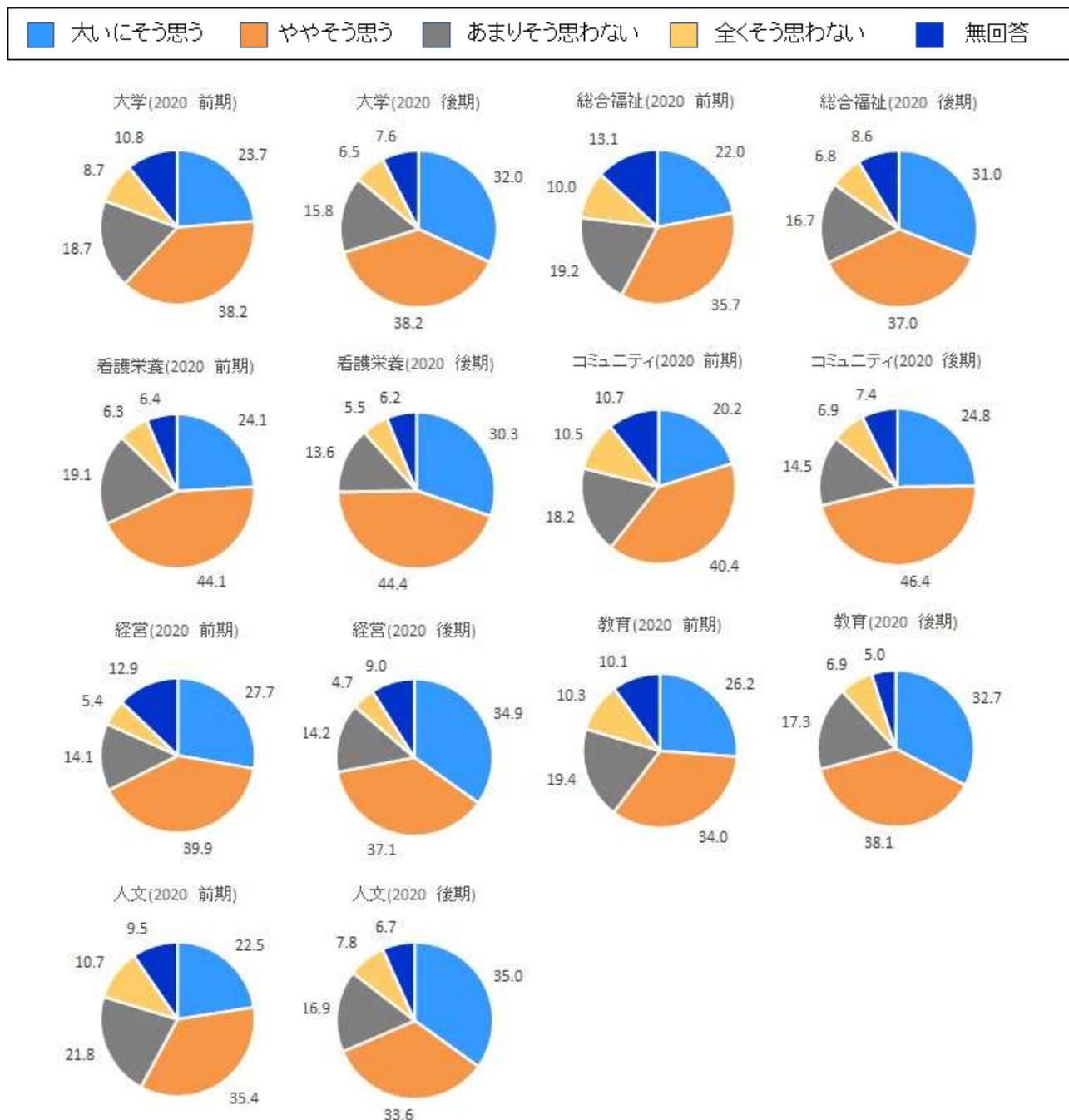


図8 II-3 双方向型授業は行われたか

4 「この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか」

今までの授業アンケートの分析では教員の話し方は授業の満足度などに大きな影響を与えることが分かっています。2020 年度は遠隔授業の課題研究型の場合はこの設問に当てはまらないため無回答もありますが、殆どの学部で「大いにそう思う」「ややそう思う」は 60～70%の割合となっています。

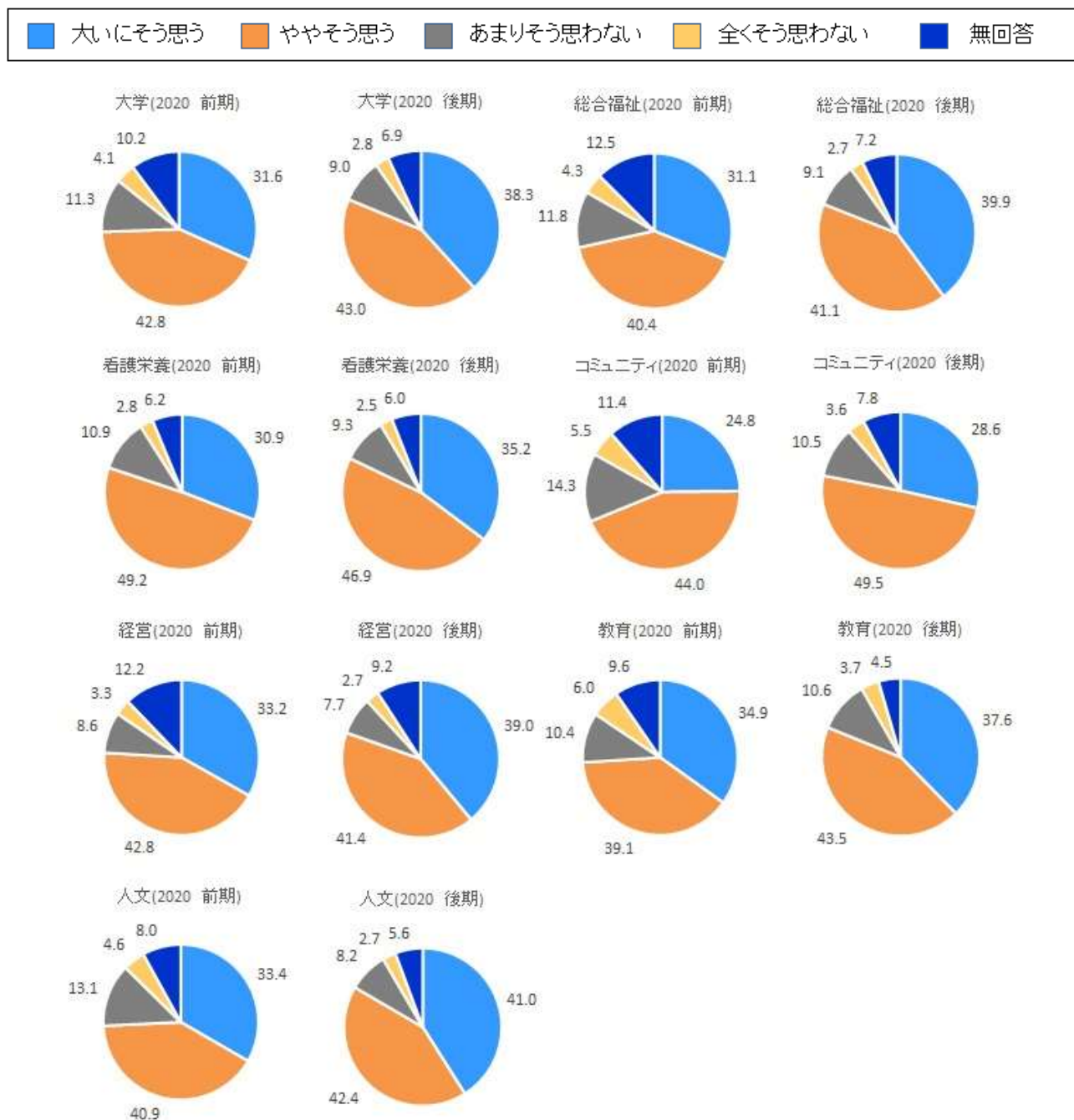


図9 II-4 話し方や説明の仕方はわかりやすかったか

5 「受講態度(私語等)に対して、適切な指導がなされていましたか」

授業内での私語や携帯電話の注意等の対応に関する設問です。遠隔授業の課題研究型等の授業の実施の場合は、本設問は該当しないため、無回答が10%前後見られます。また本設問は「あまりそう思わない」の回答割合は学部間で大きく異なるため、今後詳細な分析やFDなどでの共有や議論も必要です。

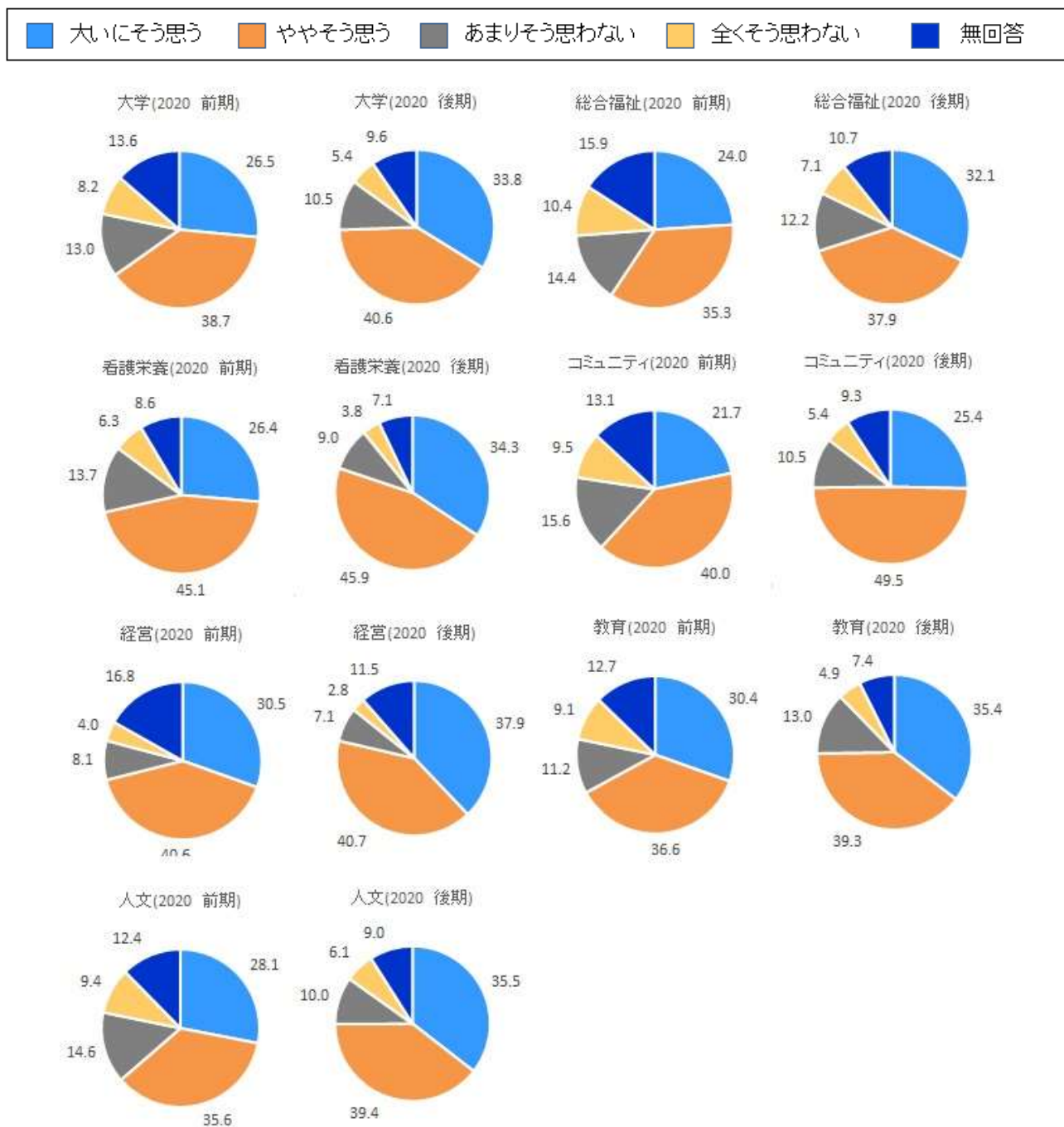


図 10 II-5 受講態度に対しての適切な指導

6 「この授業の内容は、あなたにとって難しかったですか」

授業の難易度は、大学全体では「大いにそう思う」と「ややそう思う」を合わせて、前期・後期とも 75～80% 前後となっており、授業が難しく感じた学生はかなりいるようです。学部別では教育学部及び人文学部は「大いにそう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が他の学部と比べると若干少ない傾向にあります。

■ 大いにそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 無回答

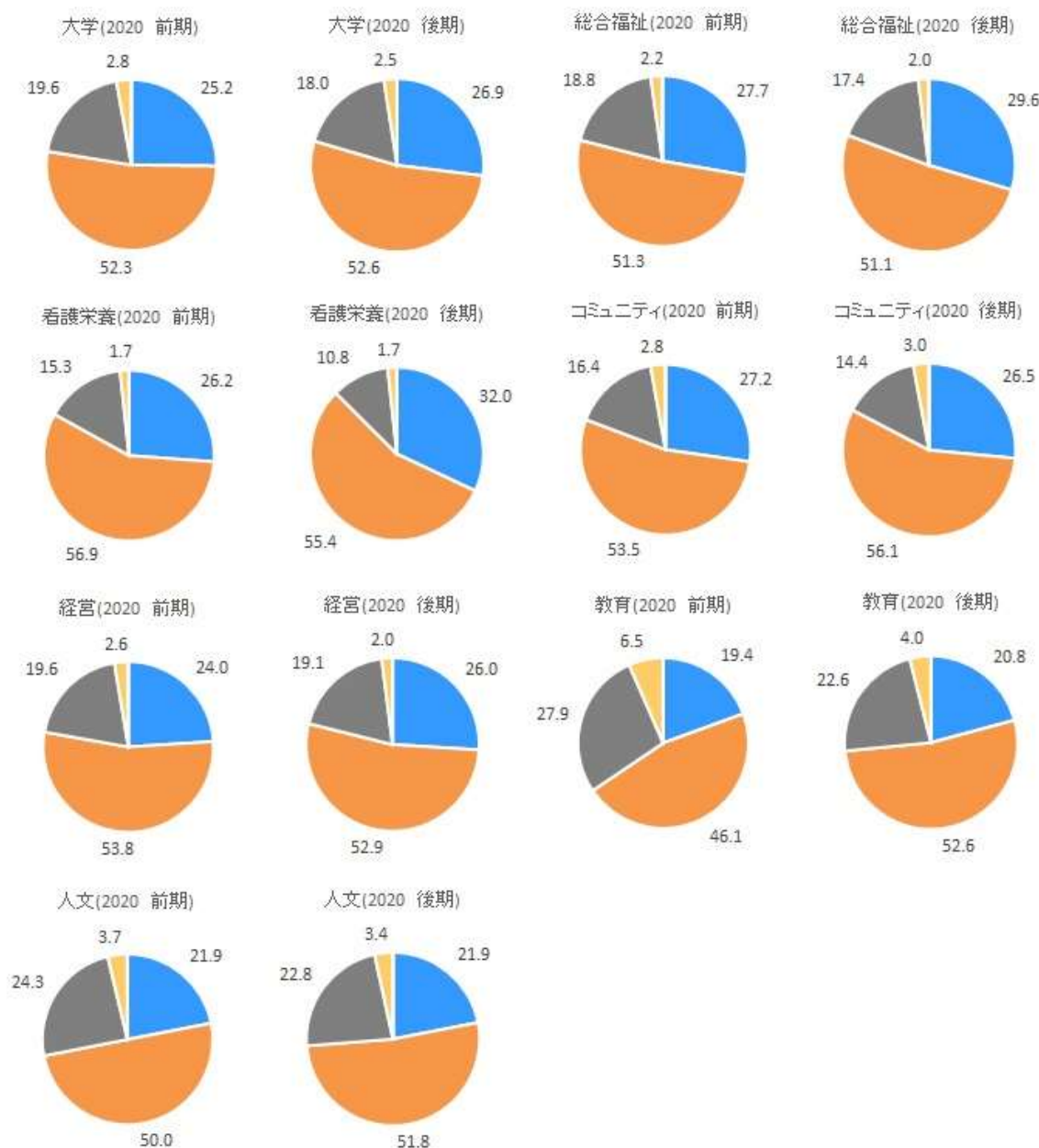


図 11 II-6 授業の難易度について

(Ⅲ)授業の成果について

1「あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか」

大学のカリキュラムは順次性・体系性をもって構成されており、各科目で到達目標を達成することは大切なことです。2020 年度の結果は、どの学部も 80～90%の学生が到達目標を達成できたと回答しています。授業アンケートは学生の主観的な回答ではありますが、本結果は本報告書の分析編において詳細な分析を実施しています。

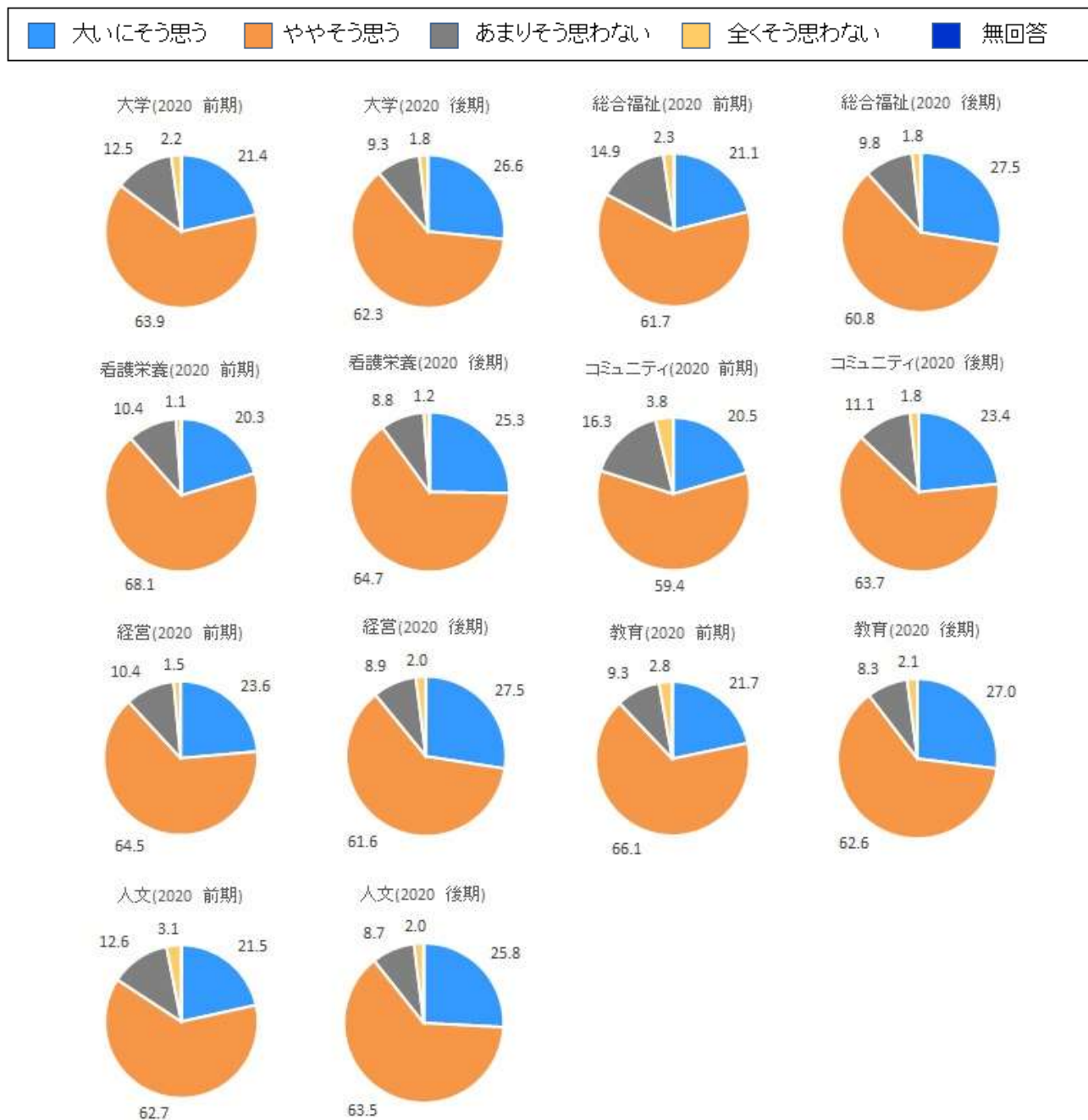


図 12 Ⅲ-1 到達目標は達成できたか

2 「あなたは、この授業の内容、関連分野などについて、より深く学びたいと思いましたか」

2020年度の授業アンケートから新しく追加された設問です。授業への興味などを具体化したものであり、本報告書の分析編では学習深化意向として分析しています。大学全体では90%前後の学生が「大いにそう思う」及び「ややそう思う」と回答しています。しかし、「大いにそう思う」の数値は各キャンパス・学部によって異なるため、経年変化や各科目について詳細に分析をしていく必要があります。

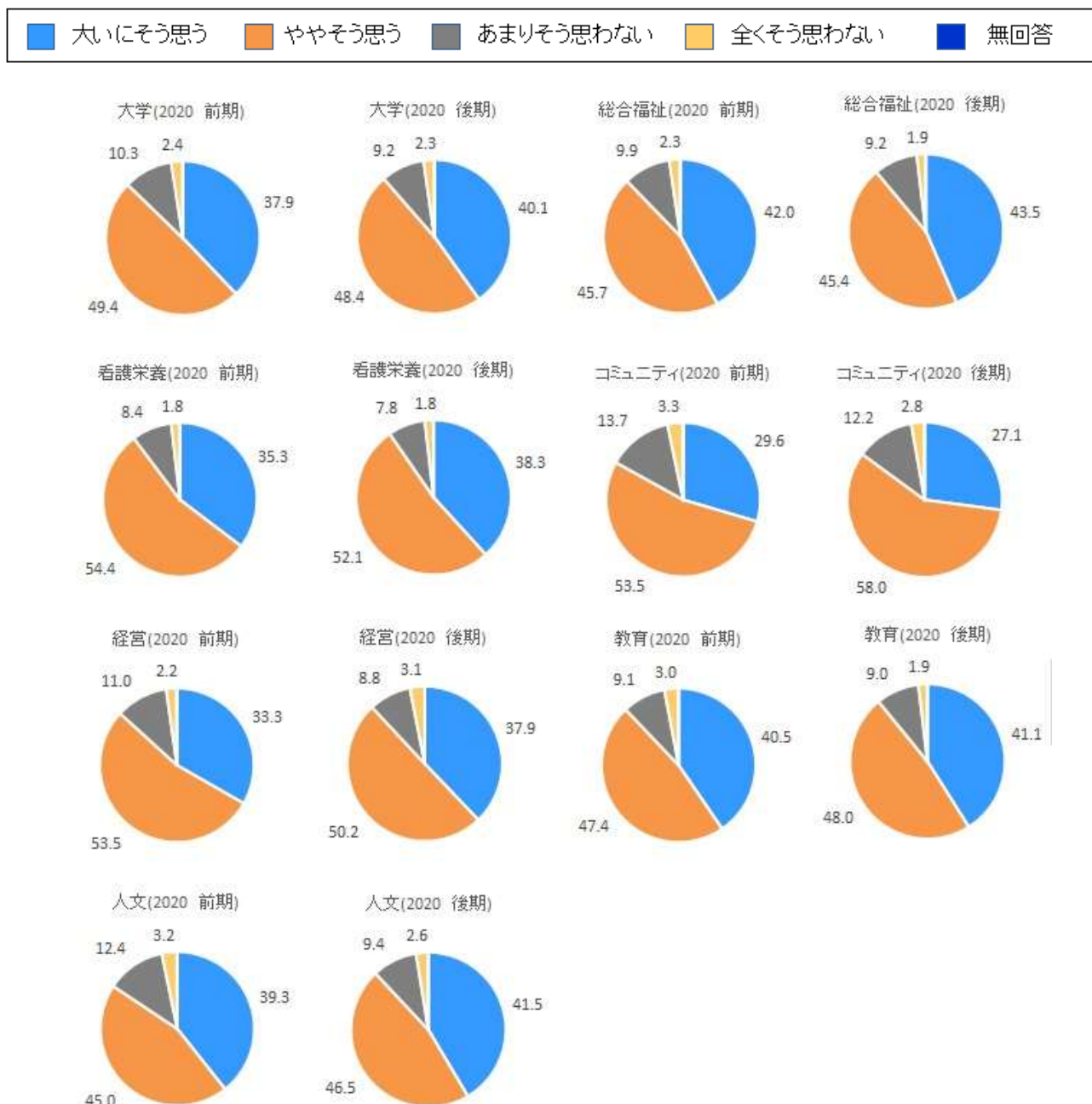


図 13 Ⅲ-2 授業内容等についてより学びたいと思ったか

3「あなたは、この授業を受講して、満足していますか」

授業の総合的な満足度に関する設問です。学生の学習成果ではありませんが、大学の教育を考えるうえで重要な指標となるものです。満足度は「大いにそう思う」の回答割合は学部間で多少異なります。なお、本設問と他の設問との関係に関するものは次の分析編に記載しています。

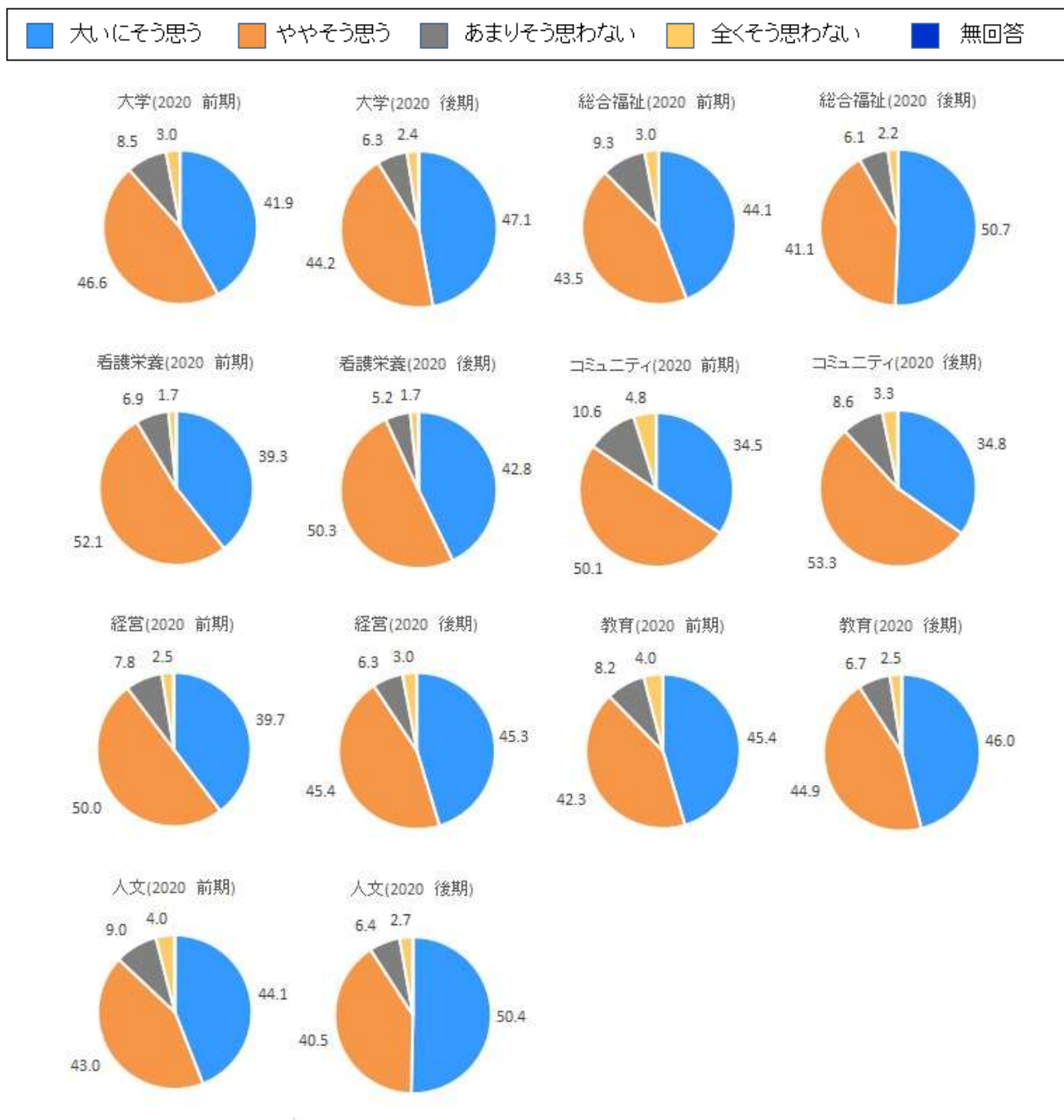


図 14 Ⅲ－3 授業に満足しているか

Ⅲ 分析編

- 学生の評価が高く、学習行動を促進している授業に関する探索的分析-

1. 分析編の概要

(1) 分析結果の概要

「学生の評価が高く、学習行動を促進しているのはどのような授業か」を探索的に分析した主な結果の概要を示します。

- 学生の「授業満足度」等と学習行動の促進（「主体的学習実施度」「予習復習時間」）の両者にプラスに影響するのは主に以下の要因である（下線はとくに影響が多い要因）。
 - ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。
（「シラバス理解度」）
 - ・ 事前事後の学習等の具体的な指示がある。（「事前事後学習の指示」）
 - ・ シラバスに沿って行われている。（「シラバス忠実度」）
 - ・ 双方向型の授業が行われている。（「双方向型の授業」）
- 上記は、次のように言い換えることができる。
 - ・ 授業をよく理解して履修した学生が多い授業ほど（さらにその授業がシラバスに沿って行われているほど）、「授業満足度」、「学習深化意向（授業の内容、関連分野などについてより深く学びたい）」、および「シラバス目標達成度」が高く、同時に「授業の内容について自ら調べたり考えたりする」行動（「主体的学習実施度」）が促され、「予習復習時間」も長くなる。
 - ※ 「シラバス理解度」は、「難易度」が高い授業において学習行動を促進する傾向がある。
 - ・ 事前事後の学習等の具体的な指示がある授業ほど、「主体的学習実施度」が高く「予習復習時間」が長くなると同時に「授業満足度」等も高まる。
 - ※ 「事前事後学習の指示」は、「難易度」が低い授業において学習行動を促進する傾向が、また履修人数が少ない授業において「授業満足度」等を高める傾向がある。
 - ・ 双方向型の授業であるほど、「授業満足度」と「主体的学習実施度」が高まる。
- 「話し方等分かりやすさ（教員の話し方や説明の仕方が分かりやすい）」は、学生の「授業満足度」等に大きく影響するが、一方で学習行動の促進に対してはマイナスに作用する。
 - ※ 「話し方等分かりやすさ」は、履修人数が多い授業、遠隔授業などにおいて影響が大きい。
- 「授業の難易度」は学習行動の促進に不可欠な要素である。しかし、「授業満足度」等に対してはマイナスに作用する。

(2) 分析の目的と方針

第二部では、アンケート調査結果および授業の実施場所や履修人数等の情報を用いて、「**学生の評価が高く、学習行動を促進しているのはどのような授業か**」を探索的に分析します。

「学生の評価」および学習行動の促進を測定する変数は、主に以下の変数とします。

- 授業満足度 (Q3-3, 選択肢は「大いにそう思う」～「全くそう思わない」の4水準。4水準の内容は以下同様)
「あなたは、この授業を受講して、満足していますか」
- 予習復習時間 (Q1-5, 選択肢は「4時間以上」「3時間～4時間未満」「2時間～3時間未満」「1時間～2時間未満」「1時間未満」「ほとんどない」の6水準)
「あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、この授業1回(90分)につき、平均してどの程度ですか」
- 主体的学習実施度 (Q1-3, 選択肢は4水準)
「あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか」

分析の方針は以下のとおりです。

1. 相関分析、単回帰分析等を行い、「授業満足度」、「予習復習時間」、「主体的学習実施度」とその他の調査項目および履修人数・学年等の授業属性との関連を中心に、2つの変数間にどのような関連があるのかを検討する。
2. 1の結果をふまえて、「授業満足度」、「予習復習時間」、「主体的学習実施度」等をそれぞれ目的変数、その他の調査項目および授業属性を説明変数とした重回帰分析を行い、「授業満足度」等はどのような要因によって規定されているのかを検討する。

(3) 分析データについて

本分析で用いるのは授業ごとのデータで、総数は2,017です。
大きく以下の2種類に分けることができます。

① アンケート結果（授業ごとの平均点データ）

各学生の回答結果そのものではなく、その授業を履修した学生の平均点を用います。平均点は、各学生のアンケート設問の各回答を点数とみなした上で算出しています。たとえば、回答の選択肢が「大いにそう思う～全くそう思わない」の4段階の場合、「大いにそう思う=4点」～「全くそう思わない=1点」とみなします。

② 授業属性データ

授業の実施場所、回答した学生の学年・性別・所属学部（アンケートに回答欄あり）、履修人数、授業形態などのデータです。

データ化は、以下のように行いました。

- 学期 「前学期」「後学期」の2変数。前学期を「1」、後学期を「0」として0-1データ化。
- 曜日 「月」「火」「水」「木」「金」「土」の6変数。該当曜日を「1」、非該当を「0」として0-1データ化。
- 時限 「1限」「2限」「3限」「4限」「5限」「6限」「7限」「集中講義」の8変数。該当を「1」、非該当を「0」として0-1データ化。
- キャンパス 「千葉」「千葉第二」「埼玉」「東京」の4変数。該当を「1」、非該当を「0」として0-1データ化。
- 学年 回答した学生の学年の平均値。
- 学部 「総合福祉」「看護栄養」「コミュニティ政策」「経営」「教育」「人文」の6変数。回答した学生の所属学部の割合を数値化。たとえば、その授業の回答者が全員「総合福祉」であれば、「総合福祉」を「1」、その他の変数をすべて「0」となる。100人の学生が回答した授業で、「総合福祉」が20%、「コミュニティ政策」が80%なら、「総合福祉」を「0.2」、「コミュニティ政策」を「0.8」とし、その他の変数すべてを「0」となる。
- 履修人数 「10人未満」「10人～19人」「20人～49人」「50人～99人」「100人以上」の5水準として順序尺度化。
- 授業形態（遠隔度） 「すべて遠隔授業」を「3」、「一部遠隔授業」および「一部対面授業」を「2」、「すべて対面授業」を「1」の3水準として順序尺度化。変数名は「遠隔度」とした。

「授業形態」はコロナ禍による対応である遠隔授業の割合であり、図1に示す通り、学期、キャンパス、履修人数による差は顕著です。たとえば、前学期は「すべて対面授業」は0%であり、履修人数は多いほど「すべて遠隔授業」が、少ないほど「すべて対面授業」が多い傾向があります。なお、「授業形態」データは273が欠測値で、前半期に集中しています。

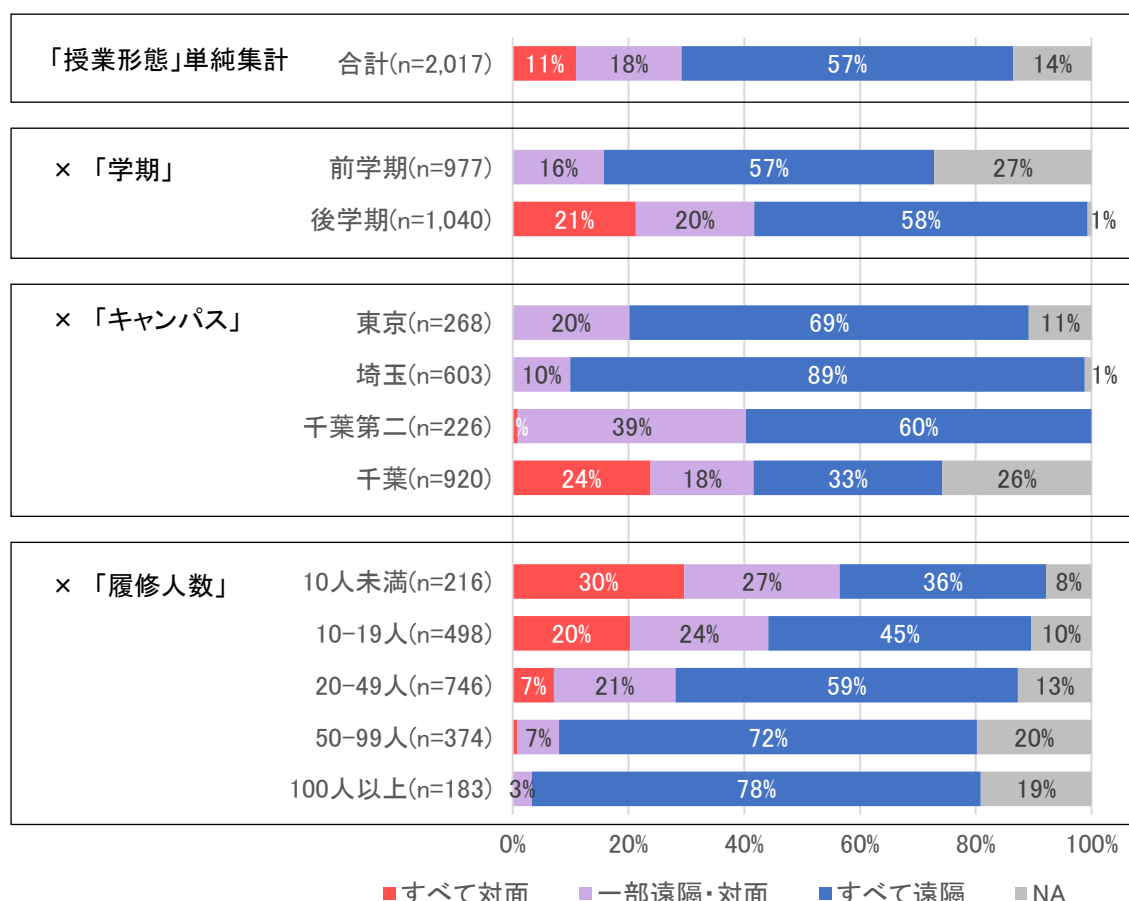


図1 「授業形態」単純集計、および「授業形態」×「学期」「キャンパス」「履修人数」

アンケート結果（授業ごとの平均点）の単純集計結果を図2に、授業ごとに集約する前の学生個人のデータの単純集計結果を図3に示します。

各グラフ内の濃い色は「すべて遠隔」の授業ですが、ほぼ全ての変数でピークが全体よりもやや低得点側によっていることがわかります。この傾向はとくに「Q2-3 双方型授業実施」「Q2-5 授業態度の指導」等に表れています。

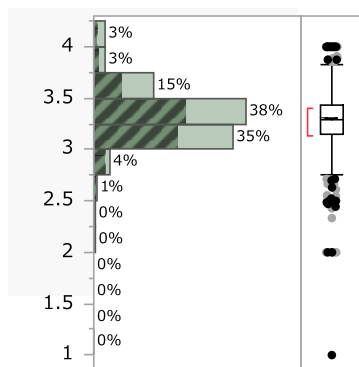
なお、「Q2-3 双方型授業実施」「Q2-4 話し方等分かりやすさ」「Q2-5 授業態度の指導」の3設問のみ、オンデマンド形式の授業等では回答しにくいことから回答無必須としたため、アンケートには無回答が含まれます。無回答が含まれる授業は、遠隔授業であるほど高い傾向はありますが、それ以外には大きな偏りはみられませんでした。

図 2-1/2 授業単位の平均点データ (n=2,017) 単純集計結果

*濃い色は「すべて遠隔授業」

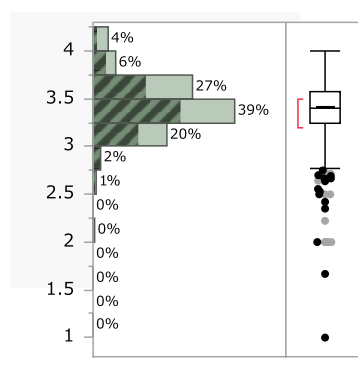
Q1 あなた自身について

Q1-1 シラバス理解度 (授業の目的、内容、評価方法等を理化していたか)



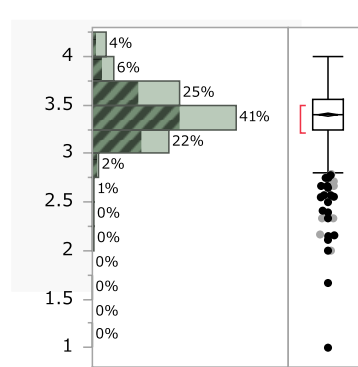
平均 3.3015753
標準偏差 0.2629407
平均の標準誤差 0.0058547

Q1-2 授業取組み度 (授業に意欲的に取り組んだか)



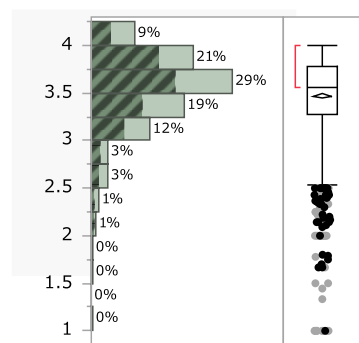
平均 3.41041
標準偏差 0.2739027
平均の標準誤差 0.0060988

Q1-3 主体的取組み度 (授業の内容について、自ら調べたり考えたりしたか)



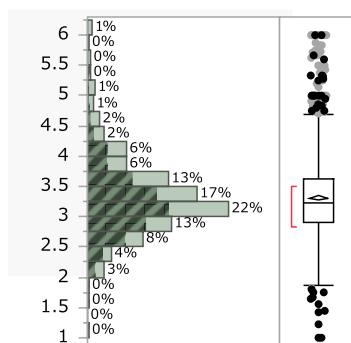
平均 3.3989554
標準偏差 0.2720438
平均の標準誤差 0.0060574

Q1-4 欠席回数



平均 3.4703896
標準偏差 0.4523032
平均の標準誤差 0.0100711

Q1-5 予習復習時間



平均 3.3138235
標準偏差 0.6744501
平均の標準誤差 0.0150175

【凡例：Q1-4 欠席回数】

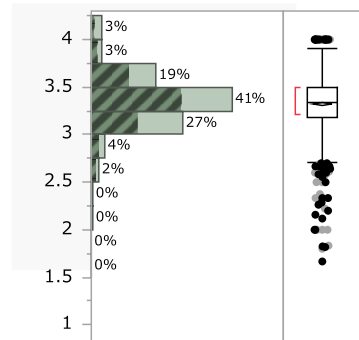
- 4 0回
- 3 1回
- 2 2回
- 1 3回以上

【凡例：Q1-5 予習復習時間】

- 6 4時間以上
- 5 3～4時間未満
- 4 2～3時間未満
- 3 1～2時間未満
- 2 1時間未満
- 1 ほとんどない

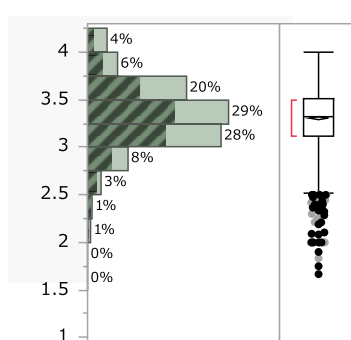
Q2 この授業について

Q2-1 シラバス忠実度 (シラバスにそって行われたか)



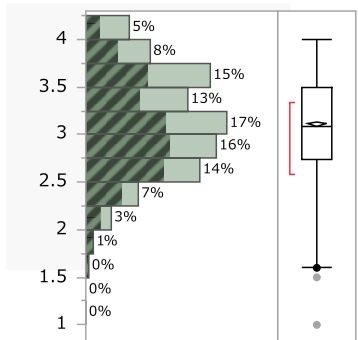
平均 3.3252891
標準偏差 0.2916814
平均の標準誤差 0.0064947

Q2-2 事前事後学習の指示



平均 3.3097922
標準偏差 0.3420938
平均の標準誤差 0.0076171

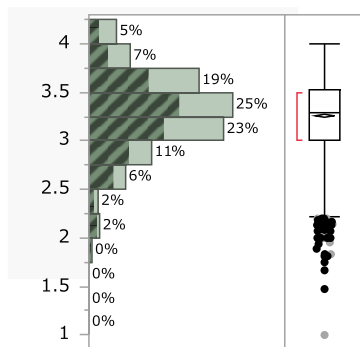
Q2-3 双方型授業実施



平均 3.1112843
標準偏差 0.5159275
平均の標準誤差 0.0114878

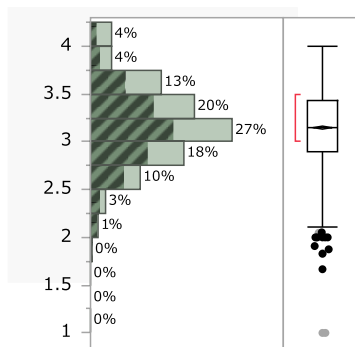
図 2 -2/2 授業単位の平均点データ (n=2,017) 単純集計結果

Q2-4 話し方等分かりやすさ



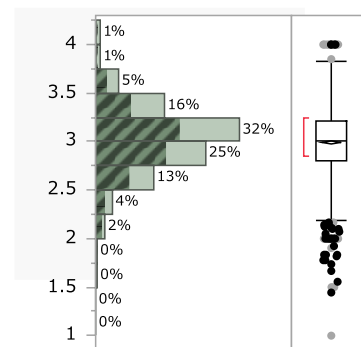
平均 3.2582488
標準偏差 0.4159438
平均の標準誤差 0.0092615

Q2-5 授業態度の指導



平均 3.1533013
標準偏差 0.4053867
平均の標準誤差 0.0090287

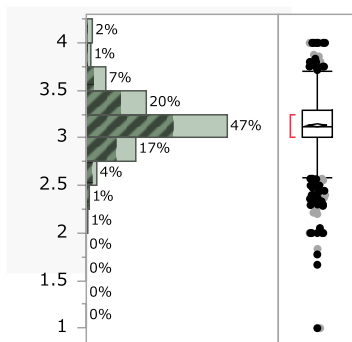
Q2-6 授業難易度



平均 2.9947201
標準偏差 0.3571957
平均の標準誤差 0.0079534

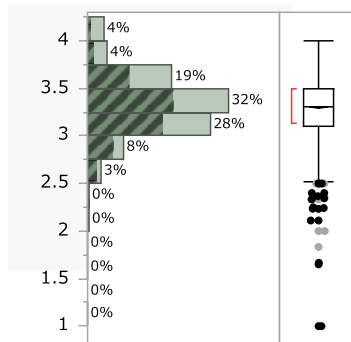
Q3 授業の成果について

Q3-1 シラバス目標達成度



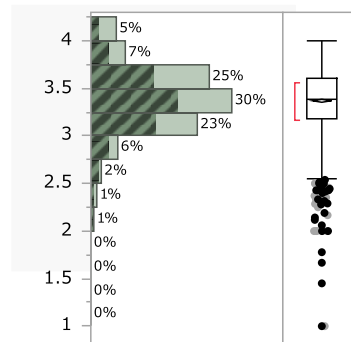
平均 3.1349649
標準偏差 0.2941797
平均の標準誤差 0.0065503

Q3-2 学習深化意向



平均 3.2997917
標準偏差 0.3262106
平均の標準誤差 0.0072635

Q3-3 授業の満足度



平均 3.3680444
標準偏差 0.3522037
平均の標準誤差 0.0078423

【凡例：4水準】

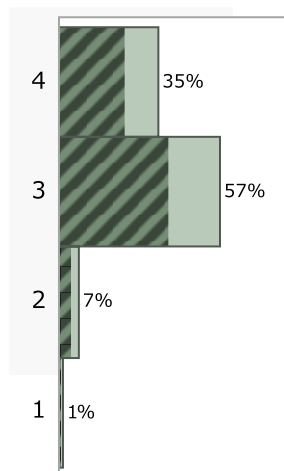
- 4 大いにそう思う
- 3 ややそう思う
- 2 あまりそう思わない
- 1 全くそう思わない

図3 -1/2 学生個人データ (n=53, 303) 単純集計結果

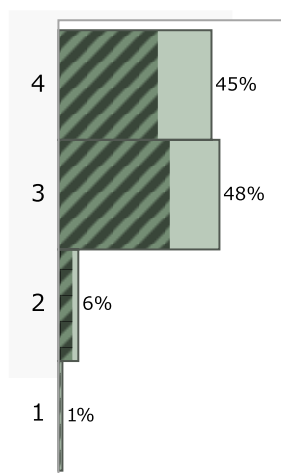
*濃い色は「すべて遠隔授業」

Q1 あなた自身について

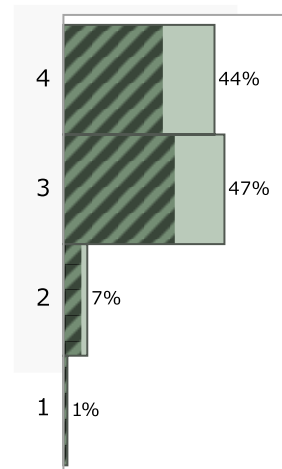
Q1-1 シラバス理解度 (授業の目的、内容、評価方法等を理化していたか)



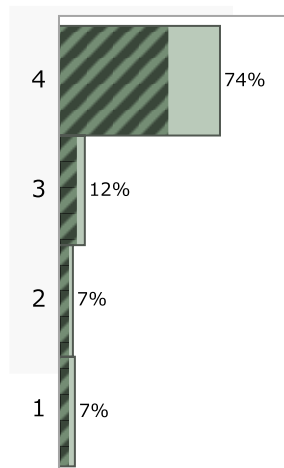
Q1-2 授業取組み度 (授業に意欲的に取り組んだか)



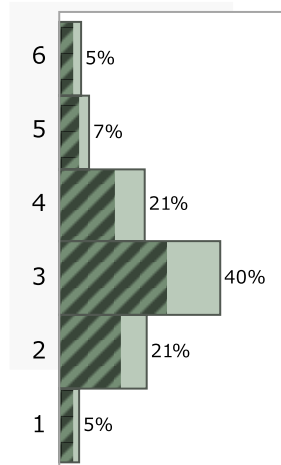
Q1-3 主体的取組み度 (授業の内容について、自ら調べたり考えたりしたか)



Q1-4 欠席回数



Q1-5 予習復習時間



【凡例：Q1-4 欠席回数】

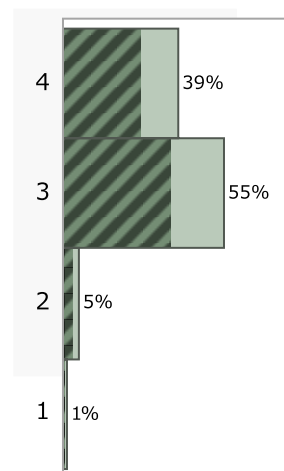
- 4 0回
- 3 1回
- 2 2回
- 1 3回以上

【凡例：Q1-5 予習復習時間】

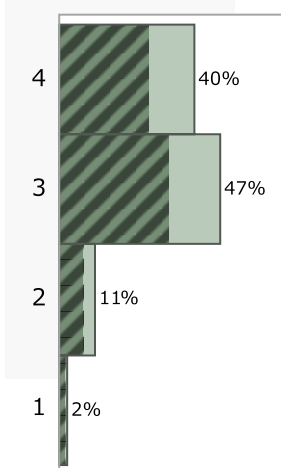
- 6 4時間以上
- 5 3～4時間未満
- 4 2～3時間未満
- 3 1～2時間未満
- 2 1時間未満
- 1 ほとんどない

Q2 この授業について

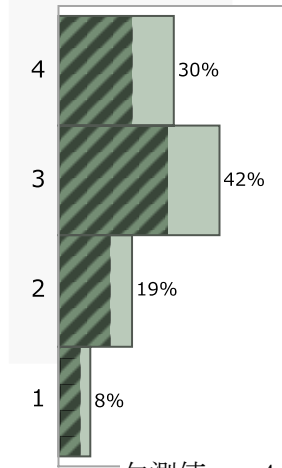
Q2-1 シラバス忠実度 (シラバスにそって行われたか)



Q2-2 事前事後学習の指示



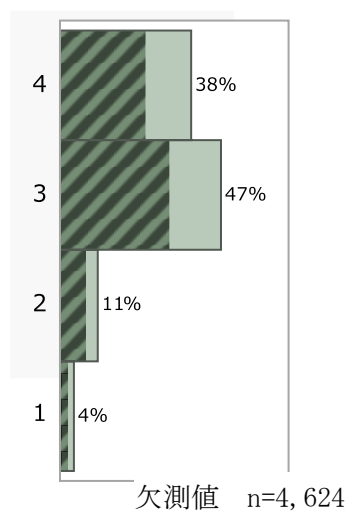
Q2-3 双方型授業実施



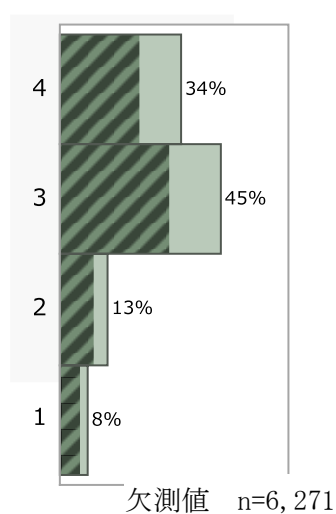
欠測値 n=4, 957

図3 -2/2 授業単位の平均点データ (n=53, 303) 単純集計結果

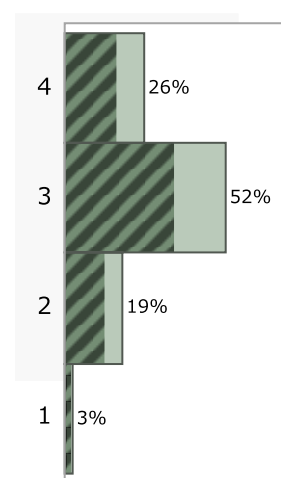
Q2-4 話し方等分かりやすさ



Q2-5 授業態度の指導

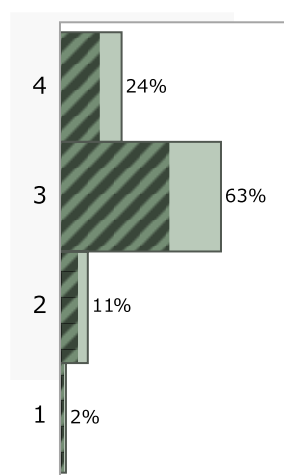


Q2-6 授業難易度

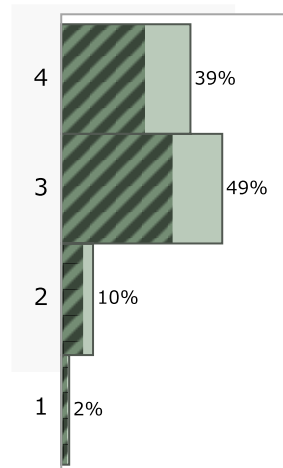


Q3 授業の成果について

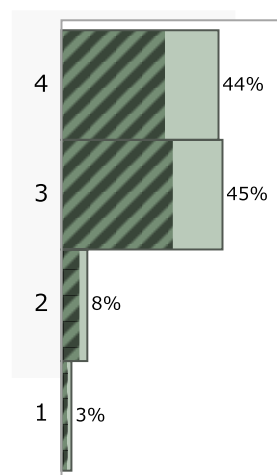
Q3-1 シラバス目標達成度



Q3-2 学習深化意向



Q3-3 授業の満足度



【凡例：4水準】

- 4 大いにそう思う
- 3 ややそう思う
- 2 あまりそう思わない
- 1 全くそう思わない

2. 2つの項目間の関連

(1) 相関係数行列

全項目間の関連を俯瞰するため、相関分析を行いました。全授業データ (n=2,017) の相関係数行列を表1に、欠測値や無回答が少ない後学期のみ授業データ (n=1,040) の相関係数行列を表2に示します。

相関係数とは、2つの変数の関連の強さの程度を表す指標で、 ± 1 の範囲内の値をとります。一方が大きくなるにつれもう一方も大きくなるという正の関連であれば+の値、一方が大きくなるにつれもう一方が小さくなるという負の関連であれば-の値、完全に一致していれば+1、完全に反対であれば-1です。

表1および2では、数値の大きさを直感的に分かりやすくするために色分けしています。オレンジおよび濃い水色は ± 0.7 以上の高相関、薄いオレンジおよび水色は ± 0.4 以上 0.7 未満、グレーは ± 0.12 未満です。

濃い青色は+1 (同じ項目間の相関係数なので完全に一致)、赤い数字はマイナスを示します。各相関係数行列表では、濃い青色ラインを境に右上と左下は同じ内容になっています。

表 1 -1/3 授業単位データの相関係数行列（全授業データ、n=2,017）

■ =1 高相関 : 0.7以上 : -0.7以下 : 0.4～0.7未満 : -0.4～-0.7 低相関 -0.12～0.12未満		前期	月	火	水	木	金	土	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限	集中講義
学期(0-1)	前期	1.00	.00	.01	.00	-.02	.02	.00	.04	.04	.00	.03	.02	.00	-.13	-.02
曜日 (0-1)	月	.00	1.00	-.23	-.24	-.21	-.24	-.01	.00	-.01	.01	.09	.00	-.07	-.09	-.03
	火	.01	-.23	1.00	-.27	-.22	-.26	-.02	.01	.00	-.03	-.02	.00	.09	.02	-.03
	水	.00	-.24	-.27	1.00	-.25	-.28	-.02	.06	-.02	.01	-.01	-.02	-.05	.01	-.03
	木	-.02	-.21	-.22	-.25	1.00	-.25	-.02	.02	-.02	-.04	-.06	.01	.05	.11	-.03
	金	.02	-.24	-.26	-.28	-.25	1.00	-.02	-.08	.05	.04	.01	.01	-.02	-.05	-.03
	土	.00	-.01	-.02	-.02	-.02	-.02	1.00	.03	.02	.02	.03	-.01	-.01	-.01	.00
時限 (0-1)	1時限	.04	.00	.01	.06	.02	-.08	.03	1.00	-.21	-.25	-.20	-.16	-.10	-.09	.00
	2時限	.04	-.01	.00	-.02	-.02	.05	.02	-.21	1.00	-.29	-.26	-.21	-.12	-.11	.00
	3時限	.00	.01	-.03	.01	-.04	.04	.02	-.25	-.29	1.00	-.18	-.20	-.12	-.11	.00
	4時限	.03	.09	-.02	-.01	-.06	.01	.03	-.20	-.26	-.18	1.00	-.12	-.10	-.09	.00
	5時限	.02	.00	.00	-.02	.01	.01	-.01	-.16	-.21	-.20	-.12	1.00	-.07	-.07	.00
	6時限	.00	-.07	.09	-.05	.05	-.02	-.01	-.10	-.12	-.12	-.10	-.07	1.00	-.04	.00
	7時限	-.13	-.09	.02	.01	.11	-.05	-.01	-.09	-.11	-.11	-.09	-.07	-.04	1.00	.00
	集中講義	-.02	-.03	-.03	-.03	-.03	-.03	.00	.00	.00	.00	.00	.00	.00	.00	1.00
キャンパス (0-1)	千葉	-.02	-.07	.14	.07	-.15	.02	-.03	-.05	-.04	-.08	-.05	.03	.21	.22	-.05
	千葉第二	.06	-.03	-.01	-.08	.11	.01	.04	.06	.01	.02	.02	.11	-.07	-.07	-.02
	埼玉	.00	-.01	.14	.02	-.08	-.05	.02	.00	-.01	-.06	-.04	.08	.12	.13	-.04
	東京	-.03	.11	-.02	-.01	.01	-.10	.03	.02	.03	.01	.00	-.03	-.08	-.08	.05
学年	平均(学年)	-.03	-.08	.02	-.06	.12	.00	.02	-.17	-.09	-.08	-.02	.09	.28	.33	.03
学部 (割合)	総合福祉_率	-.01	-.05	.17	.10	-.20	.01	-.02	-.03	-.02	-.08	-.02	.07	.15	.11	-.05
	看護栄養_率	.06	-.01	-.01	-.07	.10	.00	.04	.06	.01	.02	.02	.11	-.08	-.07	-.02
	コミュニティ政策_率	-.01	-.04	-.02	-.06	.09	.02	-.01	-.03	-.03	-.01	-.06	-.07	.13	.21	-.02
	経営_率	-.01	-.03	-.07	.05	.08	-.04	-.01	.03	.05	.06	-.03	-.09	-.10	-.09	.02
	教育_率	.01	.05	-.12	-.08	.02	.13	-.01	-.04	-.04	.02	.10	.00	-.06	-.08	.03
	人文_率	-.03	.11	-.02	-.01	.01	-.10	.03	.02	.03	.01	.00	-.03	-.08	-.08	.05
履修人数	履修人数(5水準)	.07	.10	.03	.02	-.03	-.10	-.01	.17	.06	.03	.03	-.05	-.23	-.25	.01
回答者数	回答者数(5水準)	.13	.11	.02	.03	-.04	-.09	-.01	.16	.06	.03	.03	-.04	-.22	-.25	.02
授業形態	遠隔度（⇄対面度）	.29	.12	-.03	-.02	.02	-.08	.02	.11	.07	.02	.08	-.06	-.29	-.28	.02
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	-.20	-.04	.04	-.04	-.01	.04	.00	-.04	-.02	-.06	.00	-.01	.12	.12	.02
	12_授業取組み度	-.09	-.04	.04	-.05	-.04	.07	.01	-.03	.01	-.01	-.01	.00	.03	.07	.00
	13_主体的学習実施度	-.08	.00	.04	-.03	-.05	.03	-.01	-.05	-.03	-.01	.02	.00	.10	.09	.00
	14_出席回数	.11	.02	-.02	.01	-.03	.01	-.02	.02	-.02	.03	.01	.07	-.03	-.12	.00
	15_予習復習時間	-.06	.04	.01	-.02	.00	-.03	.00	-.07	-.07	.01	.03	.03	.18	.13	.00
	21_シラバス忠実度	-.22	-.01	.03	-.01	-.01	-.01	-.01	.02	.02	-.07	.01	-.05	.07	.06	.02
	22_事前事後学習の指示	-.16	-.07	.04	-.02	.00	.04	.00	-.03	.00	-.07	-.01	-.01	.14	.09	.01
	23_双方型授業実施	-.23	-.12	.00	-.01	.01	.10	.01	-.09	-.02	-.02	-.01	.01	.14	.14	.01
	24_話し方等分かりやすさ	-.18	-.09	.01	-.01	-.01	.08	.02	-.03	.02	-.09	-.03	.00	.13	.13	.01
	25_授業態度の指導	-.26	-.07	.02	-.05	.04	.05	.01	-.10	-.01	-.05	-.03	.01	.17	.16	.00
	26_授業難易度	-.11	.01	.05	.00	-.04	-.01	-.04	.00	-.03	.02	.06	-.01	.04	.01	.01
	31_シラバス目標達成度	-.22	-.06	.03	-.05	.00	.06	.00	-.06	-.03	-.03	-.01	-.02	.11	.16	.02
	32_学習深化意向	-.09	-.06	.04	-.06	-.03	.09	.01	-.05	.00	-.07	.00	.03	.13	.12	.03
	33_授業満足度	-.14	-.06	.01	-.02	-.02	.08	.01	-.03	.01	-.06	-.02	.00	.11	.10	.02

表 1 -2/3 授業単位データの相関係数行列（全授業データ、n=2,017）

■ =1 高相関 ■ : 0.7以上 ■ : -0.7以下 ■ : 0.4～0.7未満 ■ : -0.4～-0.7 低相関 ■ -0.12～0.12未満		千葉	千葉第二	埼玉	東京	平均(学年)	総合福祉_率	看護栄養_率	コミュニティ政策_率	経営_率	教育_率	人文_率	履修人数(5水準)	回答者数(5水準)	遠隔度 (⇄対面度)
学期(0-1)	前期	-.02	.06	.00	-.03	-.03	-.01	.06	-.01	-.01	.01	-.03	.07	.13	.29
曜日 (0-1)	月	-.07	-.03	-.01	.11	-.08	-.05	-.01	-.04	-.03	.05	.11	.10	.11	.12
	火	.14	-.01	.14	-.02	.02	.17	-.01	-.02	-.07	-.12	-.02	.03	.02	-.03
	水	.07	-.08	.02	-.01	-.06	.10	-.07	-.06	.05	-.08	-.01	.02	.03	-.02
	木	-.15	.11	-.08	.01	.12	-.20	.10	.09	.08	.02	.01	-.03	-.04	.02
	金	.02	.01	-.05	-.10	.00	.01	.00	.02	-.04	.13	-.10	-.10	-.09	-.08
	土	-.03	.04	.02	.03	.02	-.02	.04	-.01	-.01	-.01	.03	-.01	-.01	.02
時限 (0-1)	1時限	-.05	.06	.00	.02	-.17	-.03	.06	-.03	.03	-.04	.02	.17	.16	.11
	2時限	-.04	.01	-.01	.03	-.09	-.02	.01	-.03	.05	-.04	.03	.06	.06	.07
	3時限	-.08	.02	-.06	.01	-.08	-.08	.02	-.01	.06	.02	.01	.03	.03	.02
	4時限	-.05	.02	-.04	.00	-.02	-.02	.02	-.06	-.03	.10	.00	.03	.03	.08
	5時限	.03	.11	.08	-.03	.09	.07	.11	-.07	-.09	.00	-.03	-.05	-.04	-.06
	6時限	.21	-.07	.12	-.08	.28	.15	-.08	.13	-.10	-.06	-.08	-.23	-.22	-.29
	7時限	.22	-.07	.13	-.08	.33	.11	-.07	.21	-.09	-.08	-.08	-.25	-.25	-.28
	集中講義	-.05	-.02	-.04	.05	.03	-.05	-.02	-.02	.02	.03	.05	.01	.02	.02
キャンパス (0-1)	千葉	1.00	-.33	.60	-.36	.16	.83	-.31	.36	-.43	-.35	-.36	-.06	-.10	-.47
	千葉第二	-.33	1.00	.23	-.14	-.04	-.27	.99	-.12	-.17	-.14	-.14	.17	.19	.03
	埼玉	.60	.23	1.00	.26	.14	.50	.24	.22	-.71	-.59	.26	.06	.11	-.37
	東京	-.36	-.14	.26	1.00	-.02	-.30	-.15	-.13	-.18	-.15	1.00	.01	.13	.13
学年	平均(学年)	.16	-.04	.14	-.02	1.00	.13	-.04	.07	-.10	-.08	-.02	-.39	-.40	-.25
学部 (割合)	総合福祉_率	.83	-.27	.50	-.30	.13	1.00	-.26	-.21	-.36	-.29	-.30	-.06	-.06	-.40
	看護栄養_率	-.31	.99	.24	-.15	-.04	-.26	1.00	-.11	-.17	-.14	-.15	.19	.21	.04
	コミュニティ政策_率	.36	-.12	.22	-.13	.07	-.21	-.11	1.00	-.15	-.13	-.13	-.02	-.10	-.20
	経営_率	-.43	-.17	-.71	-.18	-.10	-.36	-.17	-.15	1.00	-.15	-.18	-.03	-.07	.27
	教育_率	-.35	-.14	-.59	-.15	-.08	-.29	-.14	-.13	-.15	1.00	-.15	-.05	-.08	.20
	人文_率	-.36	-.14	.26	1.00	-.02	-.30	-.15	-.13	-.18	-.15	1.00	.01	.13	.13
履修人数	履修人数(5水準)	-.06	.17	.06	.01	-.39	-.06	.19	-.02	-.03	-.05	.01	1.00	.88	.39
回答者数	回答者数(5水準)	-.10	.19	.11	.13	-.40	-.06	.21	-.10	-.07	-.08	.13	.88	1.00	.38
授業形態	遠隔度 (⇄対面度)	-.47	.03	-.37	.13	-.25	-.40	.04	-.20	.27	.20	.13	.39	.38	1.00
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	.02	-.06	-.01	.01	.14	.08	-.06	-.09	.04	-.03	.01	-.24	-.21	-.22
	12_授業取組み度	.00	-.03	-.03	-.02	-.01	.07	-.04	-.12	.00	.04	-.02	-.21	-.18	-.22
	13_主体的学習実施度	.08	-.03	.05	-.02	.15	.13	-.04	-.08	-.02	-.05	-.02	-.27	-.23	-.24
	14_出席回数	-.15	.21	-.07	-.07	-.24	-.02	.21	-.24	.02	.08	-.07	.13	.17	.09
	15_予習復習時間	.07	.05	.16	.08	.38	.10	.04	-.04	-.15	-.06	.08	-.21	-.19	-.20
	21_シラバス忠実度	-.03	-.01	-.03	.01	.04	.03	-.01	-.12	.08	-.05	.01	-.12	-.07	-.10
	22_事前事後学習の指示	-.02	-.05	-.05	.01	.20	.03	-.06	-.09	.09	-.04	.01	-.30	-.26	-.18
	23_双方型授業実施	-.04	-.02	-.11	-.07	.29	-.01	-.03	-.05	.14	.00	-.07	-.44	-.44	-.32
	24_話し方等分かりやすさ	-.01	-.04	-.03	.00	.15	.04	-.05	-.06	.07	-.03	.00	-.29	-.25	-.22
	25_授業態度の指導	-.10	-.01	-.14	-.03	.27	-.06	-.02	-.07	.17	-.01	-.03	-.40	-.37	-.29
	26_授業難易度	.11	.09	.13	-.08	.02	.08	.09	.05	.02	-.20	-.08	.08	.06	-.07
	31_シラバス目標達成度	.01	-.04	-.04	-.03	.16	.02	-.04	-.02	.05	-.01	-.03	-.22	-.21	-.22
	32_学習深化意向	.08	-.03	.07	.00	.17	.16	-.03	-.11	-.07	-.01	.00	-.27	-.24	-.26
	33_授業満足度	.02	-.04	.00	.01	.10	.09	-.04	-.11	.02	-.02	.01	-.25	-.21	-.22

表 1 -3/3 授業単位データの相関係数行列（全授業データ、n=2,017）

■ =1 高相関 ■ : 0.7以上 ■ : -0.7以下 ■ : 0.4～0.7未満 ■ : -0.4～-0.7 低相関 ■ -0.12～0.12未満		11_シラバス理解度	12_授業取組み度	13_主体的学習実施度	14_出席回数	15_予習復習時間	21_シラバス忠実度	22_事前事後学習の指示	23_双方型授業実施	24_話し方等分かりやすさ	25_授業態度の指導	26_授業難易度	31_シラバス目標達成度	32_学習深化意向	33_授業満足度
学期(0-1)	前期	-.20	-.09	-.08	.11	-.06	-.22	-.16	-.23	-.18	-.26	-.11	-.22	-.09	-.14
曜日 (0-1)	月	-.04	-.04	.00	.02	.04	-.01	-.07	-.12	-.09	-.07	.01	-.06	-.06	-.06
	火	.04	.04	.04	-.02	.01	.03	.04	.00	.01	.02	.05	.03	.04	.01
	水	-.04	-.05	-.03	.01	-.02	-.01	-.02	-.01	-.01	-.05	.00	-.05	-.06	-.02
	木	-.01	-.04	-.05	-.03	.00	-.01	.00	.01	-.01	.04	-.04	.00	-.03	-.02
	金	.04	.07	.03	.01	-.03	-.01	.04	.10	.08	.05	-.01	.06	.09	.08
	土	.00	.01	-.01	-.02	.00	-.01	.00	.01	.02	.01	-.04	.00	.01	.01
時限 (0-1)	1時限	-.04	-.03	-.05	.02	-.07	.02	-.03	-.09	-.03	-.10	.00	-.06	-.05	-.03
	2時限	-.02	.01	-.03	-.02	-.07	.02	.00	-.02	.02	-.01	-.03	-.03	.00	.01
	3時限	-.06	-.01	-.01	.03	.01	-.07	-.07	-.02	-.09	-.05	.02	-.03	-.07	-.06
	4時限	.00	-.01	.02	.01	.03	.01	-.01	-.01	-.03	-.03	.06	-.01	.00	-.02
	5時限	-.01	.00	.00	.07	.03	-.05	-.01	.01	.00	.01	-.01	-.02	.03	.00
	6時限	.12	.03	.10	-.03	.18	.07	.14	.14	.13	.17	.04	.11	.13	.11
	7時限	.12	.07	.09	-.12	.13	.06	.09	.14	.13	.16	.01	.16	.12	.10
	集中講義	.02	.00	.00	.00	.00	.02	.01	.01	.01	.00	.01	.02	.03	.02
キャンパス (0-1)	千葉	.02	.00	.08	-.15	.07	-.03	-.02	-.04	-.01	-.10	.11	.01	.08	.02
	千葉第二	-.06	-.03	-.03	.21	.05	-.01	-.05	-.02	-.04	-.01	.09	-.04	-.03	-.04
	埼玉	-.01	-.03	.05	-.07	.16	-.03	-.05	-.11	-.03	-.14	.13	-.04	.07	.00
	東京	.01	-.02	-.02	-.07	.08	.01	.01	-.07	.00	-.03	-.08	-.03	.00	.01
学年	平均(学年)	.14	-.01	.15	-.24	.38	.04	.20	.29	.15	.27	.02	.16	.17	.10
学部 (割合)	総合福祉_率	.08	.07	.13	-.02	.10	.03	.03	-.01	.04	-.06	.08	.02	.16	.09
	看護栄養_率	-.06	-.04	-.04	.21	.04	-.01	-.06	-.03	-.05	-.02	.09	-.04	-.03	-.04
	コミュニティ政策_率	-.09	-.12	-.08	-.24	-.04	-.12	-.09	-.05	-.06	-.07	.05	-.02	-.11	-.11
	経営_率	.04	.00	-.02	.02	-.15	.08	.09	.14	.07	.17	.02	.05	-.07	.02
	教育_率	-.03	.04	-.05	.08	-.06	-.05	-.04	.00	-.03	-.01	-.20	-.01	-.01	-.02
	人文_率	.01	-.02	-.02	-.07	.08	.01	.01	-.07	.00	-.03	-.08	-.03	.00	.01
履修人数	履修人数(5水準)	-.24	-.21	-.27	.13	-.21	-.12	-.30	-.44	-.29	-.40	.08	-.22	-.27	-.25
回答者数	回答者数(5水準)	-.21	-.18	-.23	.17	-.19	-.07	-.26	-.44	-.25	-.37	.06	-.21	-.24	-.21
授業形態	遠隔度 (⇄対面度)	-.22	-.22	-.24	.09	-.20	-.10	-.18	-.32	-.22	-.29	-.07	-.22	-.26	-.22
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	1.00	.72	.63	.12	.21	.73	.69	.56	.67	.62	.03	.75	.67	.73
	12_授業取組み度	.72	1.00	.73	.25	.21	.61	.63	.53	.63	.53	-.01	.67	.70	.74
	13_主体的学習実施度	.63	.73	1.00	.16	.41	.55	.59	.51	.48	.48	.17	.58	.62	.59
	14_出席回数	.12	.25	.16	1.00	-.06	.10	.07	.02	.10	.03	-.10	.12	.15	.20
	15_予習復習時間	.21	.21	.41	-.06	1.00	.22	.29	.25	.11	.23	.37	.17	.19	.14
	21_シラバス忠実度	.73	.61	.55	.10	.22	1.00	.73	.52	.66	.58	.12	.68	.57	.68
	22_事前事後学習の指示	.69	.63	.59	.07	.29	.73	1.00	.70	.78	.73	.07	.65	.66	.75
	23_双方型授業実施	.56	.53	.51	.02	.25	.52	.70	1.00	.69	.77	.03	.58	.58	.64
	24_話し方等分かりやすさ	.67	.63	.48	.10	.11	.66	.78	.69	1.00	.76	-.07	.67	.72	.84
	25_授業態度の指導	.62	.53	.48	.03	.23	.58	.73	.77	.76	1.00	.05	.63	.59	.67
	26_授業難易度	.03	-.01	.17	-.10	.37	.12	.07	.03	-.07	.05	1.00	-.03	-.06	-.09
	31_シラバス目標達成度	.75	.67	.58	.12	.17	.68	.65	.58	.67	.63	-.03	1.00	.69	.75
	32_学習深化意向	.67	.70	.62	.15	.19	.57	.66	.58	.72	.59	-.06	.69	1.00	.82
	33_授業満足度	.73	.74	.59	.20	.14	.68	.75	.64	.84	.67	-.09	.75	.82	1.00

表 2 -1/3 後学期の授業単位データの相関係数行列（後学期の全授業データ、n=1,040）

		=1 高相関 : 0.7以上 : -0.7以下 : 0.4～0.7未満 : -0.4～-0.7 低相関 -0.12～0.12未満																												
		月	火	水	木	金	土	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限	集中講義															
曜日 (0-1)	月	1.00	-.23	-.24	-.22	-.24	-.01	.00	.00	.02	.08	.01	-.06	-.12	-.03															
	火	-.23	1.00	-.26	-.23	-.26	-.02	.02	.01	-.03	-.01	-.03	.08	.05	-.04															
	水	-.24	-.26	1.00	-.26	-.27	-.02	.04	-.01	.01	-.03	-.02	-.04	.04	-.04															
	木	-.22	-.23	-.26	1.00	-.25	-.02	.03	-.03	-.05	-.04	.04	.05	.07	-.03															
	金	-.24	-.26	-.27	-.25	1.00	-.02	-.08	.04	.05	.00	.01	-.01	-.05	-.04															
	土	-.01	-.02	-.02	-.02	-.02	1.00	-.01	-.02	-.02	.07	-.01	-.01	-.01	.00															
時限 (0-1)	1時限	.00	.02	.04	.03	-.08	-.01	1.00	-.21	-.24	-.20	-.15	-.09	-.11	.00															
	2時限	.00	.01	-.01	-.03	.04	-.02	-.21	1.00	-.29	-.25	-.20	-.12	-.14	.00															
	3時限	.02	-.03	.01	-.05	.05	-.02	-.24	-.29	1.00	-.23	-.20	-.12	-.14	.00															
	4時限	.08	-.01	-.03	-.04	.00	.07	-.20	-.25	-.23	1.00	-.15	-.09	-.12	.00															
	5時限	.01	-.03	-.02	.04	.01	-.01	-.15	-.20	-.20	-.15	1.00	-.07	-.09	.00															
	6時限	-.06	.08	-.04	.05	-.01	-.01	-.09	-.12	-.12	-.09	-.07	1.00	-.05	.00															
	7時限	-.12	.05	.04	.07	-.05	-.01	-.11	-.14	-.14	-.12	-.09	-.05	1.00	.00															
	集中講義	-.03	-.04	-.04	-.03	-.04	.00	.00	.00	.00	.00	.00	.00	.00	1.00															
キャンパス (0-1)	千葉	-.08	.15	.08	-.16	.02	-.03	-.06	-.04	-.10	-.05	.01	.20	.28	-.06															
	千葉第二	-.04	-.01	-.08	.15	-.01	-.01	.05	-.03	.00	-.03	.12	-.07	-.08	-.02															
	埼玉	-.01	.14	.03	-.08	-.06	.02	-.01	-.03	-.10	-.07	.09	.11	.17	-.05															
	東京	.13	-.02	-.01	-.01	-.10	.08	.03	.04	.02	.00	.01	-.08	-.10	.05															
学年	平均(学年)	-.11	.02	-.04	.11	.02	-.01	-.20	-.08	-.12	-.06	.10	.26	.41	.03															
学部 (割合)	総合福祉_率	-.07	.18	.11	-.20	-.01	-.02	-.04	-.03	-.09	-.02	.05	.14	.19	-.05															
	看護栄養_率	-.02	-.02	-.07	.15	-.02	-.01	.04	-.04	.00	-.03	.12	-.07	-.09	-.02															
	コミュニティ政策_率	-.05	-.03	-.05	.06	.06	-.01	-.02	-.01	-.03	-.06	-.07	.12	.17	-.02															
	経営_率	-.04	-.06	.05	.08	-.04	-.01	.03	.07	.08	-.01	-.10	-.10	-.12	.04															
	教育_率	.06	-.13	-.09	.02	.13	-.01	-.03	-.04	.05	.11	-.01	-.05	-.10	.02															
	人文_率	.13	-.02	-.01	-.01	-.10	.08	.03	.04	.02	.00	.01	-.08	-.10	.05															
履修人数	履修人数(5水準)	.12	.02	.00	-.01	-.11	-.02	.19	.08	.04	.02	-.05	-.20	-.30	.02															
回答者数	回答者数(5水準)	.12	.02	.01	-.03	-.11	-.01	.19	.07	.03	.03	-.05	-.20	-.29	.02															
授業形態	遠隔度(⇔対面度)	.13	.00	-.03	.01	-.10	.02	.12	.07	.04	.11	-.06	-.29	-.26	.04															
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	-.04	.05	-.06	.00	.04	-.01	-.05	-.01	-.07	-.01	.02	.14	.11	.00															
	12_授業取組み度	-.05	.03	-.09	.01	.08	.01	-.06	-.02	-.01	-.03	.04	.07	.09	-.01															
	13_主体的学習実施度	.00	.01	-.07	.02	.05	-.04	-.07	-.05	-.03	.00	.04	.13	.12	.00															
	14_出席回数	.02	.00	.03	-.02	-.03	-.05	.03	-.01	.03	-.03	.04	-.01	-.09	.00															
	15_予習復習時間	.03	-.01	-.05	.05	-.01	-.03	-.10	-.08	-.03	-.02	.07	.20	.16	-.02															
	21_シラバス忠実度	-.02	.03	-.05	.04	.00	-.05	.01	.01	-.10	.02	-.01	.13	.02	.00															
	22_事前事後学習の指示	-.06	.03	-.04	.04	.03	-.02	-.05	-.01	-.09	.00	.02	.17	.08	.00															
	23_双方型授業実施	-.15	.03	.00	-.01	.11	.03	-.10	-.03	-.04	.00	.03	.14	.12	-.01															
	24_話し方等分かりやすさ	-.09	.02	-.03	.01	.09	.01	-.03	.01	-.11	-.04	.03	.14	.13	-.02															
	25_授業態度の指導	-.09	.03	-.08	.05	.08	.00	-.11	-.02	-.05	-.04	.04	.17	.15	-.01															
	26_授業難易度	.03	.04	-.01	-.04	-.01	-.05	.02	-.03	-.02	.05	.01	.04	-.01	.00															
	31_シラバス目標達成度	-.09	.05	-.07	.03	.08	.01	-.09	-.03	-.04	-.03	.00	.16	.17	.01															
	32_学習深化意向	-.08	.04	-.07	-.01	.10	.02	-.06	-.02	-.08	-.03	.06	.15	.14	.02															
	33_授業満足度	-.07	.00	-.03	.00	.09	.00	-.03	-.01	-.05	-.03	.03	.11	.10	.01															

表 2 -2/3 後学期の授業単位データの相関係数行列（後学期の全授業データ、n=1,040）

		=1 高相関 : 0.7以上 : -0.7以下 : 0.4~0.7未満 : -0.4~-0.7 低相関 -0.12~0.12未満														
		千葉	千葉第二	埼玉	東京	平均(学年)	総合福祉_率	看護栄養_率	コミュニティ政策_率	経営_率	教育_率	人文_率	履修人数(5水準)	回答者数(5水準)	遠隔度(⇄対面度)	
曜日 (0-1)	月	-.08	-.04	-.01	.13	-.11	-.07	-.02	-.05	-.04	.06	.13	.12	.12	.13	
	火	.15	-.01	.14	-.02	.02	.18	-.02	-.03	-.06	-.13	-.02	.02	.02	.00	
	水	.08	-.08	.03	-.01	-.04	.11	-.07	-.05	.05	-.09	-.01	.00	.01	-.03	
	木	-.16	.15	-.08	-.01	.11	-.20	.15	.06	.08	.02	-.01	-.01	-.03	.01	
	金	.02	-.01	-.06	-.10	.02	-.01	-.02	.06	-.04	.13	-.10	-.11	-.11	-.10	
	土	-.03	-.01	.02	.08	-.01	-.02	-.01	-.01	-.01	-.01	.08	-.02	-.01	.02	
時限 (0-1)	1時限	-.06	.05	-.01	.03	-.20	-.04	.04	-.02	.03	-.03	.03	.19	.19	.12	
	2時限	-.04	-.03	-.03	.04	-.08	-.03	-.04	-.01	.07	-.04	.04	.08	.07	.07	
	3時限	-.10	.00	-.10	.02	-.12	-.09	.00	-.03	.08	.05	.02	.04	.03	.04	
	4時限	-.05	-.03	-.07	.00	-.06	-.02	-.03	-.06	-.01	.11	.00	.02	.03	.11	
	5時限	.01	.12	.09	.01	.10	.05	.12	-.07	-.10	-.01	.01	-.05	-.05	-.06	
	6時限	.20	-.07	.11	-.08	.26	.14	-.07	.12	-.10	-.05	-.08	-.20	-.20	-.29	
	7時限	.28	-.08	.17	-.10	.41	.19	-.09	.17	-.12	-.10	-.10	-.30	-.29	-.26	
	集中講義	-.06	-.02	-.05	.05	.03	-.05	-.02	-.02	.04	.02	.05	.02	.02	.04	
キャンパス (0-1)	千葉	1.00	-.30	.61	-.38	.16	.83	-.28	.36	-.44	-.35	-.38	-.02	-.09	-.41	
	千葉第二	-.30	1.00	.21	-.13	-.09	-.25	.99	-.11	-.15	-.12	-.13	.12	.13	-.02	
	埼玉	.61	.21	1.00	.27	.11	.51	.22	.22	-.72	-.58	.27	.04	.10	-.35	
	東京	-.38	-.13	.27	1.00	-.01	-.31	-.14	-.14	-.19	-.15	1.00	-.02	.15	.14	
学年	平均(学年)	.16	-.09	.11	-.01	1.00	.14	-.10	.06	-.08	-.07	-.01	-.47	-.48	-.26	
学部 (割合)	総合福祉_率	.83	-.25	.51	-.31	.14	1.00	-.24	-.21	-.36	-.29	-.31	-.03	-.05	-.36	
	看護栄養_率	-.28	.99	.22	-.14	-.10	-.24	1.00	-.10	-.16	-.13	-.14	.14	.15	-.01	
	コミュニティ政策_率	.36	-.11	.22	-.14	.06	-.21	-.10	1.00	-.16	-.13	-.14	-.02	-.10	-.13	
	経営_率	-.44	-.15	-.72	-.19	-.08	-.36	-.16	-.16	1.00	-.15	-.19	-.04	-.08	.27	
	教育_率	-.35	-.12	-.58	-.15	-.07	-.29	-.13	-.13	-.15	1.00	-.15	-.01	-.05	.18	
	人文_率	-.38	-.13	.27	1.00	-.01	-.31	-.14	-.14	-.19	-.15	1.00	-.02	.15	.14	
履修人数	履修人数(5水準)	-.02	.12	.04	-.02	-.47	-.03	.14	-.02	-.04	-.01	-.02	1.00	.87	.44	
回答者数	回答者数(5水準)	-.09	.13	.10	.15	-.48	-.05	.15	-.10	-.08	-.05	.15	.87	1.00	.40	
授業形態	遠隔度(⇄対面度)	-.41	-.02	-.35	.14	-.26	-.36	-.01	-.13	.27	.18	.14	.44	.40	1.00	
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	.06	-.05	.05	.02	.19	.11	-.06	-.06	-.02	-.05	.02	-.27	-.23	-.21	
	12_授業取組み度	.05	-.02	.02	-.03	.07	.11	-.03	-.09	-.04	.02	-.03	-.26	-.24	-.25	
	13_主体的学習実施度	.06	-.04	.03	-.02	.19	.10	-.05	-.05	.00	-.04	-.02	-.35	-.32	-.26	
	14_出席回数	-.10	.21	-.02	-.05	-.30	.02	.21	-.22	.00	.02	-.05	.13	.17	.05	
	15_予習復習時間	.04	.05	.15	.10	.38	.07	.04	-.03	-.13	-.06	.10	-.27	-.25	-.20	
	21_シラバス忠実度	.00	-.01	.02	.04	.09	.06	-.02	-.10	.03	-.07	.04	-.17	-.11	-.08	
	22_事前事後学習の指示	.01	-.04	-.01	.01	.23	.05	-.05	-.07	.04	-.04	.02	-.32	-.28	-.17	
	23_双方型授業実施	.01	-.02	-.05	-.06	.31	.06	-.03	-.06	.07	-.01	-.06	-.50	-.48	-.33	
	24_話し方等分かりやすさ	.04	-.04	.03	.01	.22	.08	-.05	-.06	.03	-.07	.01	-.34	-.29	-.23	
	25_授業態度の指導	-.06	.03	-.07	-.02	.30	-.02	.01	-.07	.12	-.04	-.02	-.44	-.39	-.29	
	26_授業難易度	.10	.10	.10	-.10	-.03	.09	.10	.03	.02	-.17	-.10	.05	.03	-.02	
	31_シラバス目標達成度	.07	-.03	.02	-.04	.22	.06	-.04	.03	-.01	-.02	-.04	-.27	-.26	-.21	
	32_学習深化意向	.09	-.01	.09	.00	.22	.16	-.03	-.09	-.09	-.02	.00	-.28	-.26	-.27	
	33_授業満足度	.05	-.04	.04	.01	.14	.12	-.05	-.10	-.02	-.04	.01	-.27	-.23	-.22	

表 2 -3/3 後学期の授業単位データの相関係数行列（後学期の全授業データ、n=1,040）

		=1 高相関 : 0.7以上 : -0.7以下 : 0.4～0.7未満 : -0.4～-0.7 低相関 -0.12～0.12未満															11_シラバス理解度	12_授業取組み度	13_主体的学習実施度	14_出席回数	15_予習復習時間	21_シラバス忠実度	22_事前事後学習の指示	23_双方型授業実施	24_話し方等分かりやすさ	25_授業態度の指導	26_授業難易度	31_シラバス目標達成度	32_学習深化意向	33_授業満足度
曜日 (0-1)	月	-.04	-.05	.00	.02	.03	-.02	-.06	-.15	-.09	-.09	.03	-.09	-.08	-.07															
	火	.05	.03	.01	.00	-.01	.03	.03	.03	.02	.03	.04	.05	.04	.00															
	水	-.06	-.09	-.07	.03	-.05	-.05	-.04	.00	-.03	-.08	-.01	-.07	-.07	-.03															
	木	.00	.01	.02	-.02	.05	.04	.04	-.01	.01	.05	-.04	.03	-.01	.00															
	金	.04	.08	.05	-.03	-.01	.00	.03	.11	.09	.08	-.01	.08	.10	.09															
	土	-.01	.01	-.04	-.05	-.03	-.05	-.02	.03	.01	.00	-.05	.01	.02	.00															
時限 (0-1)	1時限	-.05	-.06	-.07	.03	-.10	.01	-.05	-.10	-.03	-.11	.02	-.09	-.06	-.03															
	2時限	-.01	-.02	-.05	-.01	-.08	.01	-.01	-.03	.01	-.02	-.03	-.03	-.02	-.01															
	3時限	-.07	-.01	-.03	.03	-.03	-.10	-.09	-.04	-.11	-.05	-.02	-.04	-.08	-.05															
	4時限	-.01	-.03	.00	-.03	-.02	.02	.00	.00	-.04	-.04	.05	-.03	-.03	-.03															
	5時限	.02	.04	.04	.04	.07	-.01	.02	.03	.03	.04	.01	.00	.06	.03															
	6時限	.14	.07	.13	-.01	.20	.13	.17	.14	.14	.17	.04	.16	.15	.11															
	7時限	.11	.09	.12	-.09	.16	.02	.08	.12	.13	.15	-.01	.17	.14	.10															
	集中講義	.00	-.01	.00	.00	-.02	.00	.00	-.01	-.02	-.01	.00	.01	.02	.01															
キャンパス (0-1)	千葉	.06	.05	.06	-.10	.04	.00	.01	.01	.04	-.06	.10	.07	.09	.05															
	千葉第二	-.05	-.02	-.04	.21	.05	-.01	-.04	-.02	-.04	.03	.10	-.03	-.01	-.04															
	埼玉	.05	.02	.03	-.02	.15	.02	-.01	-.05	.03	-.07	.10	.02	.09	.04															
	東京	.02	-.03	-.02	-.05	.10	.04	.01	-.06	.01	-.02	-.10	-.04	.00	.01															
学年	平均(学年)	.19	.07	.19	-.30	.38	.09	.23	.31	.22	.30	-.03	.22	.22	.14															
学部 (割合)	総合福祉_率	.11	.11	.10	.02	.07	.06	.05	.06	.08	-.02	.09	.06	.16	.12															
	看護栄養_率	-.06	-.03	-.05	.21	.04	-.02	-.05	-.03	-.05	.01	.10	-.04	-.03	-.05															
	コミュニティ政策_率	-.06	-.09	-.05	-.22	-.03	-.10	-.07	-.06	-.06	-.07	.03	.03	-.09	-.10															
	経営_率	-.02	-.04	.00	.00	-.13	.03	.04	.07	.03	.12	.02	-.01	-.09	-.02															
	教育_率	-.05	.02	-.04	.02	-.06	-.07	-.04	-.01	-.07	-.04	-.17	-.02	-.02	-.04															
	人文_率	.02	-.03	-.02	-.05	.10	.04	.02	-.06	.01	-.02	-.10	-.04	.00	.01															
履修人数	履修人数(5水準)	-.27	-.26	-.35	.13	-.27	-.17	-.32	-.50	-.34	-.44	.05	-.27	-.28	-.27															
回答者数	回答者数(5水準)	-.23	-.24	-.32	.17	-.25	-.11	-.28	-.48	-.29	-.39	.03	-.26	-.26	-.23															
授業形態	遠隔度 (⇔対面度)	-.21	-.25	-.26	.05	-.20	-.08	-.17	-.33	-.23	-.29	-.02	-.21	-.27	-.22															
アンケート (平均値)	11_シラバス理解度	1.00	.75	.69	.10	.24	.73	.66	.53	.65	.58	.01	.74	.69	.72															
	12_授業取組み度	.75	1.00	.73	.23	.26	.62	.63	.55	.64	.56	-.03	.69	.70	.75															
	13_主体的学習実施度	.69	.73	1.00	.16	.42	.57	.61	.56	.54	.54	.12	.61	.63	.61															
	14_出席回数	.10	.23	.16	1.00	-.03	.14	.06	.00	.08	.01	-.06	.09	.12	.17															
	15_予習復習時間	.24	.26	.42	-.03	1.00	.23	.32	.26	.17	.28	.31	.19	.22	.17															
	21_シラバス忠実度	.73	.62	.57	.14	.23	1.00	.73	.50	.66	.56	.10	.67	.60	.67															
	22_事前事後学習の指示	.66	.63	.61	.06	.32	.73	1.00	.67	.74	.69	.06	.62	.67	.73															
	23_双方型授業実施	.53	.55	.56	.00	.26	.50	.67	1.00	.66	.75	.00	.57	.61	.62															
	24_話し方等分かりやすさ	.65	.64	.54	.08	.17	.66	.74	.66	1.00	.73	-.05	.66	.75	.83															
	25_授業態度の指導	.58	.56	.54	.01	.28	.56	.69	.75	.73	1.00	.06	.62	.62	.64															
	26_授業難易度	.01	-.03	.12	-.06	.31	.10	.06	.00	-.05	.06	1.00	-.05	-.07	-.08															
	31_シラバス目標達成度	.74	.69	.61	.09	.19	.67	.62	.57	.66	.62	-.05	1.00	.72	.73															
	32_学習深化意向	.69	.70	.63	.12	.22	.60	.67	.61	.75	.62	-.07	.72	1.00	.84															
	33_授業満足度	.72	.75	.61	.17	.17	.67	.73	.62	.83	.64	-.08	.73	.84	1.00															

(2) アンケート項目間の関連

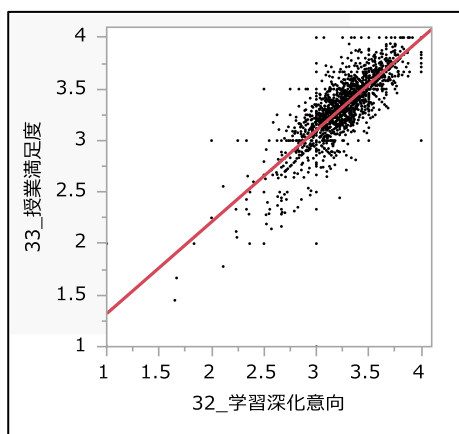
アンケート項目間の相関係数行列（表 1-3/3、および表 2-3/3 の下側）をみると、「難易度（Q2-6）」「予習復習時間（Q1-5）」「出席回数（Q1-4）」を除くすべての項目間に正の高い相関があることがわかります。

たとえば、「授業満足度」が高い授業は以下のような傾向があるといえます。

- 授業の内容や関連分野についてより深く学びたいという学生が多い（「授業深化意向」、図 4 左上）。
- 話し方や説明の仕方がわかりやすい（図 4 右上）。
- 授業の内容について自ら調べたり考えたりする学生が多い（「主体的学習実施度」、図 4 左下）。
- シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解している学生が多い（「シラバス理解度」、図 4 右下）。

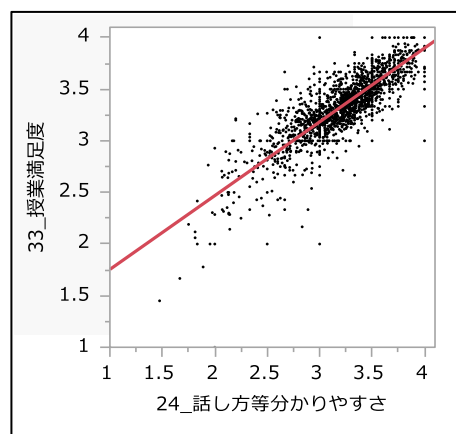
$r=0.82$

授業満足度 = $0.43 + 0.89 \times \text{学習深化意向}$
($R^2=0.68$)



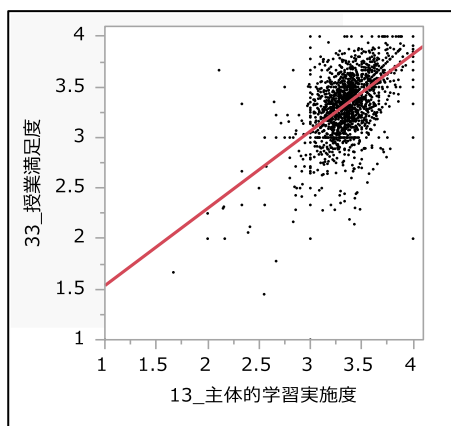
$r=0.84$

授業満足度 = $1.04 + 0.71 \times \text{話し方等分かりやすさ}$
($R^2=0.71$)



$r=0.59$

授業満足度 = $0.77 + 0.76 \times \text{主体的学習実施度}$
($R^2=0.35$)



$r=0.73$

授業満足度 = $0.15 + 0.97 \times \text{シラバス理解度}$
($R^2=0.53$)

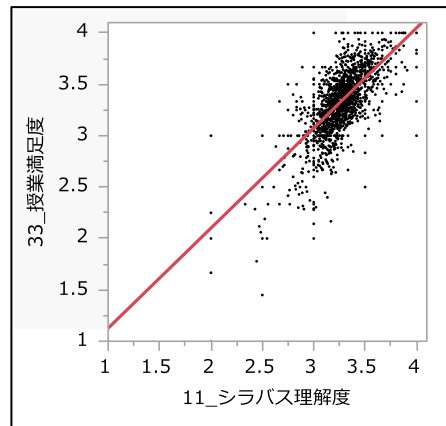


図 4 「授業満足度」と「学習深化意向」「話し方等分かりやすさ」「シラバス理解度」「主体的学習実施度」との関連

「予習復習時間」も、ほぼすべての変数と弱い正の相関があります。とくに相関が高いのは「授業難易度」($r=0.37$)、「主体的学習実施度（授業の内容について自ら調べたり考えたりしたか）」($r=0.41$)です。

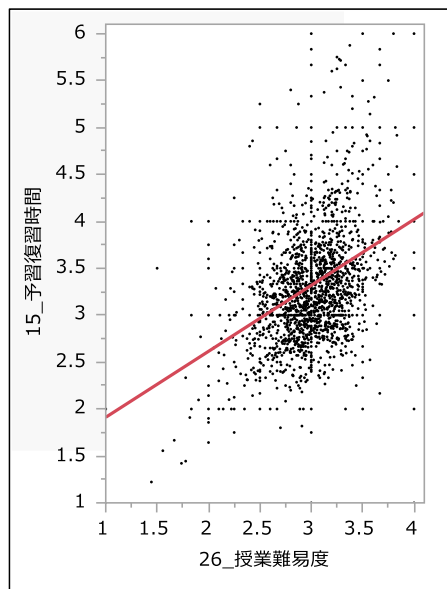
「難易度」と「主体的学習実施度」の間にも弱い正の相関があります ($r=0.17$)。つまり、「内容が難しかった」と感じる学生が多い授業（難易度が高い授業）では、学習行動が促進されている（「予習復習時間」「主体的学習実施度」）ことが示唆されます。

- 難易度が高い授業の方が、授業のための予習・復習の時間が長い（図5左上）。
- 難易度が高い授業の方が、主体的学習実施度が高い傾向がある（図5右上）。

図5下に、「難易度」と「授業満足度」、および「難易度」と「出席回数」との関連を示します。非常に弱い関連ですが、難易度が高い授業の方が、出席率、満足度等が低いことがわかります。

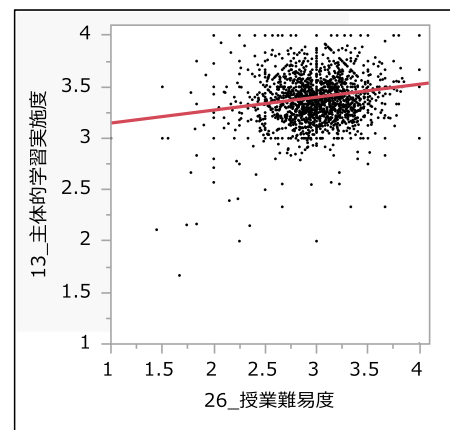
$$r=0.37$$

$$\text{予習復習時間} = 1.21 + 0.70 \times \text{難易度} \\ (R^2=0.13)$$



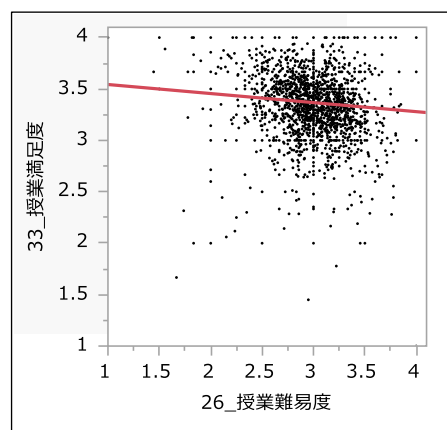
$$r=0.17$$

$$\text{主体的学習実施度} = 3.02 + 0.13 \times \text{難易度} \\ (R^2=0.03)$$



$$r=-0.09$$

$$\text{授業満足度} = 3.63 - 0.09 \times \text{難易度} \\ (R^2=0.01)$$



$$r=-0.10$$

$$\text{出席回数} = 3.84 - 0.12 \times \text{難易度} \\ (R^2=0.01)$$

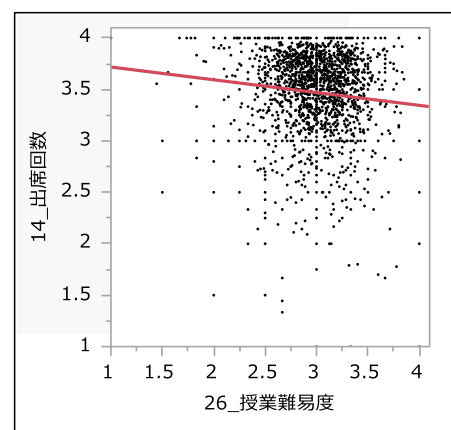


図5 「授業難易度」「予習・復習時間」「主体的学習実施度」「授業満足度」「出席回数」の関連

(3) アンケート項目とその他の項目との関連

① 履修人数、授業形態（遠隔度）

アンケート項目との相関がもっとも高かったのは「履修人数」です。

「難易度」($r=0.08$) および「出席回数」($r=0.08$) を除き、すべての変数で履修人数との相関係数はマイナスでした。つまり、「履修人数が少ない授業ほど評価等が高い」といえます。

図 6 は、アンケート項目の各平均値を、履修人数「10 人未満」「10 人～19 人」「20 人～49 人」「50 人～99 人」「100 人以上」に分けて示したものです。「難易度」「出席回数」を除くほぼすべての項目で、履修人数が少ない方がアンケート調査結果の平均値が高くなっています。とくに差があるのが、履修人数が 20 人未満か 20 人以上かであり、変数としては「双方向型授業実施」($r=-0.44$)、「授業態度の指導」($r=-0.40$) 等で顕著です。

「授業形態（遠隔度）」についても、アンケート項目との相関がみられます。各変数との関連は「履修人数」と類似しており、「授業形態が対面授業である方が評価等が高い」といえます。

なお、履修人数と授業形態には、履修人数が少ない方が対面授業が、人数が多い方が遠隔授業が多いという関連があります（図 1 参照）。図 7 は履修人数「20～49 人」のデータのみ、図 8 は授業形態が「すべて遠隔授業」のデータのみを用いてアンケート項目の各平均値を示したグラフですが、履修人数を一定にしても「対面授業である」方が、授業形態を固定しても「人数が少ない」方がそれぞれ評価等が高いことがわかります。

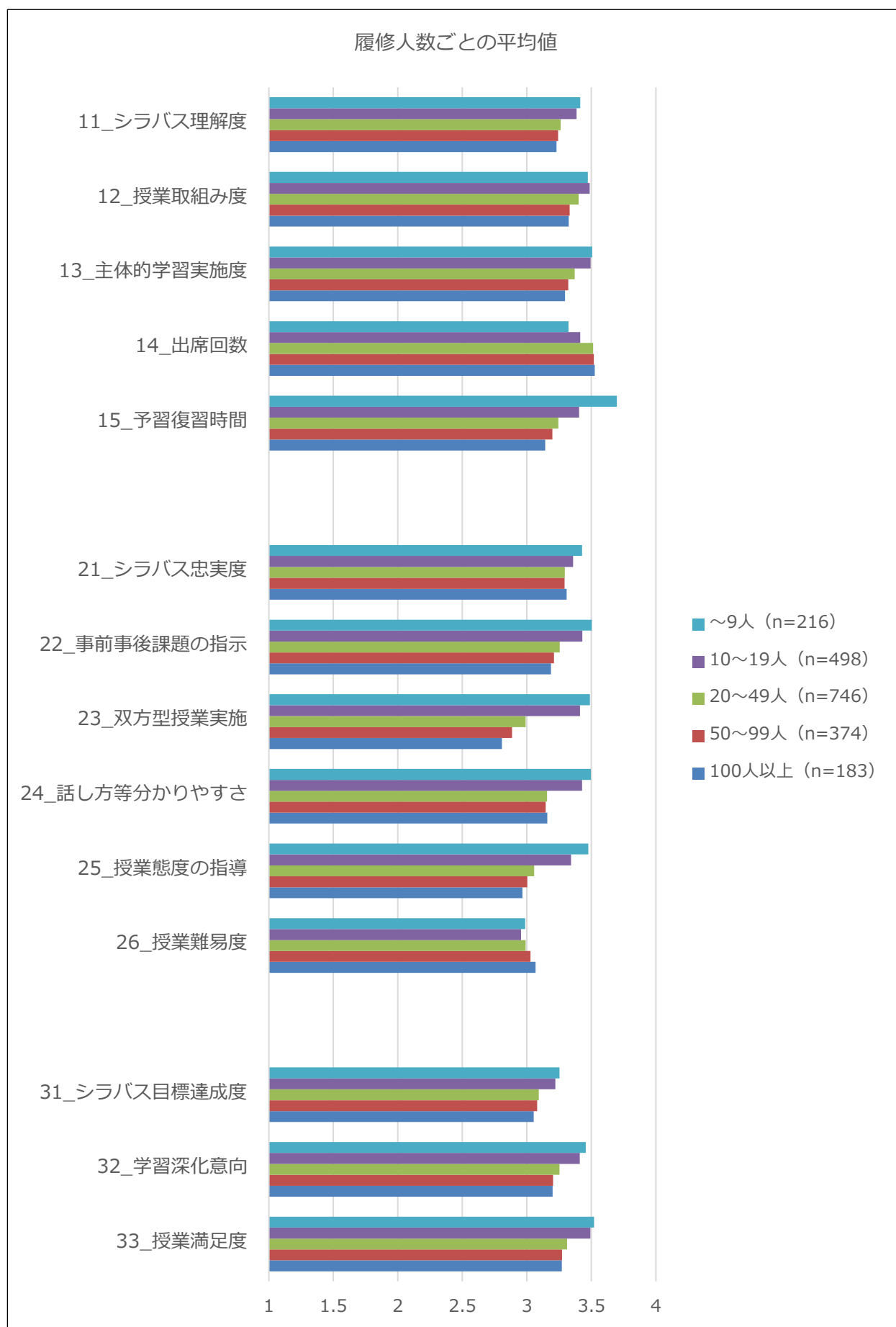


図6 履修人数ごとのアンケート項目の平均値

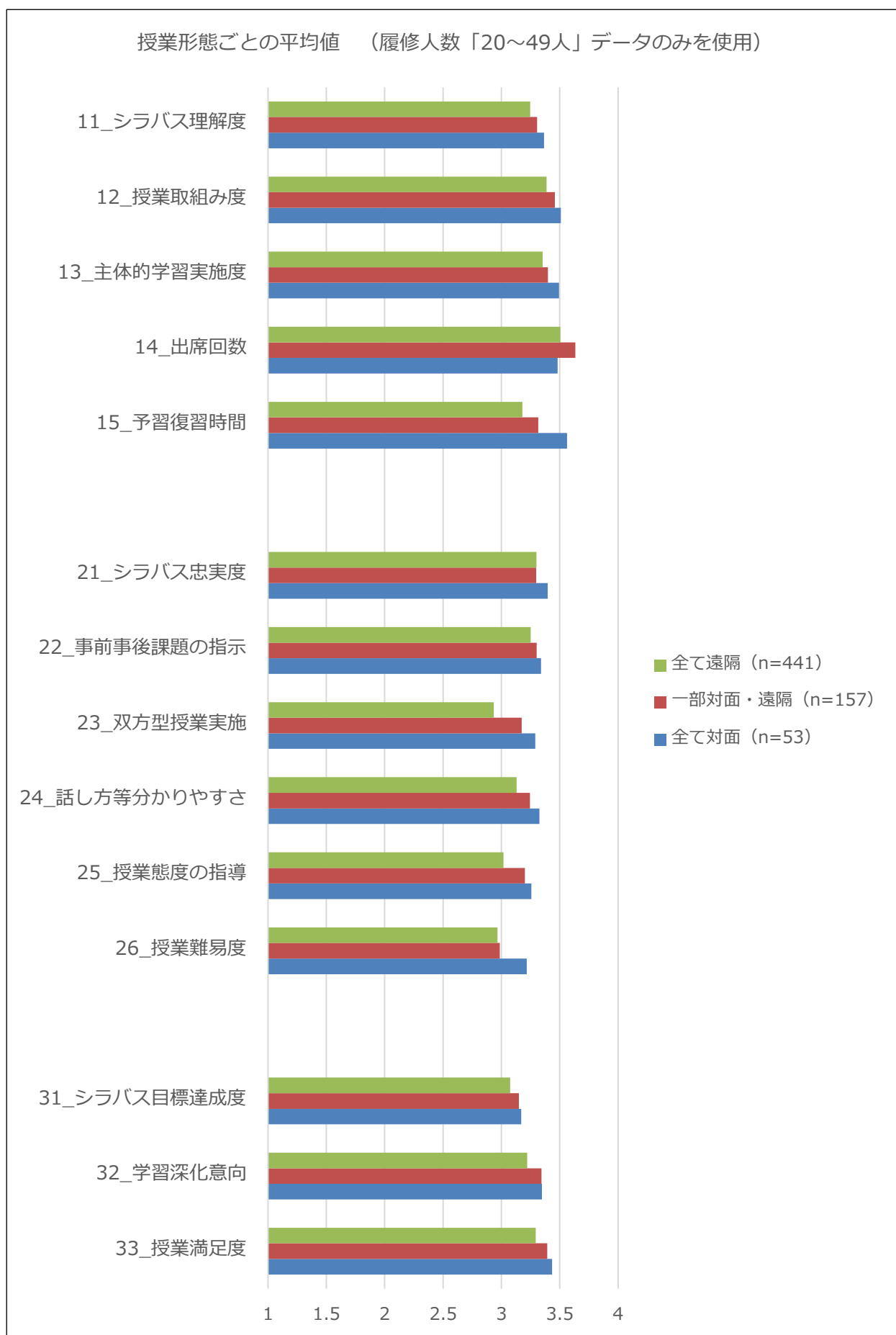


図7 授業形態ごとのアンケート項目の平均値（履修人数「20～49人」のデータのみを使用）

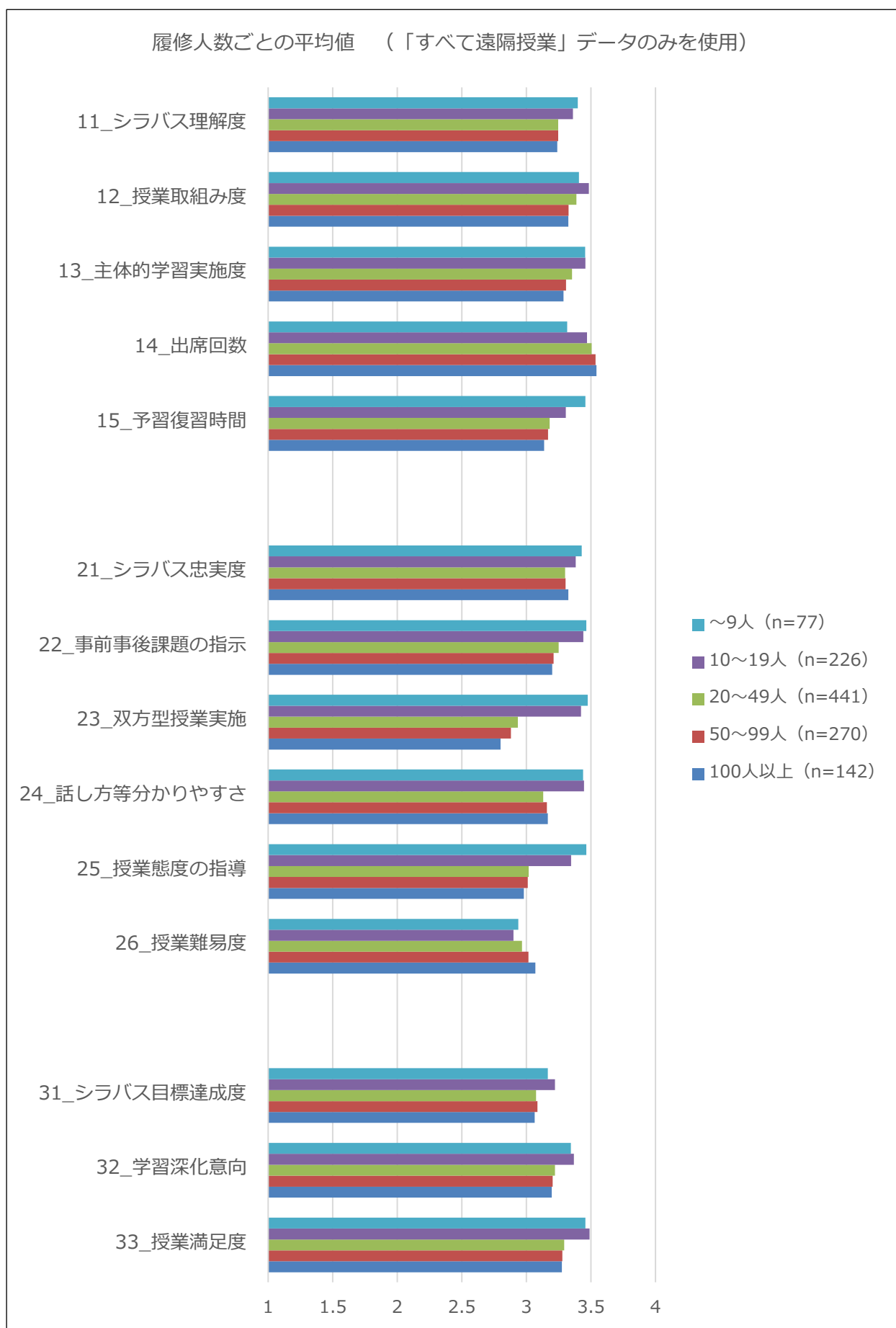


図8 履修人数ごとのアンケート項目の平均値（「すべて遠隔授業」データのみを使用）

② 学年

「学年平均」も、多くのアンケート項目との相関が比較的高い傾向がありました。

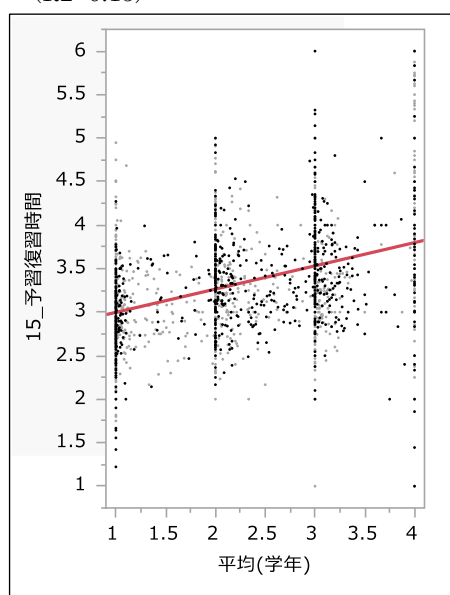
この傾向は欠測値や無回答が少ない後学期で顕著であり、「出席回数」と「授業難易度」を除くすべての変数と「学年平均」の相関係数はプラスでした。この値がもっとも大きい変数は「予習復習時間」($r=0.38$)であり、次いで「双方向型授業評価」($r=0.31$)、「授業態度の指導」($r=0.30$)と「出席回数」($r=-0.30$)という結果です。授業成果の指標である「学習深化意向」($r=0.22$)、「シラバス目標達成度」($r=0.22$)においても比較的高いといえます(図9)。

以上より、**高学年の履修者が多い授業ほど予習復習時間が長く、欠席が多い傾向がある**といえます。

$$r=0.38$$

$$\text{予習復習時間} = 2.73 + 0.27 \times \text{平均(学年)}$$

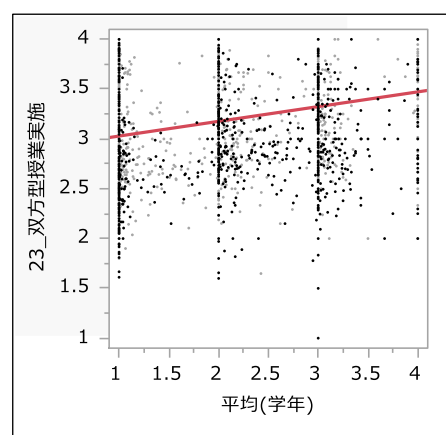
$$(R^2=0.15)$$



$$r=0.31$$

$$\text{双方向型授業実施} = 2.88 + 0.15 \times \text{平均(学年)}$$

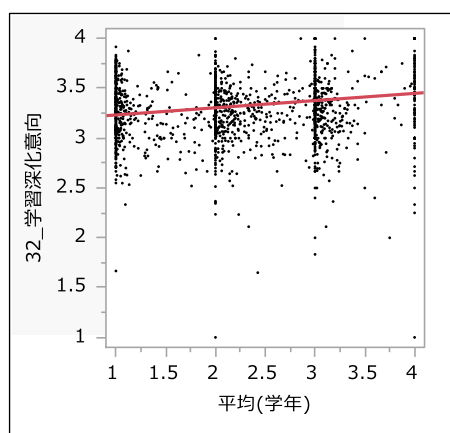
$$(R^2=0.10)$$



$$r=0.22$$

$$\text{学習深化意向} = 3.16 + 0.07 \times \text{平均(学年)}$$

$$(R^2=0.05)$$



$$r=-0.30$$

$$\text{出席回数} = 3.74 - 0.14 \times \text{平均(学年)}$$

$$(R^2=0.09)$$

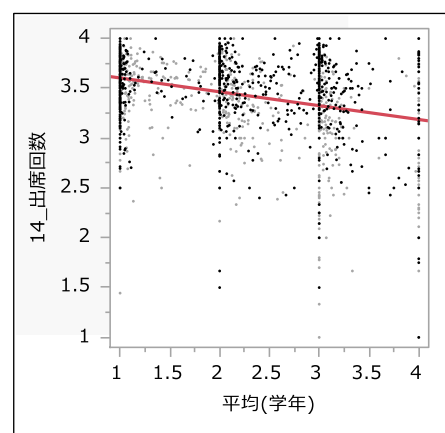
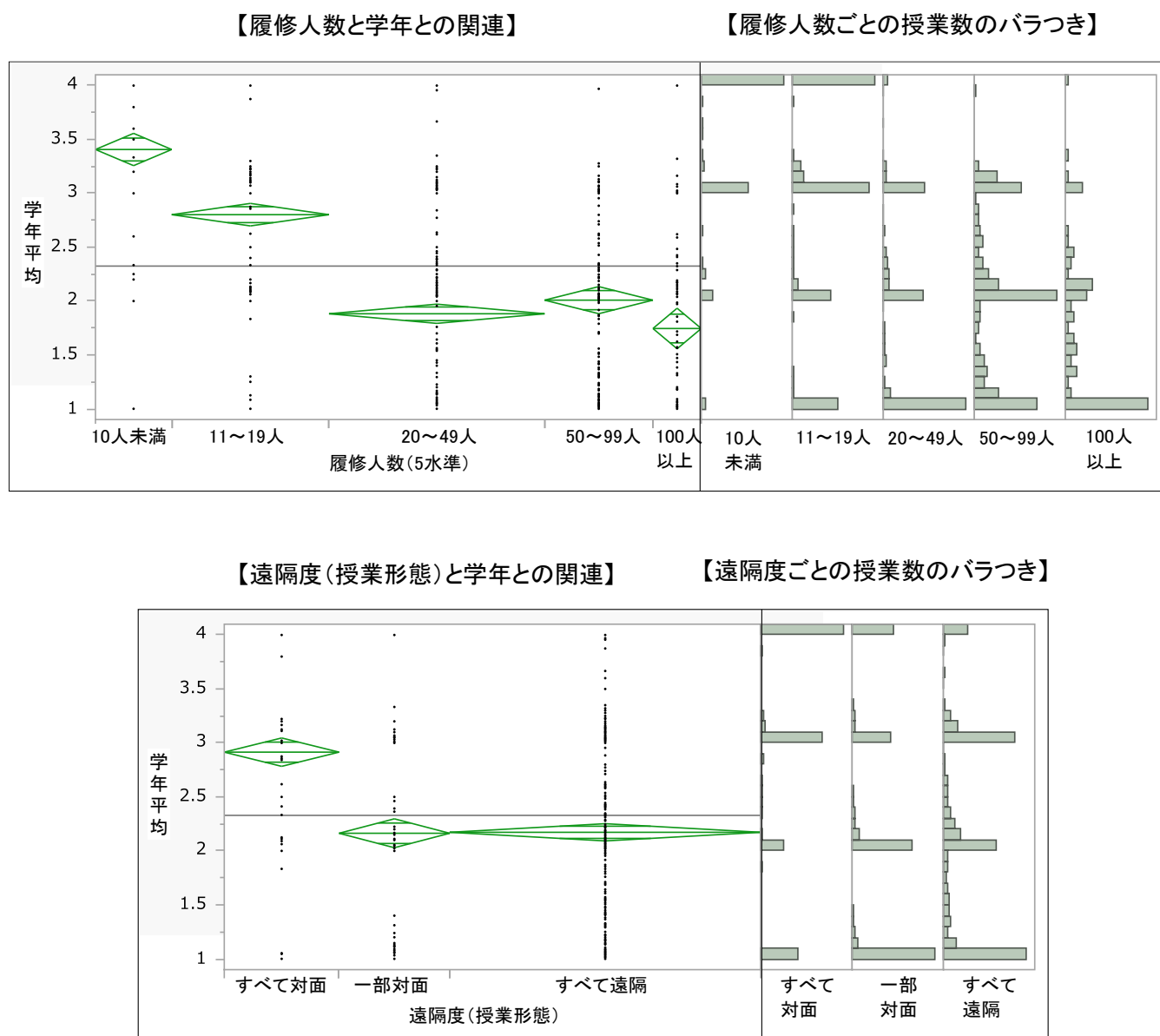


図9 「学年平均」と「予習復習時間」「双方向型授業実施」「学習深化意向」「出席回数」
との関連 (後学期の授業データのみを使用)

なお、「学年平均」は、図 10 に示す通り、「履修人数」および「遠隔度（授業形態）」とはマイナスの相関があります（後学期：履修人数 $r=-0.47$ 、遠隔度 $r=-0.26$ ）。つまり、高学年の履修者が多い授業は、履修人数が少なく対面授業が多いといえます。

前述のとおり（p. 18 参照）、履修人数の少ない授業ほど、また対面授業であるほど評価等は高いことから、「学年平均」と多くのアンケート項目とのプラスの相関（＝「高学年が多い授業ほど評価等が高い」傾向）を説明することができます。



※ 左右の図は縦軸を共有。左図：菱形は各履修人数の平均値（中央の線）と信頼区間を示す。横軸方向の間隔は各履修人数の授業数を反映している（講義以外では大人数の授業数が、講義では少人数の授業数が非常に少ない）。右図：ヒストグラム（横棒グラフ）。棒の長さが各履修人数の授業数（度数）を示す。

図 10 「学年平均」と「履修人数（5水準）」「遠隔度（授業形態）」との関連
（後学期の授業データのみを使用）

③ その他の関連

この他、表 1 および 2 の相関係数行列からは、以下の傾向を読み取ることができます。

- 学期 後学期の方が満足度等の評価は高め、出席回数のみ低め。授業形態の違い(後学期のみ対面授業あり)等の影響が考えられる。
- 時限 「6 限」「7 限」の授業は評価等が高めで、早い時間では若干低め。学年や履修人数による違い(遅い時間の授業は高学年の割合が多く、履修人数が少ない授業が多い)等が影響していると考えられる。

3. 複数項目間の関連（重回帰分析）

（1）重回帰分析の方針

① 目的変数

学生の授業評価、学習行動の促進要因を探るため、以下の項目を目的変数とした重回帰分析を行います。

- 授業満足度
- 予習復習時間
- 主体的学習実施度
- 学習深化意向
- シラバス目標達成度

② 説明変数

分析に取り入れる説明変数は以下の通りとします。

【目的変数と相関が高い授業属性データ】

- キャンパス（「千葉」「千葉第二」「埼玉」「東京」の4変数）
- 学年
- 履修人数（5水準の順序尺度として）

【目的変数以外の調査項目】

- 11_シラバス理解度
- 21_シラバス忠実度
- 22_事前事後学習の指示
- 23_双方型授業実施
- 24_話し方等分かりやすさ
- 25_授業態度の指導
- 26_授業難易度

授業属性データで「学部」を加えないのは、「キャンパス」と相関が非常に高いペアがあるためです。なお、「履修人数」は単純な人数の差ではなく、講義、演習・実習等による授業の質的な違いであるとも考えられるので、量的変数ではなく順序尺度として扱います。

調査項目「授業取組度（授業に対して意欲的に取り組んだか）」および「出席回数」は、意味的に判断して原因側の説明変数には加えていません。たとえば、「授業取組度」は、結果変数である「主体的学習実施度（授業の内容について自ら調べたり考えたりしたか）」と意味的に重複します。

なお、「遠隔度（授業形態）」は、とくに前半期でデータが欠測している授業が多いため、後学期のデータだけを用いた重回帰分析においてのみ説明変数に加えることとします。

③ 分析の方法

一定の基準に基づいて説明変数を取捨選択することができる「ステップワイズ法」を用います。その際、説明変数ごとの VIF (Variance Inflation Factor、分散拡大要因) の値や R2 乗値 (決定係数。モデルのあてはまりの良さ、つまり分析の精度を表す指標) 等を参考にします。VIF は、他の説明変数との関連の強さを表す指標であり、この値が大きいと多重共線性が疑われます。

実際の手順は、目的変数ごとに、まず全説明変数候補を投入した分析を行い、得られた一時的な分析結果の VIF や R2 乗値、推定値、解釈可能性などをみながら、説明変数の取捨選択を繰り返して再分析を行い、最終的な採用モデルを得るというものです。

④ どのようなモデルを検討するか

まず、全授業データ (n=2,017) および後学期の授業データ (n=1,040) を用いて重回帰分析を行ってモデルを検討します。目的変数は、「授業満足度」、「予習復習時間」、「主体的学習実施度」、「学習深化意向」および「シラバス目標達成度」とします。

次に、以下の変数ごとにデータを分けて重回帰分析を行い、各モデルを検討します。

- 遠隔度 (授業形態)
 - ・ 全体としては、「すべて対面授業」の方が授業満足度等が高い傾向があります。そこで、授業形態をそろえた上で、どのような要因が満足度等を規定するのかを検討します。
- 履修人数
 - ・ 履修人数の違いによって、授業満足度等を規定する要因が異なるのか、どのように異なるか等を検討します。たとえば「100 人以上」の場合は何が授業満足度を規定するか、「50 人～99 人」の場合はどうか等の検討です。
- 難易度
 - ・ 授業難易度を揃えた上で、どのような要因が満足度等を規定するのか、難易度の高さによってその要因は異なるのか等を検討します。
- 学部
 - ・ 回答者が特定の学部学生である授業のみを抽出し、学部ごとのデータに分けて同じ分析を行うことで、各学部の特徴をみます。

これらの分析では、目的変数は「授業満足度」、「予習復習時間」、「主体的学習実施度」の 3 つに絞ります。「学習深化意向」は「授業満足度」のモデルと類似度が非常に高いこと、「シラバス目標達成度」は「21_シラバス忠実度」の影響が極めて大きいこと等が、目的変数から省いた理由です。

(2) 全授業および後学期の授業データを用いた分析

① 「授業満足度」を目的変数とした重回帰モデル

全授業データを用いた分析結果を表 3、後学期のデータのみを用いた結果を表 4 に示します。図 11 はこれらを図示したものです。

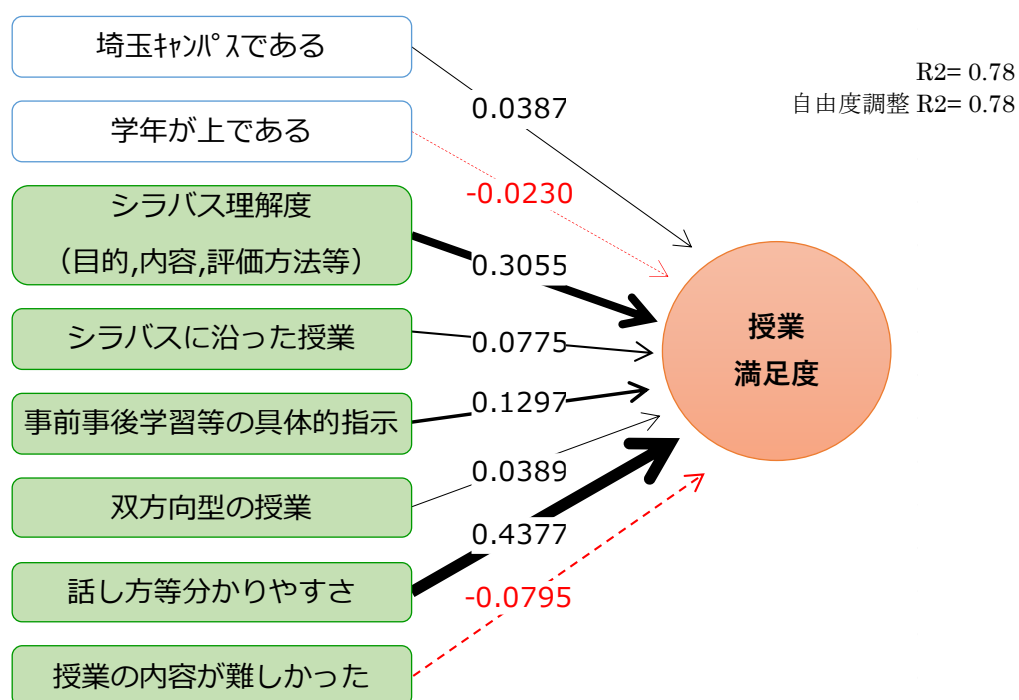
表 3 「授業満足度」を目的変数とした重回帰モデル (全授業データを使用)

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.3885	0.057	6.87	<.0001	
埼玉	0.0387	0.008	4.6	<.0001	1.078
学年平均	-0.0230	0.004	-5.72	<.0001	1.178
11_シラバス理解度	0.3055	0.023	13.46	<.0001	2.597
21_シラバス忠実度	0.0775	0.022	3.56	0.0004	2.944
22_事前事後学習の指示	0.1297	0.021	6.11	<.0001	3.843
23_双方型授業実施	0.0389	0.011	3.49	0.0005	2.416
24_話し方等分かりやすさ	0.4377	0.016	26.95	<.0001	3.329
26_授業難易度	-0.0795	0.011	-7.29	<.0001	1.106
R2乗					0.7780
自由度調整R2乗					0.7771

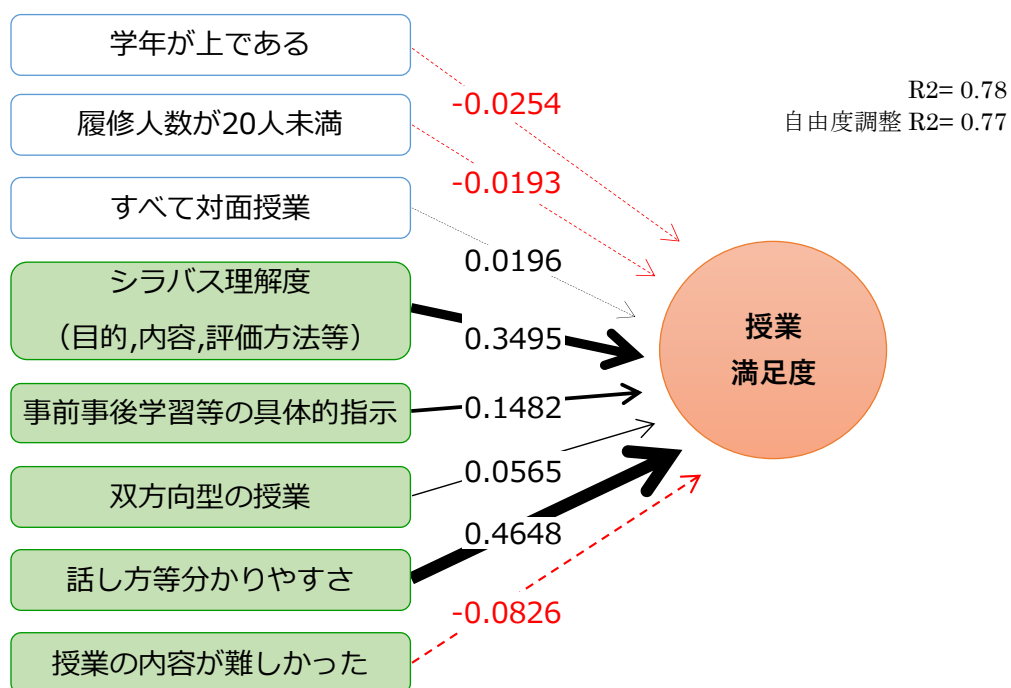
表 4 「授業満足度」を目的変数とした重回帰モデル (後学期データのみを使用)

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.3337	0.083	4.02	<.0001	
学年平均	-0.0254	0.006	-4.35	<.0001	1.393
履修者数5水準{1&2-3&4&5}	-0.0193	0.007	-2.78	0.0055	1.723
遠隔度3水準{1-2&3}	0.0196	0.007	2.79	0.0053	1.242
11_シラバス理解度	0.3495	0.027	13.06	<.0001	2.023
22_事前事後学習の指示	0.1482	0.026	5.65	<.0001	2.960
23_双方型授業実施	0.0565	0.016	3.51	0.0005	2.341
24_話し方等分かりやすさ	0.4648	0.022	20.79	<.0001	2.829
26_授業難易度	-0.0826	0.015	-5.37	<.0001	1.039
R2乗					0.77656
自由度調整R2乗					0.77482

[全授業データを使用 (n=2,017)]



[後学期の授業データを使用 (n=1,040)]



* 数字は推定値、線の太さは関連の強さ、破線・赤字はマイナスの関連を示す。

図 11 「授業満足度」を目的変数とした重回帰モデル

② 「予習復習時間」を目的変数とした重回帰モデル

全授業データを用いた分析結果を表 5、後学期のデータのみを用いた結果を表 6 に示します。図 12 はこれらを図示したものです。

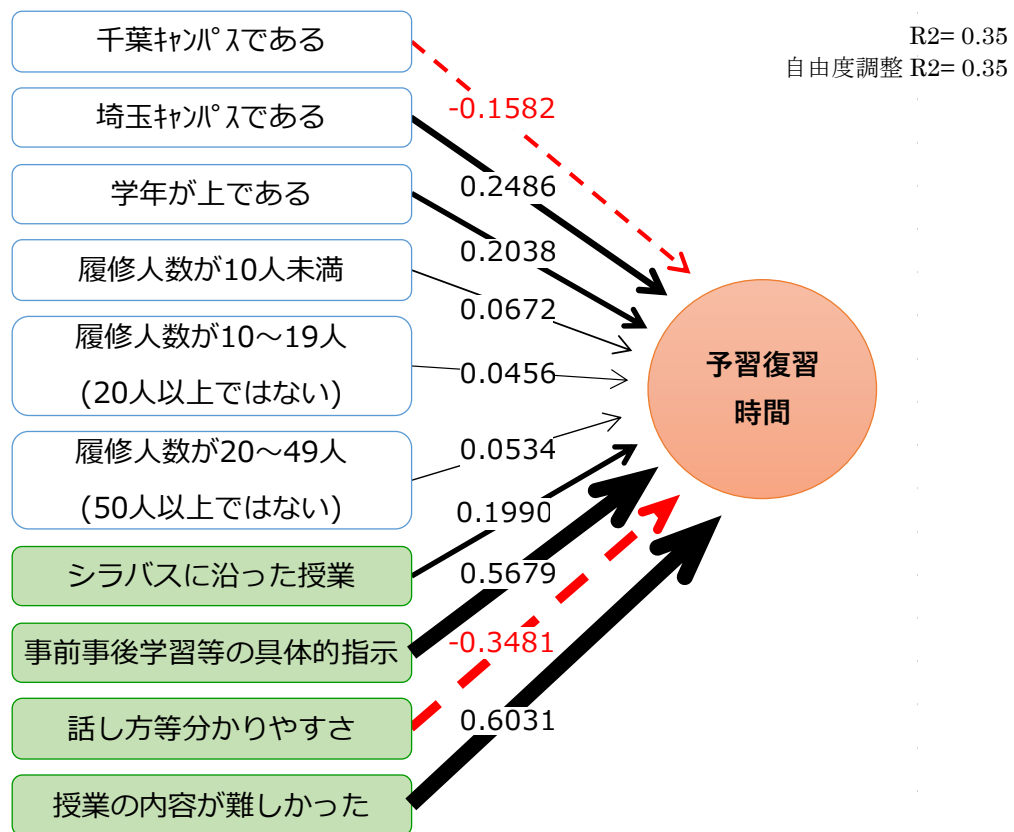
表 5 「予習復習時間」を目的変数とした重回帰モデル （全授業データを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	-0.4024	0.174	-2.31	0.0212	
千葉	-0.1582	0.031	-5.12	<.0001	1.613
埼玉	0.2486	0.034	7.32	<.0001	1.649
学年平均	0.2038	0.014	14.29	<.0001	1.391
履修者数5水準{1-2&3&4&5}	0.0672	0.021	3.15	0.0017	1.186
履修者数5水準{2-3&4&5}	0.0456	0.016	2.8	0.0052	1.332
履修者数5水準{3-4&5}	0.0534	0.015	3.47	0.0005	1.032
21_シラバス忠実度	0.1990	0.065	3.08	0.0021	2.423
22_事前事後学習の指示	0.5679	0.066	8.55	<.0001	3.519
24_話し方等分かりやすさ	-0.3481	0.051	-6.89	<.0001	3.010
26_授業難易度	0.6031	0.036	16.92	<.0001	1.105
R2乗					0.3532
自由度調整R2乗					0.3500

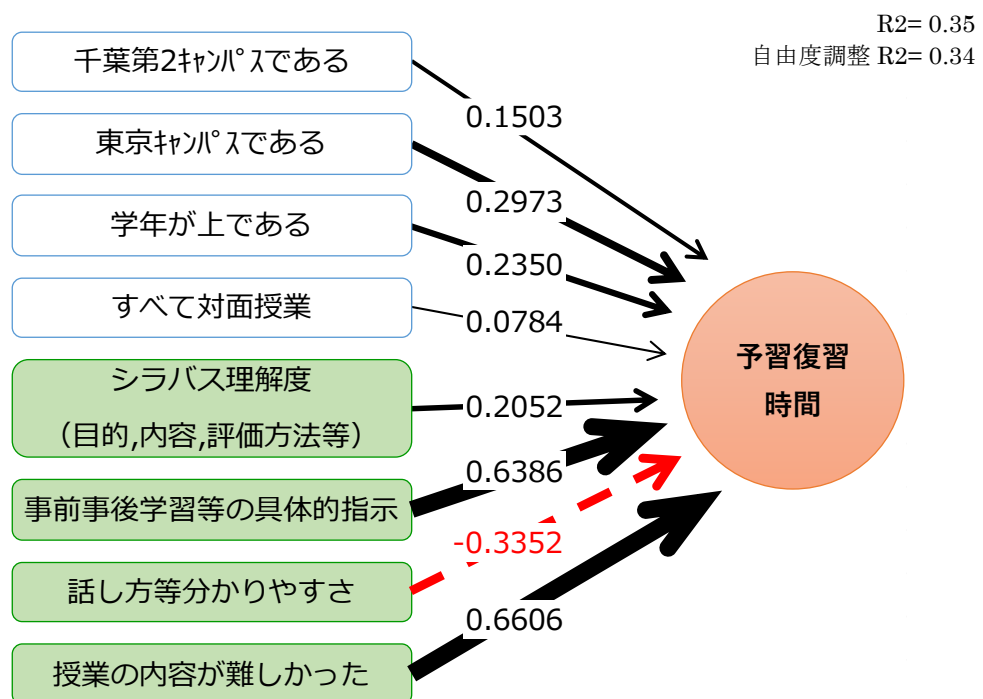
表 6 「予習復習時間」を目的変数とした重回帰モデル （後学期データのみを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	-0.9568	0.283	-3.38	0.0008	
千葉第二	0.1503	0.065	2.32	0.0207	1.072
東京	0.2973	0.053	5.6	<.0001	1.028
学年平均	0.2350	0.019	12.7	<.0001	1.099
遠隔度3水準{1-2&3}	0.0784	0.020	4.02	<.0001	1.103
11_シラバス理解度	0.2052	0.095	2.15	0.0315	2.018
22_事前事後学習の指示	0.6386	0.088	7.26	<.0001	2.623
24_話し方等分かりやすさ	-0.3352	0.076	-4.4	<.0001	2.586
26_授業難易度	0.6606	0.055	12.01	<.0001	1.045
R2乗					0.34959
自由度調整R2乗					0.34451

[全授業データを使用 (n=2,017)]



[後学期の授業データを使用 (n=1,040)]



* 数字は推定値、線の太さは関連の強さ、破線・赤字はマイナスの関連を示す。

図 12 「予習復習時間」を目的変数とした重回帰モデル

③ 「主体的学習実施度」を目的変数とした重回帰モデル

全授業データを用いた分析結果を表 7、後学期のデータのみを用いた結果を表 8 に示します。図 13 はこれらを図示したものです。

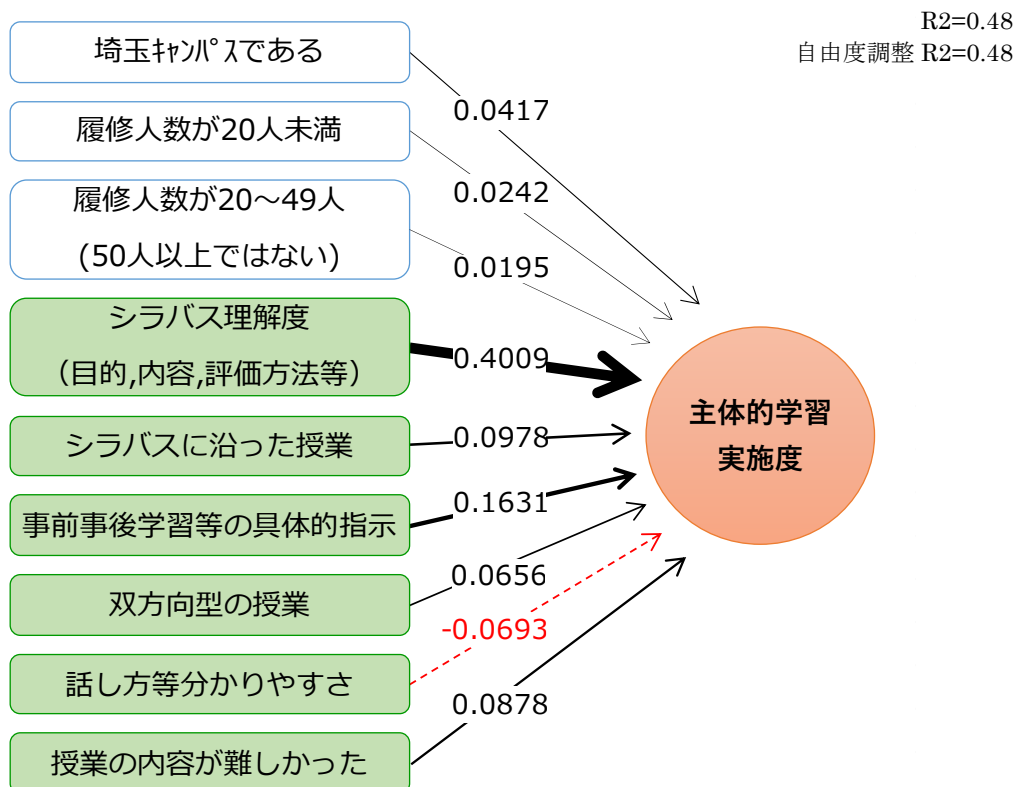
表 7 「主体的学習実施度」を目的変数とした重回帰モデル (全授業データのみを使用)

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.9453	0.067	14.03	<.0001	.
埼玉	0.0417	0.010	4.29	<.0001	1.044
履修者数5水準{1&2-3&4&5}	0.0242	0.005	4.55	<.0001	1.354
履修者数5水準{3-4&5}	0.0195	0.006	3.49	0.0005	1.042
11_シラバス理解度	0.4009	0.027	14.96	<.0001	2.606
21_シラバス忠実度	0.0978	0.026	3.8	0.0001	2.959
22_事前事後学習の指示	0.1631	0.025	6.54	<.0001	3.818
23_双方型授業実施	0.0656	0.014	4.84	<.0001	2.562
24_話し方等分かりやすさ	-0.0693	0.019	-3.6	0.0003	3.357
26_授業難易度	0.0878	0.013	6.8	<.0001	1.114
R2乗					0.4833
自由度調整R2乗					0.4810

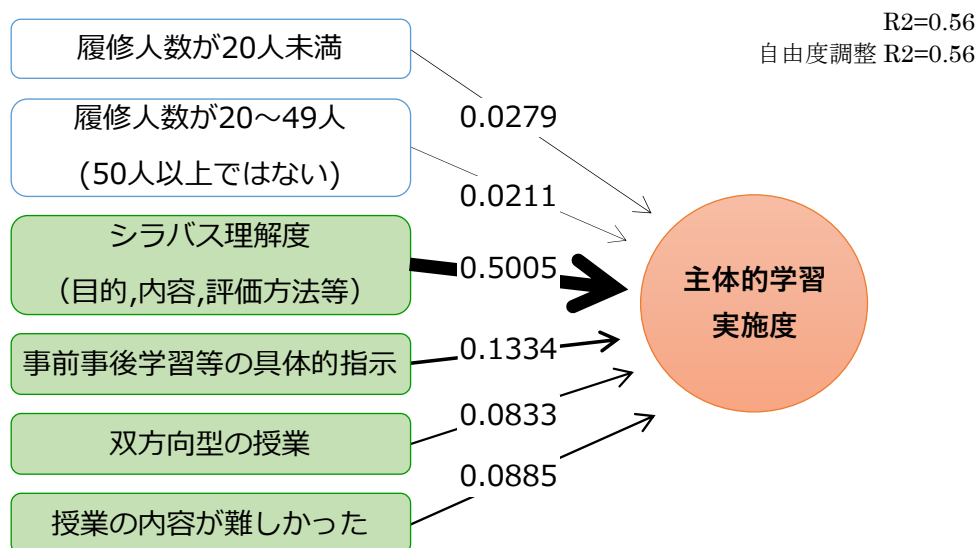
表 8 「主体的学習実施度」を目的変数とした重回帰モデル (後学期データのみを使用)

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.7625	0.093	8.24	<.0001	.
履修者数5水準{1&2-3&4&5}	0.0279	0.007	3.95	<.0001	1.370
履修者数5水準{3-4&5}	0.0211	0.008	2.71	0.0068	1.058
11_シラバス理解度	0.5005	0.029	17.19	<.0001	1.831
22_事前事後学習の指示	0.1334	0.027	4.95	<.0001	2.387
23_双方型授業実施	0.0833	0.018	4.64	<.0001	2.233
26_授業難易度	0.0885	0.017	5.12	<.0001	1.013
R2乗					0.55875
自由度調整R2乗					0.55619

[全授業データを使用 (n=2,017)]



[後学期の授業データを使用 (n=1,040)]



* 数字は推定値、線の太さは関連の強さ、破線・赤字はマイナスの関連を示す。

図 13 「主体的学習実施度」を目的変数とした重回帰モデル

④ 「学習深化意向」を目的変数とした重回帰モデル

全授業データを用いた分析結果を表 9、後学期のデータのみを用いた結果を表 10 に示します。図 14 はこれらを図示したものです。

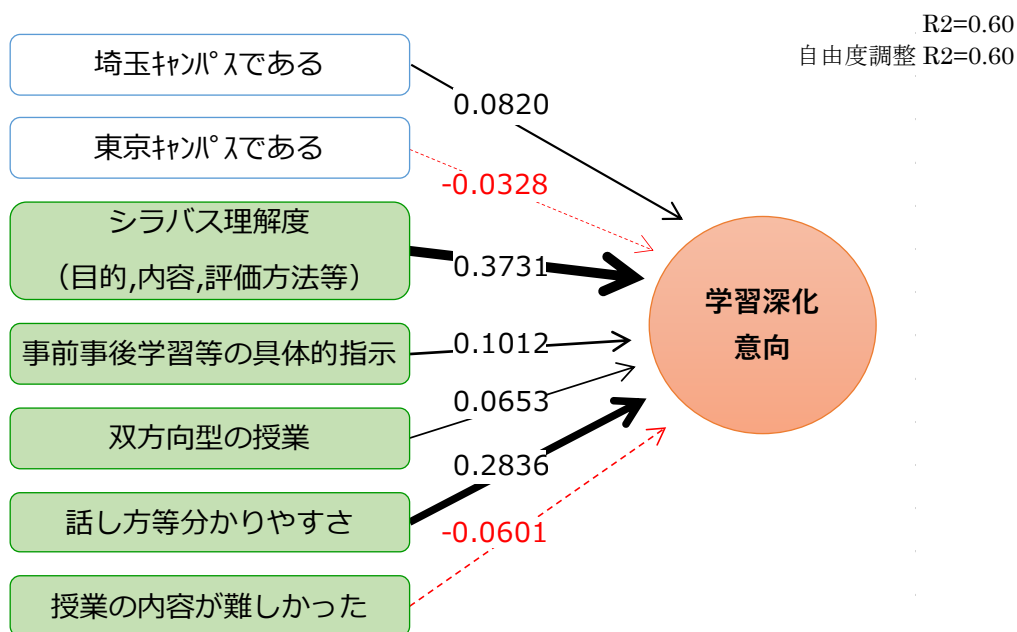
表 9 「学習深化意向」を目的変数とした重回帰モデル （全授業データのみを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.7325	0.069	10.55	<.0001	
埼玉	0.0820	0.011	7.76	<.0001	1.115
東京	-0.0328	0.014	-2.33	0.02	1.091
11_シラバス理解度	0.3731	0.025	14.76	<.0001	2.101
22_事前事後学習の指示	0.1012	0.025	4.08	<.0001	3.426
23_双方型授業実施	0.0653	0.013	4.89	<.0001	2.252
24_話し方等分かりやすさ	0.2836	0.020	14.34	<.0001	3.218
26_授業難易度	-0.0601	0.013	-4.48	<.0001	1.088
R2乗					0.6028
自由度調整R2乗					0.6014

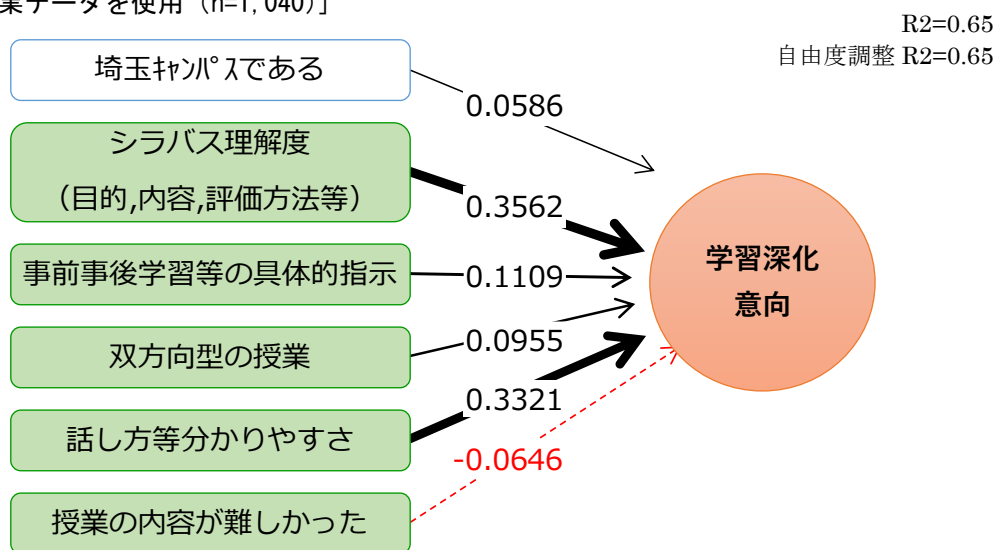
表 10 「学習深化意向」を目的変数とした重回帰モデル （後学期データのみを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.5018	0.094	5.33	<.0001	
埼玉	0.0586	0.014	4.29	<.0001	1.024
11_シラバス理解度	0.3562	0.032	11.16	<.0001	1.993
22_事前事後学習の指示	0.1109	0.031	3.56	0.0004	2.889
23_双方型授業実施	0.0955	0.018	5.31	<.0001	2.030
24_話し方等分かりやすさ	0.3321	0.027	12.44	<.0001	2.794
26_授業難易度	-0.0646	0.018	-3.51	0.0005	1.038
R2乗					0.6537
自由度調整R2乗					0.6517

[全授業データを使用 (n=2,017)]



[後学期の授業データを使用 (n=1,040)]



* 数字は推定値、線の太さは関連の強さ、破線・赤字はマイナスの関連を示す。

図 14 「学習深化意向」を目的変数とした重回帰モデル

⑤ 「シラバス目標達成度」を目的変数とした重回帰モデル

全授業データを用いた分析結果を表 11、後学期のデータのみを用いた結果を表 12 に示します。図 15 はこれらを図示したものです。

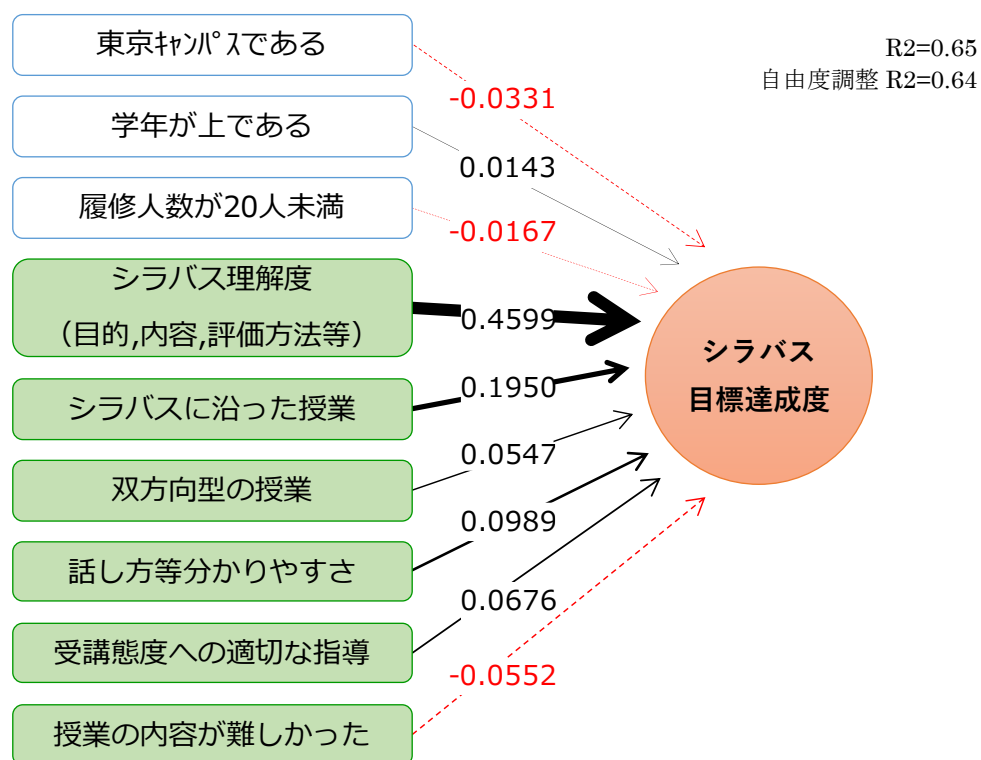
表 11 「シラバス目標達成度」を目的変数とした重回帰モデル（全授業データのみを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.3944	0.061	6.47	<.0001	
東京	-0.0331	0.012	-2.84	0.0046	1.025
学年平均	0.0143	0.004	3.21	0.0014	1.298
履修者数5水準{1&2-3&4&5}	-0.0167	0.005	-3.29	0.001	1.536
11_シラバス理解度	0.4599	0.024	19.21	<.0001	2.587
21_シラバス忠実度	0.1950	0.022	8.89	<.0001	2.677
23_双方型授業実施	0.0547	0.013	4.24	<.0001	2.892
24_話し方等分かりやすさ	0.0989	0.017	5.78	<.0001	3.302
25_授業態度の指導	0.0676	0.018	3.75	0.0002	3.489
26_授業難易度	-0.0552	0.011	-4.81	<.0001	1.098
R2乗					0.6453
自由度調整R2乗					0.6437

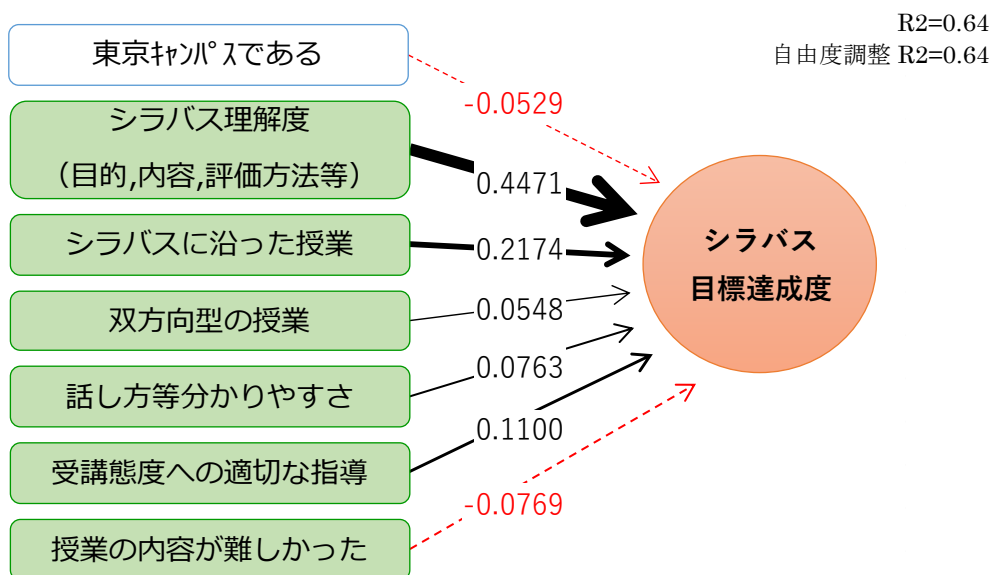
表 12 「シラバス目標達成度」を目的変数とした重回帰モデル（後学期データのみを使用）

項	推定値	標準誤差	t値	p値	VIF
切片	0.4140	0.088	4.72	<.0001	
東京	-0.0529	0.016	-3.23	0.0013	1.023
11_シラバス理解度	0.4471	0.033	13.74	<.0001	2.468
21_シラバス忠実度	0.2174	0.032	6.86	<.0001	2.526
23_双方型授業実施	0.0548	0.018	3.02	0.0026	2.462
24_話し方等分かりやすさ	0.0763	0.025	3.02	0.0026	2.985
25_授業態度の指導	0.1100	0.026	4.26	<.0001	3.066
26_授業難易度	-0.0769	0.017	-4.5	<.0001	1.066
R2乗					0.64137
自由度調整R2乗					0.63894

[全授業データを使用 (n=2,017)]



[後学期の授業データを使用 (n=1,040)]



* 数字は推定値、線の太さは関連の強さ、破線・赤字はマイナスの関連を示す。

図 15 「シラバス目標達成度」を目的変数とした重回帰モデル

⑥ 各モデルからわかること

①～⑤のモデルは、次のように解釈することができます。

- 「授業満足度」は、以下の条件の授業において高まる。

-
- ・ 埼玉キャンパスで実施されている（全授業の場合）。
 - ・ 履修者に低学年が多い。
 - ・ 履修者が 20 人未満ではない（後学期の場合）。
 - ・ 「すべて対面授業」である（後学期の場合）。

-
- ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。
 - ・ シラバスに沿って行われている（全授業の場合）。
 - ・ 事前事後の学習内容・方法について具体的な指示がある。
 - ・ 双方向型の授業が行なわれている。
 - ・ 話し方や説明の仕方が分かりやすい。
 - ・ 内容が難しくない。

→「授業満足度」にもっとも大きく影響するのは、全授業でも後学期の授業に絞っても「教員の話し方や説明の仕方の分かりやすさ」および「シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること」である。また、「事前事後学習の指示」等の影響もみられる。

- 「予習復習時間」は、以下の条件の授業において長くなる。

-
- ・ 千葉キャンパスで実施されていない（全授業の場合）。
 - ・ 千葉第二キャンパスでは実施されている（後学期の場合）。
 - ・ 埼玉キャンパスで実施されている（全授業の場合）。
 - ・ 東京キャンパスで実施されている（後学期の場合）。
 - ・ 履修者に高学年が多い。
 - ・ 履修人数が少ない（全授業の場合）。
 - 10 人未満
 - 10～19 人（20 人以上ではない）
 - 20～49 人（50 人以上ではない）
 - ・ 「すべて対面授業」である（後学期の場合）。

-
- ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。（後学期）。
 - ・ シラバスに沿って行われている（全授業の場合）。

- ・ 事前事後の学習内容・方法について具体的な指示がある。
- ・ 話し方や説明の仕方が分かりやすすくない。
- ・ 内容が難しい。

→「予習復習時間」にもっとも大きく影響するのは、「授業内容の難易度」と「事前事後学習の指示」である。また、「話し方等わかりやすさ」はマイナスに影響する。この傾向は、全授業でも後学期の授業に絞っても変わらない。

履修者の学年、キャンパス、履修人数、授業形態の影響もみられる。高学年が多い、履修人数が少ない（全授業の場合）、「すべて対面授業」（後学期の場合）などはプラスの影響である。

※ ただしモデルの適合度は低いため（自由度調整 $R^2=0.35$ ）、この結果は参考程度である。

- 「主体的学習実施度（授業の内容について自ら調べたり考えたりしたか）」は、以下の条件の授業において高まる。

-
- ・ 埼玉キャンパスで実施されている（全授業の場合）。
 - ・ 履修人数が少ない。
 - 20 人未満
 - 20～49 人（50 人以上ではない）

-
- ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。
 - ・ シラバスに沿って行われている（全授業の場合）。
 - ・ 事前事後の学習内容・方法について具体的な指示がある。
 - ・ 双方向型の授業が行なわれている。
 - ・ 話し方や説明の仕方が分かりやすすくない（全授業の場合）。
 - ・ 内容が難しい。

→「主体的学習実施度」にもっとも大きく影響するのは、全授業でも、後学期の授業に絞っても「シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること」である。また、「事前事後学習の指示」、「難易度」、「双方向型の授業」の影響もみられる。

全授業では「シラバス忠実度」の影響も比較的大きい。

履修人数が少ないこともプラスに影響している。

- 「学習深化意向（授業の内容、関連分野などについてより深く学びたいと思ったか）」は、以下の条件の授業において高まる。

- ・ 埼玉キャンパスで実施されている。
- ・ 東京キャンパスで実施されていない（全授業の場合）。

-
- ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。
 - ・ 事前事後の学習内容・方法について具体的な指示がある。
 - ・ 双方向型の授業が行なわれている。
 - ・ 話し方や説明の仕方が分かりやすい。
 - ・ 内容が難しくない。
-

→「学習深化意向」にもっとも大きく影響するのは、「シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること」、次いで「話し方等わかりやすさ」である。さらに「事前事後学習の指示」、「双方向型の授業」もプラスに影響している。「難易度」は若干マイナスに影響する。

この結果は、全授業でも後学期の授業に絞っても変わらない。

- 「シラバス目標達成度（シラバスに記載された到達目標を達成できたか）」は、以下の条件の授業において高まる。

-
- ・ 東京キャンパスで実施されていない。
 - ・ 履修者に高学年が多い（全授業の場合）。
 - ・ 履修者が 20 人未満ではない（全授業の場合）。
-

- ・ シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されている。
 - ・ シラバスに沿って行われている。
 - ・ 双方向型の授業が行なわれている。
 - ・ 話し方や説明の仕方が分かりやすい。
 - ・ 受講態度に適切な指導がなされている。
 - ・ 内容が難しくない。
-

→「シラバス目標達成度」にもっとも大きく影響するのは、「シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること」、次いで「シラバス忠実度」である。さらに「話し方等わかりやすさ」、「受講態度への適切な指導」、「双方向型の授業」もプラスに影響している。

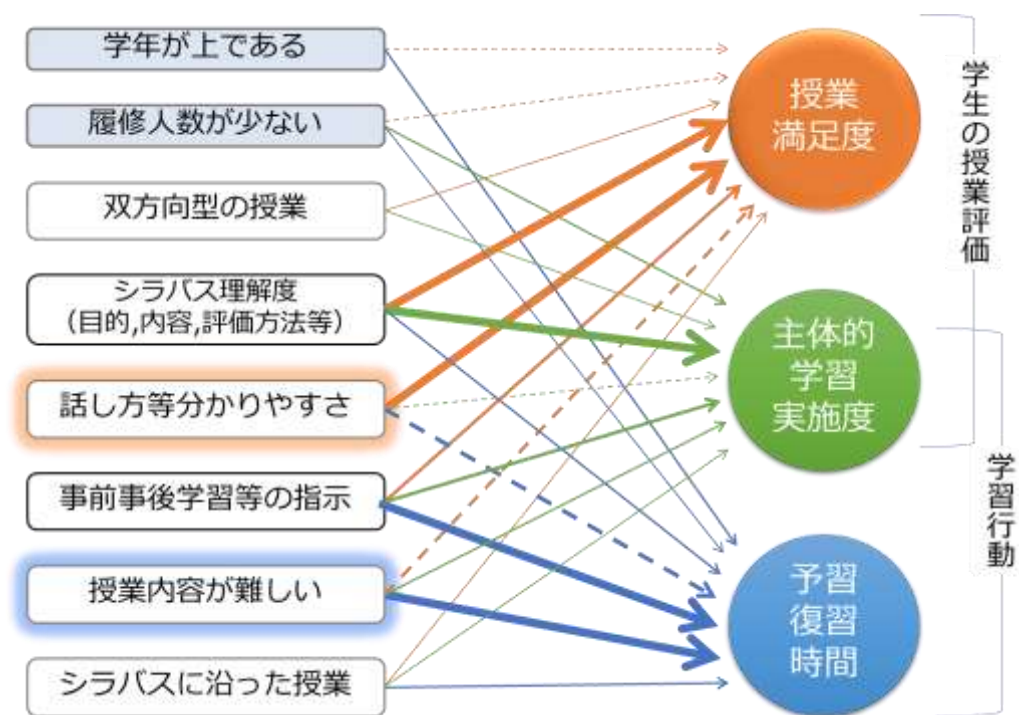
「難易度」は若干マイナスに影響する。

この結果は、全授業でも後学期の授業に絞っても変わらない。

⑦ 結果のまとめと考察

⑥の主な結果を、図 16 にまとめます。

図 16 は、「授業満足度」「主体的学習実施度」「予習復習時間」の各々を目的変数とした 3 つの重回帰モデルをまとめて概念的に示したものです。図の分かりやすさを優先し、「学習深化意向」と「シラバス目標達成度」、キャンパス等は示していませんが、たとえば「学習深化意向」の重回帰モデルは「授業満足度」とほぼ同等なので、「授業満足度」を「学習深化意向」と読み替えて解釈することも可能です。図左の矩形は、各目的変数に影響する主要因（説明変数）であり、どの目的変数に影響するか、どの程度影響するかを、太さと色の異なる矢線で示しています。



* 線の太さは関連の強さ、破線はマイナスの関連を示す。

図 16 学生の満足度が高く学習行動を促す授業とは ～重回帰分析結果の概念図～

図 16 からは、学生の授業評価（「授業満足度」側）と学習行動（「予習復習時間」側）の両者にプラスに影響する要因と、一方にはプラス、もう一方にはマイナスに影響する要因があることがわかります。

両者に対しプラスに強く影響する要因は「シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること」です。つまり、授業をよく理解して履修した学生が多い授業ほど（さらにその授業がシラバスに沿って行われているほど）、授業満足度、および「学習深化意向」「シラバス目標達成度」が高く、同時に、主体的な学習行動が促され、実際の予習復習

時間も長いという傾向があります。次いで影響が大きい「事前事後学習等の指示」でも同じことがいえませんが、どちらかといえば満足度より学習行動への効果が高いという結果です。

「双方向型の授業」も満足度と主体的学習実施度を高めますが、予習復習時間への効果はそう高くないことから、学習行動より満足度への効果が高いといえます。

一方にはプラス、もう一方にはマイナスに影響する要因は「授業難易度」と「話し方等わかりやすさ」です。難易度が高いことは学習行動の促進に不可欠ですが、満足度等には若干マイナスの影響があります。逆に、教員の話し方や説明の仕方がわかりやすいことは授業満足度を高めますが、わかりやすくない方が学習行動が促進される傾向もみられます。

なお、学年、履修人数、キャンパス等の授業属性の影響に関する分析結果は、一部、安定しない傾向もみられました。これは、調査を行った 2020 年がコロナ禍の影響で変則的な授業形態とならざるを得なかったこと、および調査方法を変更したこと等の影響も考えられます。一方、今回の重回帰分析では、過去のデータ分析に比べ VIF の値等が大きく改善しましたが、これはアンケート調査項目の見直しの効果と考えられます。次年度以降も、引き続き調査分析を行うことが望まれます。

(3)「遠隔度」別の分析

全授業データを遠隔度（授業形態）3水準に分けて、(2)と同様の重回帰分析を行った結果を表13～15に示します。表中では、標準誤差、t値、VIFの表記を省略しましたがいずれも適切な値です（VIFは「授業満足度」では平均2.2、最大3.9、「予習復習時間」では平均1.7、最大3.3、「主体的学習実施度」では平均1.9、最大3.7）。

なお、遠隔度データは273の欠測があり（約13.5%）、そのほとんどが前学期に集中しています。また、前学期は「すべて遠隔」と「一部対面・遠隔」の2水準であり、「すべて対面授業」はすべて後学期の授業という偏りがあります。

表13 「授業満足度」を目的変数とした遠隔度別重回帰モデル

項	「すべて対面」 n=221		「一部対面・遠隔」 n=367		「すべて遠隔」 n=1,156	
	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	-0.0406	0.8396	-0.0090	0.9465	0.5195	<.0001
千葉	0.3130	0.0173				
埼玉			0.0621	0.0141	0.0240	0.0104
学年平均			-0.0364	0.0001	-0.0246	<.0001
11_シラバス理解度	0.3520	<.0001	0.3143	<.0001	0.2809	<.0001
21_シラバス忠実度			0.1559	0.002	0.1210	<.0001
22_事前事後学習の指示	0.1383	0.0025	0.1241	0.0223	0.1407	<.0001
23_双方型授業実施	0.0971	0.006	0.0832	0.0049		
24_話し方等分かりやすさ	0.3591	<.0001	0.4120	<.0001	0.4419	<.0001
26_授業難易度			-0.0542	0.04	-0.1190	<.0001
R2乗	0.7137		0.7823		0.7914	
自由度調整R2乗	0.7071		0.7775		0.7901	

表14 「予習復習時間」を目的変数とした遠隔度別重回帰モデル

項	「すべて対面」 n=221		「一部対面・遠隔」 n=367		「すべて遠隔」 n=1,156	
	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	-0.9372	0.1452	-0.2333	0.5388	-0.1746	0.4603
千葉			-0.2749	<.0001		
埼玉			0.1804	0.0449	0.0936	0.0044
東京					0.1973	<.0001
学年平均	0.2364	<.0001	0.3468	<.0001	0.1648	<.0001
履修者数5水準{1&2-3&4&5}					0.0511	0.0058
11_シラバス理解度					0.1923	0.0229
22_事前事後学習の指示	0.6848	0.0001	0.5178	0.0005	0.6445	<.0001
24_話し方等分かりやすさ	-0.4560	0.0186			-0.3798	<.0001
25_授業態度の指導			-0.2904	0.0267		
26_授業難易度	0.9986	<.0001	0.6886	<.0001	0.4898	<.0001
R2乗	0.3196		0.4498		0.3287	
自由度調整R2乗	0.3070		0.4407		0.3240	

表 15 「主体的学習実施度」を目的変数とした遠隔度別重回帰モデル

	「すべて対面」 n=221		「一部対面・遠隔」 n=367		「すべて遠隔」 n=1,156	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	0.7429	<.0001	1.0462	<.0001	0.9058	<.0001
埼玉					0.0327	0.0064
学年平均			0.0246	0.0153		
履修者数5水準{1&2-3&4&5}					0.0271	0.0001
履修者数5水準{3-4&5}					0.0242	0.0004
11_シラバス理解度	0.5707	<.0001	0.3870	<.0001	0.3804	<.0001
21_シラバス忠実度					0.0924	0.0128
22_事前事後学習の指示			0.1238	0.0121	0.2881	<.0001
23_双方型授業実施	0.1244	0.0003	0.1304	<.0001		
24_話し方等分かりやすさ					-0.0871	0.0006
26_授業難易度	0.1304	0.0001	0.0683	0.0131	0.0773	<.0001
R2乗	0.5491		0.5153		0.4579	
自由度調整R2乗	0.5428		0.5086		0.4541	

この結果を具体的に記すと、次のようになります。

- 「授業満足度」を高める最大の要因は、授業形態によらず「教員の話し方や説明の仕方の分かりやすさ」および「シラバス理解度（シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること）」である。また、「事前事後学習の指示」も授業形態によらず影響している。
- 「話し方等分かりやすさ」の影響は「すべて遠隔」でより強く、「シラバス理解度」の影響は「すべて対面」でより強いという傾向もみられたが、「すべて遠隔」は講義形式の授業が多いことの関連と考えられる。
- 「双方型の授業」の影響は「すべて対面」側で、「シラバス忠実度」および「授業難易度（マイナスの影響）」は「すべて遠隔」側で強いという傾向もみられた。
- 学年平均は「すべて遠隔」側でマイナスに影響する。2変数間の関連をみると、高学年の授業満足度は「すべて遠隔」側で低い傾向があり、その傾向が反映されていると考えられる。
- 「予習復習時間」に影響する要因の授業形態による違いはあまりみられない。授業形態によらず、「授業難易度」が高い、「事前事後学習の指示」がある、高学年の履修者が多い授業ほど予習復習時間は長い。
- 「主体的学習実施度」を高める最大の要因は、授業形態によらず「シラバス理解度」である。この影響は「すべて対面」でより強い傾向がある。
- 学年（高学年の方が高い）、「シラバス忠実度」および「事前事後学習の指示」の影響は「すべて遠隔」側で、「双方向型の授業」は「すべて対面」側で強い傾向がある。

(4)「履修人数」別の分析

全授業データを履修人数 5 水準に分けて、(2)と同様の重回帰分析を行った結果を表 16～18 に示します。表中では、標準誤差、t 値、VIF の表記を省略しましたがいずれも適切な値です (VIF は「授業満足度」では平均 2.3、最大 3.2、「予習復習時間」では平均 1.8、最大 3.8、「主体的学習実施度」では平均 2.0、最大 3.1)。

表 16 「授業満足度」を目的変数とした履修人数別重回帰モデル

	「10人未満」 n=216		「10-19人」 n=498		「20-49人」 n=746		「50-99人」 n=374		「100人以上」 n=183	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	-0.0888	0.5208	0.3713	0.0016	0.6172	<.0001	-0.0823	0.495	-0.1558	0.4286
千葉			0.0689	<.0001						
埼玉					0.0336	0.0102			0.0847	<.0001
学年平均					-0.0260	0.0001			-0.0205	0.0103
11_シラバス理解度	0.3242	<.0001	0.2033	<.0001	0.2815	<.0001	0.4186	<.0001	0.3814	<.0001
21_シラバス忠実度			0.0998	0.0141	0.2234	<.0001	0.1142	0.0145	0.3650	<.0001
22_事前事後学習の指示	0.3067	<.0001	0.1352	0.003						
23_双方型授業実施			0.1551	<.0001	0.0529	0.001				
24_話し方等分かりやすさ	0.5373	<.0001	0.3772	<.0001	0.4129	<.0001	0.5157	<.0001	0.4180	<.0001
25_授業態度の指導	-0.1296	0.0155								
26_授業難易度			-0.0751	0.0007	-0.1321	<.0001			-0.1149	0.0001
R2乗	0.7825		0.7237		0.7745		0.8424		0.8832	
自由度調整R2乗	0.7784		0.7198		0.7724		0.8411		0.8792	

表 17 「予習復習時間」を目的変数とした履修人数別重回帰モデル

	「10人未満」 n=216		「10-19人」 n=498		「20-49人」 n=746		「50-99人」 n=374		「100人以上」 n=183	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	-0.8294	0.2023	-0.8370	0.0131	0.1591	0.4432	0.7688	0.0238	-0.3600	0.4269
千葉					-0.1608	<.0001			-0.2411	<.0001
埼玉					0.2847	<.0001			0.4606	<.0001
東京	0.5708	0.0154	0.2953	0.0034			0.1612	0.0021		
学年平均	0.2828	0.0023	0.2506	<.0001	0.1798	<.0001	0.1328	<.0001	0.1378	<.0001
22_事前事後学習の指示	0.5743	<.0001	0.3524	<.0001	0.5009	<.0001	0.6479	<.0001	0.7575	<.0001
23_双方型授業実施							0.4406	<.0001		
24_話し方等分かりやすさ					-0.2261	0.001	-0.4374	<.0001	-0.4236	0.0004
25_授業態度の指導							-0.4673	<.0001		
26_授業難易度	0.5074	<.0001	0.7892	<.0001	0.5656	<.0001	0.5126	<.0001	0.6399	<.0001
R2乗	0.2206		0.3785		0.36726		0.3479		0.5279	
自由度調整R2乗	0.2058		0.3735		0.36212		0.3354		0.5118	

表 18 「主体的学習実施度」を目的変数とした履修人数別重回帰モデル

	「10人未満」 n=216		「10-19人」 n=498		「20-49人」 n=746		「50-99人」 n=374		「100人以上」 n=183	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	0.7004	<.0001	0.8646	<.0001	1.1226	<.0001	1.3104	<.0001	1.7058	<.0001
埼玉			0.0491	0.0191	0.0554	0.0005			0.0818	<.0001
東京					-0.0503	0.0052				
学年平均					-0.0189	0.0161				
11_シラバス理解度	0.3348	<.0001	0.4025	<.0001	0.3608	<.0001	0.5280	<.0001		
21_シラバス忠実度	0.1504	0.0344			0.1291	0.0059			0.4249	<.0001
22_事前事後課題の指示	0.2061	0.0007	0.1268	0.0049	0.1152	0.0016			0.2618	0.0001
23_双方型授業実施	0.1219	0.0084	0.1316	<.0001			0.2125	<.0001		
24_話し方等分かりやすさ									-0.2242	<.0001
25_授業態度の指導							-0.2148	<.0001		
26_授業難易度			0.1193	<.0001	0.0928	<.0001	0.1091	<.0001		
R2乗	0.6048		0.4381		0.3850		0.3673		0.3687	
自由度調整R2乗	0.5973		0.4324		0.3792		0.3604		0.3545	

この結果を具体的に記すと、次のようになります。

- 「授業満足度」を高める最大の要因は、履修人数によらず「教員の話し方や説明の仕方の分かりやすさ」および「シラバス理解度（シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること）」である。
- 履修人数によって傾向がみられたのは「事前事後学習の指示」および「シラバス忠実度」である。前者は履修人数が少ない方が、後者は多い方が「授業満足度」に影響する。
- 「予習復習時間」は、履修人数によらず「授業難易度」が高い、「事前事後学習の指示」がある、高学年の履修者が多い授業ほど長い。
- 履修人数によって傾向がみられたのは「話し方等分かりやすさ」等である。話し方等が分かりやすくないほど予習復習時間が長くなるのは、履修人数が多い授業である。
- 「主体的学習実施度」に影響する要因の履修人数による違いはあまりみられない。履修人数によらず、もっとも大きく影響するのは「シラバス理解度」である。「100人以上」の授業では、「シラバス理解度」ではなく「シラバス忠実度」が説明変数として選択されたが、両変数は相関が非常に高いためと考えられる ($r=0.73$)。

(5)「難易度」別の分析

全授業データを難易度 4 水準^{※1}に分けて、同様の重回帰分析を行った結果を表 19～21 に示します。表中では標準誤差、t 値、VIF の表記を省略しましたがいずれも適切な値です（VIF は「授業満足度」では平均 2.4、最大 3.6、「予習復習時間」では平均 1.9、最大 3.3、「主体的学習実施度」では平均 1.9、最大 3.4）。

※1) 難易度は、データ全体の分布をみて、以下のように 4 水準に分けました。

「難しくない」 授業単位の平均値 1.00～約 2.55 (n=193)

「あまり難しくない」 授業単位の平均値 約 2.55～約 3.00 (n=712)

「やや難しい」 授業単位の平均値 約 3.00～約 3.30 (n=750)

「難しい」 授業単位の平均値 約 3.30～4.00 (n=362)

表 19 「授業満足度」を目的変数とした難易度別重回帰モデル

	「難しくない」 n=193		「あまり難しくない」 n=712		「やや難しい」 n=750		「難しい」 n=362	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	-0.1702	0.2061	0.3518	0.0003	0.3758	<.0001	-0.1390	0.202
埼玉					0.0379	0.0062		
学年平均			-0.0203	0.0009	-0.0284	<.0001		
履修者数5水準{1&2-3&4&5}							-0.0284	0.0103
11_シラバス理解度	0.4208	<.0001	0.2854	<.0001	0.2802	<.0001	0.3353	<.0001
21_シラバス忠実度	0.1950	0.0004	0.0889	0.0196				
22_事前事後学習の指示			0.1523	<.0001	0.2343	<.0001		
23_双方型授業実施								
24_話し方等分かりやすさ	0.4725	<.0001	0.4106	<.0001	0.4065	<.0001	0.5672	<.0001
25_授業態度の指導							0.1621	<.0001
R2乗	0.8331		0.7465		0.7421		0.8347	
自由度調整R2乗	0.8304		0.7447		0.7403		0.8329	

表 20 「予習復習時間」を目的変数とした難易度別重回帰モデル

	「難しくない」 n=193		「あまり難しくない」 n=712		「やや難しい」 n=750		「難しい」 n=362	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	0.7025	0.0286	1.7077	<.0001	1.3823	<.0001	1.0039	0.011
千葉					-0.1624	0.0014		
埼玉					0.2806	<.0001	0.2439	0.0063
東京	0.4083	0.0004	0.2362	<.0001				
学年平均	0.2110	<.0001	0.2253	<.0001	0.1790	<.0001	0.2170	<.0001
履修者数5水準{1&2-3&4&5}					0.0693	0.0137		
履修者数5水準{1-2}					0.0783	0.0442		
21_シラバス忠実度							0.6731	<.0001
22_事前事後学習の指示	0.8882	<.0001	0.6303	<.0001	0.7958	<.0001		
23_双方型授業実施							0.4063	0.0004
24_話し方等分かりやすさ	-0.3945	0.0086	-0.3569	<.0001	-0.3474	<.0001	-0.4897	0.0002
R2乗	0.3394		0.2963		0.2426		0.2235	
自由度調整R2乗	0.3254		0.2923		0.2354		0.2126	

表 21 「主体的学習実施度」を目的変数とした難易度別重回帰モデル

	「難しくない」 n=193		「あまり難しくない」 n=712		「やや難しい」 n=750		「難しい」 n=362	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片	1.1469	<.0001	1.3111	<.0001	1.3733	<.0001	1.2412	<.0001
千葉			0.0495	0.0002				
埼玉	0.0965	0.0146			0.0421	0.0066		
学年平均					-0.0244	0.0023		
履修者数5水準{1&2-3&4&5}			0.0282	0.0005	0.0473	<.0001		
履修者数5水準{3-4&5}			0.0254	0.0017	0.0212	0.0105		
履修者数5水準{4-5}			0.0269	0.0299				
11_シラバス理解度			0.4685	<.0001	0.3594	<.0001	0.5727	<.0001
21_シラバス忠実度					0.1432	0.0008		
22_事前事後学習の指示	0.6363	<.0001	0.1970	<.0001	0.1421	0.0002		
23_双方型授業実施			0.0545	0.0065	0.0702	0.0009	0.0953	0.0004
24_話し方等分かりやすさ			-0.0934	0.0018	-0.0818	0.0078		
R2乗	0.5233		0.4194		0.5001		0.5136	
自由度調整R2乗	0.5183		0.4128		0.4940		0.5109	

この結果を具体的に記すと、次のようになります。

- 「授業満足度」に影響する要因の難易度による違いはあまりみられない。いずれの難易度においても「授業満足度」を高める最大の要因は「話し方等分かりやすさ（教員の話し方や説明の仕方の分かりやすさ）」、次いで「シラバス理解度（シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等が理解されていること）」

である。

- 「予習復習時間」は難易度の影響が非常に大きいですが、難易度別に分析しても結果に大きな違いはみられない。全体のモデルで難易度ともに影響が大きかった「事前事後学習の指示」は「難しい」を除くすべての水準に大きく影響し、高学年の履修者が多いほど予習復習時間が長いという傾向は全水準でみられる。「話し方等分かりやすさ」のマイナスの影響も全水準でみられるが、これは「難易度」の代わりに影響が大きくなったと考えられる。
- 「難しい」授業のみ、若干異なる傾向がみられる。「予習復習時間」は、「難しい」授業では、「シラバス忠実度」が高い、「双方向型の授業」が行われるほど長くなる。
- 「主体的学習実施度」にもっとも影響する要因は「シラバス理解度」であったが、難易度別にみると、この影響は「難しい」授業であるほど高く、「難しくない」授業では影響がないことが分かった。代わって、難易度が低い授業に影響するのは「事前事後学習の指示」である。「事前事後学習の指示」はもっとも「難しい」授業では、主体的学習の実施を促進しない。
- 難易度が高い授業では、シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等をよく理解している学生が多いほど、難易度が低い授業では、授業の中で事前事後学習の具体的な指示があるほど、主体的な学習が促進されるといえる。

(6)「学部」別の分析

回答した学生の所属学部の割合が 90%以上同じである授業のみを抽出し、それぞれを 6 学部のデータに分けて、これまでと同様の重回帰分析を行った結果を表 22～27 に示します。これまでのモデルと同様、表中では、標準誤差、t 値、VIF の表記を省略しましたがいずれの値も許容範囲です（VIF は「授業満足度」では平均 2.3、最大 3.9、「予習復習時間」では平均 1.8、最大 3.9、「主体的学習実施度」では平均 2.0、最大 4.0）。なお、キャンパス、履修人数は、学部ごとに大きな偏りがあるため説明変数として取り入れていません。

表 22～27 のとおり、それぞれの学部で特徴がみられました。

表 22 回答者の 90%以上が総合福祉学部の学生である授業の重回帰モデル

n=676		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	
切片	0.4479	<.0001	-0.4964	0.1068	1.5239	<.0001	
学年平均	-0.0233	0.0041	0.1830	<.0001	-0.0282	0.002	
履修者数5水準{1&2-3&4&5}	0.0196	0.0228	0.0822	0.0042	0.0523	<.0001	
履修者数5水準{3-4&5}					0.0318	0.0026	
履修者数5水準{1-2}			0.1231	0.0007			
11_シラバス理解度	0.3298	<.0001					
21_シラバス忠実度			0.2656	0.0177	0.4293	<.0001	
22_事前事後学習の指示	0.1517	<.0001	0.3973	0.0008	0.1843	<.0001	
24_話し方等分かりやすさ	0.4334	<.0001	-0.2993	0.0003	-0.0659	0.0308	
26_授業難易度			0.7452	<.0001	0.0567	0.0097	
R2乗		0.7160	0.3444		0.3945		
自由度調整R2乗		0.7139	0.3376		0.3881		

表 23 回答者の 90%以上が看護栄養学部の学生である授業の重回帰モデル

n=226		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項	推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値	
切片	0.4489	0.005	-0.9872	0.0523	0.3987	0.0428	
学年平均			0.2311	<.0001	0.0602	<.0001	
履修者数5水準{1&2&3-4&5}	-0.0375	0.0009	-0.1117	0.0189			
履修者数5水準{1-2&3}	-0.0510	0.0044	-0.2213	0.0012			
履修者数5水準{2-3}	-0.0645	0.0006					
履修者数5水準{4-5}			-0.1753	0.001			
11_シラバス理解度	0.4379	<.0001			0.7380	<.0001	
22_事前事後学習の指示	0.2203	<.0001	0.9824	<.0001			
23_双方型授業実施			0.3519	0.0112	0.1983	<.0001	
24_話し方等分かりやすさ	0.3397	<.0001	-0.7672	<.0001			
25_授業態度の指導					-0.2316	<.0001	
26_授業難易度	-0.1266	<.0001	0.6573	<.0001	0.1801	<.0001	
R2乗	0.8045		0.4344		0.6101		
自由度調整R2乗	0.7982		0.4136		0.6012		

表 24 回答者の 90%以上がコミュニティ政策学部学生である授業の重回帰モデル

n=157		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項		推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片		0.2403	0.0879	0.1714	0.7838	0.5511	0.0006
学年平均				0.2080	<.0001	-0.0510	0.001
履修者数5水準{1&2-3&4&5}		0.0240	0.1431				
11_シラバス理解度		0.1833	0.0156	-0.5823	0.0098	0.3739	<.0001
21_シラバス忠実度		0.2403	0.0012			0.3463	<.0001
22_事前事後学習の指示						0.1827	0.0032
24_話し方等分かりやすさ		0.5176	<.0001				
25_授業態度の指導				0.7317	<.0001		
26_授業難易度				0.7082	<.0001		
R2乗		0.8159		0.3441		0.6815	
自由度調整R2乗		0.8111		0.3268		0.6732	

表 25 回答者の 90%以上が経営学部学生である授業の重回帰モデル

n=335		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項		推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片		0.1062	0.4578	-0.5374	0.2171	0.4257	0.0081
学年平均				0.2079	<.0001		
履修者数5水準{1&2-3&4&5}		-0.0110	0.3416	0.1073	0.0016		
履修者数5水準{3&4-5}		0.0310	0.0418				
11_シラバス理解度		0.3025	<.0001			0.4273	<.0001
22_事前事後学習の指示		0.2271	<.0001	0.8208	<.0001	0.1720	0.0005
23_双方型授業実施		0.0853	0.0067			0.1668	<.0001
24_話し方等分かりやすさ		0.4451	<.0001	-0.3425	0.0102		
26_授業難易度		-0.0880	0.0008	0.5171	<.0001	0.1373	<.0001
R2乗		0.8217		0.3295		0.5754	
自由度調整R2乗		0.8178		0.3193		0.5703	

表 26 回答者の 90%以上が教育学部学生である授業の重回帰モデル

n=240		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項		推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片		0.4631	0.0036	0.5137	0.0271	1.1768	<.0001
学年平均				0.3096	<.0001		
11_シラバス理解度		0.2268	0.0011				
21_シラバス忠実度		0.2839	<.0001				
22_事前事後学習の指示						0.6044	<.0001
23_双方型授業実施						0.1010	0.0082
24_話し方等分かりやすさ		0.4650	<.0001			-0.1366	0.0178
26_授業難易度		-0.1007	0.0011	0.7289	<.0001	0.1157	0.0031
R2乗		0.8068		0.4475		0.5463	
自由度調整R2乗		0.8035		0.4428		0.5386	

表 27 回答者の 90%以上が人文学部の学生である授業の重回帰モデル

n=240		「授業満足度」		「予習復習時間」		「主体的学習実施度」	
項		推定値	p値	推定値	p値	推定値	p値
切片		0.4631	0.0036	0.5137	0.0271	1.1768	<.0001
学年平均				0.3096	<.0001		
11_シラバス理解度		0.2268	0.0011				
21_シラバス忠実度		0.2839	<.0001				
22_事前事後学習の指示						0.6044	<.0001
23_双方型授業実施						0.1010	0.0082
24_話し方等分かりやすさ		0.4650	<.0001			-0.1366	0.0178
26_授業難易度		-0.1007	0.0011	0.7289	<.0001	0.1157	0.0031
R2乗		0.8068		0.4475		0.5463	
自由度調整R2乗		0.8035		0.4428		0.5386	

IV 授業アンケート様式

回答者には以下のイメージで表示されます。

123456789 科目 A (教員 B)

淑徳大学2020年度前期授業アンケート

このアンケートは、みなさんの学びがより深められるよう、授業内容や授業方法の改善・工夫に向けての基礎的データの収集を目的として実施するものです。

また、大学がみなさんの学習の到達目標を明確にし、学修成果が得られる授業・教育を進めるための基礎資料としても利用します。調査の結果は報告書にまとめ、大学ホームページで公表します。

個々の回答結果は統計的に処理されます。成績に影響することはありませんので、ありのままを記入して下さい。

あなたの所属等についてお伺いします。

あなたの所属学科について (必須)

- ☐ 社会福祉学科
- ☐ 教育福祉学科
- ☐ 実践心理学科
- ☐ 看護学科
- ☐ 栄養学科
- ☐ コミュニティ政策学科
- ☐ 経営学科
- ☐ 観光経営学科
- ☐ こども教育学科
- ☐ 歴史学科
- ☐ 表現学科

あなたの学年について (必須)

- ☐ 1年次生
- ☐ 2年次生
- ☐ 3年次生
- ☐ 4年次生以上
- ☐ 科目等履修生
- ☐ 公開・リカレント生
- ☐ その他

授業に関する事項について伺います。

下記のⅠ～Ⅳのすべての設問に回答してください。なお、「Ⅳ自由記述欄」を除いて、設問の4段階のいずれかを選択してください（一部、6段階）。

Ⅰ. あなた自身についてお聞きします。

1. あなたは、シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解していましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない

2. あなたは、授業に対して、意欲的に取り組みましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない

3. あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

4. あなたは、この授業を何回欠席しましたか (必須)

☐ 0回

☐ 1回

☐ 2回

☐ 3回以上

5. あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、授業1回（90分）につき、平均してどの程度ですか (必須)

☐ 4時間以上

☐ 3時間以上4時間未満

☐ 2時間以上3時間未満

☐ 1時間以上2時間未満

☐ 1時間未満

☐ ほとんどない

Ⅱ. この授業についてお聞きます。

1. この授業は、シラバスに沿って行われましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

2. この授業のなかで、授業時間以外の学習内容・方法（事前・事後学習等）について、具体的な指示がありましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

3. 双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は行われましたか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

4. この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

5. 受講態度（私語等）に対して、適切な指導がなされていたか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

6. この授業の内容は、あなたにとって難しかったですか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

Ⅲ. この授業の成果についてお聞きます。

1. あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

2. あなたは、この授業の内容、関連分野などについて、より深く学びたいと思いましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

3. あなたは、この授業を受講して、満足していますか (必須)

☐ 大いにそう思う

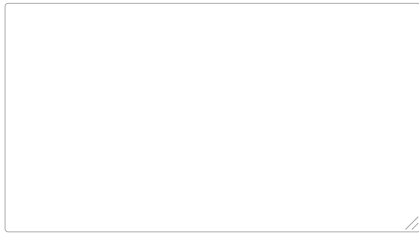
☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

IV. 自由記述欄※この欄は、授業の改革や改善に繋げるためのコメント欄となります。人格を否定するようなコメントや授業に関係のないことを書かないでください。

この授業を通じて、大学や教職員が工夫・改善すべき点がある場合は、自由に記入してください。



回答

回答者には以下のイメージで表示されます。

123456789 科目 A (教員 B)

淑徳大学2020年度後期授業アンケート

このアンケートは、みなさんの学びがより深められるよう、授業内容や授業方法の改善・工夫に向けての基礎的データの収集を目的として実施するものです。

また、大学がみなさんの学習の到達目標を明確にし、学修成果が得られる授業・教育を進めるための基礎資料としても利用します。調査の結果は報告書にまとめ、大学ホームページで公表します。

個々の回答結果は統計的に処理されます。成績に影響することはありませんので、ありのままを記入して下さい。

あなたの所属等についてお伺いします。

あなたの所属学科について (必須)

- ☐ 社会福祉学科
- ☐ 教育福祉学科
- ☐ 実践心理学科
- ☐ 看護学科
- ☐ 栄養学科
- ☐ コミュニティ政策学科
- ☐ 経営学科
- ☐ 観光経営学科
- ☐ こども教育学科
- ☐ 歴史学科
- ☐ 表現学科

あなたの学年について (必須)

- ☐ 1年次生
- ☐ 2年次生
- ☐ 3年次生
- ☐ 4年次生以上
- ☐ 科目等履修生
- ☐ 公開・リカレント生
- ☐ その他

授業に関する事項について伺います。

下記のⅠ～Ⅳのすべての設問に回答してください。なお、「Ⅳ自由記述欄」を除いて、設問の4段階のいずれかを選択してください（一部、6段階）。

Ⅰ. あなた自身についてお聞きします。

1. あなたは、シラバスに書かれた授業の目的、内容、評価方法等を理解していましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない

2. あなたは、授業に対して、意欲的に取り組みましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない

3. あなたは、授業の内容について、自ら調べたり考えたりしましたか (必須)

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

4. あなたは、この授業を何回欠席しましたか (必須)

☐ 0回

☐ 1回

☐ 2回

☐ 3回以上

5. あなたが事前・事後学習に取り組んだ時間は、授業1回（90分）につき、平均してどの程度ですか (必須)

☐ 4時間以上

☐ 3時間以上4時間未満

☐ 2時間以上3時間未満

☐ 1時間以上2時間未満

☐ 1時間未満

☐ ほとんどない

Ⅱ. この授業についてお聞きます。

1. この授業は、シラバスに沿って行われましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

2. この授業のなかで、授業時間以外の学習内容・方法（事前・事後学習等）について、具体的な指示がありましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

3. 双方向型の授業（発表、討論、協同学習、調べ学習等）は行われましたか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

4. この授業では、話し方や説明の仕方がわかりやすかったですか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

5. 受講態度（私語等）に対して、適切な指導がなされていたか

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

6. この授業の内容は、あなたにとって難しかったですか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

Ⅲ. この授業の成果についてお聞きます。

1. あなたは、シラバスに記載された到達目標を達成できましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

2. あなたは、この授業の内容、関連分野などについて、より深く学びたいと思いましたか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

3. あなたは、この授業を受講して、満足していますか (必須)

☐ 大いにそう思う

☐ ややそう思う

☐ あまりそう思わない

☐ 全くそう思わない

IV. 自由記述欄※この欄は、授業の改革や改善に繋げるためのコメント欄となります。人格を否定するようなコメントや授業に関係のないことを書かないでください。

この授業を通じて、大学や教職員が工夫・改善すべき点がある場合は、自由に記入してください。

回答

2020年度 淑徳大学 授業アンケート全学報告書

■発行日 2021年7月30日

■発行者 淑徳大学

〒 260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町200

TEL.043-265-7331(代表)

■編集 淑徳大学高等教育研究開発センター

■分析編担当 株式会社 生活環境工房あくと
